平成25年度 国保京丹波町病院和知歯科診療所・和知保健センター改修工事

工事内容	図面枚数
平成25年度 国保京丹波町病院和知歯科診療所改修工事	建築20枚、電気設備16枚、機械設備14枚、仮設2枚 (計52枚)
平成25年度 和知保健センター改修工事	建築18枚、電気設備 5枚、機械設備 4枚 (計27枚)

平成25年度 国保京丹波町病院和知歯科診療所改修工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
	意匠図		電気設備図		機械設備図
D-01	表紙 • 図面目録	E-01	電気設備工事特記仕様書(1)	M—0 1	機械設備特記仕様書
D-02	改修工事特記仕様書(1)	E-02	電気設備工事特記仕様書(2)	M—0 2	工事区分表
D-03	改修工事特記仕様書(2)	E-03	平面図 幹線コンセント設備図	M-03	現況配置図
D-04	改修工事特記仕様書(3)	E-04	平面図 電灯コンセント動力設備図	M—0 4	衛生設備 平面図(改修)
D-05	改修工事特記仕様書(4)	E-05	平面図 電灯コンセント動力設備図	M—0 5	衛生設備 改修平面詳細図
D-06	改修工事特記仕様書(5)	E-06	平面図 照明設備図	M-06	エア一設備 改修平面詳細図
D-07	改修工事特記仕様書(6)	E-07	平面図 照明設備図	M—0 7	消火設備 平面図(改修)
D-08	付近見取図·配置図	E-08	平面図 非常用照明誘導灯設備図	M-08	空調・換気・衛生設備 機器表・衛生器具表
D-09	仕上表(撤去·改修)	E-09	平面図 電話LANテレビ共視聴設備図	M-09	空調・換気設備 平面図(改修)
D—10	現況・撤去平面図	E-10	平面図 弱電設備図	M—10	空調設備 屋根伏図(改修)
D—11	平面図(改修)	E-11	平面図 自動火災報知設備図	M—11	換気設備 平面図(改修)
D—12	断面図(現況)・(改修)	E-12	電灯動力幹線コンセント設備図(撤去)	M—12	衛生設備 現況・撤去平面図
D—13	1 階歯科診療所平面詳細図・床伏図・天井伏図	E-13	照明設備図(撤去)	M—13	空調 換気設備 現況 撤去平面図
D—14	2 階平面詳細図	E-14	動力電話設備図(撤去)	M—14	空調設備 現況 撤去屋根伏図
D—15	改修展開図(1)	E-15	拡声テレビ共視聴インターホン設備図(撤去)		
D—16	改修展開図(2)	E-16	自動火災報知設備図(撤去)		
D—17	建具表(撤去・改修) 1			K-01	仮設計画図(案)(1)
D—18	建具表(撤去・改修) 2			K-02	仮設計画図(案) (2)
D—19	部分詳細図(1)				
D-20	部分詳細図(2)				

				T	T
建築改修工事特記仕様書		章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項
	力及び積雪 建築基準法に基づき定められた風速及び地表面租度区分等 対する性能 風速(Vo) ※32 〇 (平成12年5月31日建設省告示第1454号)	⑤ 調査のための破壊 部分の補修	既存破壊部分の補修方法 ※ 図示 〇	③ 仮設間仕切り (2.3.2)	● 設ける(図示) ○ A種 ○ B種 ※ C種 ○ 設けない
1 1. 工事場所 京都府船井郡京丹波町本庄今福13番地	地表面相度区分 OI OI ※Ⅲ OIV 多雪地域の指定 ※なし Oあり	1 (1.5.3)	(1.6.2)	2 4 監督職員事務所	規模 ○10m程度 ○20m程度 ○35m程度 ○65m程度 ○100m程度
一 原 福根代	代理人 ※ 本工事の施工にあたっては、請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術	(1.6.2)	エ事種別 適用する技能士の技能検定における選択作業 仮設エ事 ○ とび作業	(2.4.1)	仕上 床 〇合板張り素地 〇ピュル床シー敷き 〇パンラカーペット敷き 内壁、天井 〇合板又は石こうボード張り、合成樹脂エマルションパイント塗り
	者又は監理技術者と同様、精負者と直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任 しなければならない。		鉄筋工事 〇 鉄筋組立作集 コンクリートエ事 〇 左官作業 〇 型枠工事作業	設 工	屋根 ○塗装溶融亜鉛メッキ餌板張り ○鉄板張り調合^゚イント塗り 休憩室 ○設けない ○設ける(畳敷き) ○
3. 建築物概要		通 事	〇 コングリート圧送工事作業	事	備品 ○机 ○いす ○書棚 ○黒板 ○製図板
1 保健センター 鉄筋コンクリート 2 369.8 707.60 項 ⑥ 工事工 (歯科診療所改修部分)		項	鉄骨工事 〇 構造物鉄工作業 〇 とび作業 プロック及びALCパネル工事 〇 コンクリートプロック工事作業 〇 ALCパネル工事作業		○ 掛時計 ○ 温度計 ○ 消火器 ○ 掃除具 ○ 加入電話機 ○ 懐中電灯 ○ 湯沸器 ○ 冷暖房機器 ○
	〇 週報は毎週()曜日に提出する。		カーテンウォール工事 〇 金属製カーテンウォール施工作業 〇 ピル用サッシ施工作業 〇 か 5ス工事作業		○ 保護帽 ○ ゴム長靴 ○ 雨がっぱ ○ 衣類ロッカ- (人分程度) ※ 改修様仕(平成22年版) ※ 建築工事監理指針(平成22年版)
	乗(情報の ※ 適用する (適用事項は、現場説明書による) ○ 適用しない 録 (1.1.4)		防水工事		※ 建築工事施工チェックシート 〇 建築工事標準詳細図 (平成22年版) 〇 工事写真の撮り方(改訂2版) 建築編
	************************************		○ 7クリルゴム系塗膜防水工事作業 ○ FRP防水工事作業 ○ 合成ゴム系シート防水工事作業		構内既存の施穀 ※利用できない ○利用できる (○有償 ○無償)
4. て O iii	式・提出 エ事について、施工体制台帳 (下騎契約書等添付)及び施工体系図を作成し、監		〇 塩化ピニル系シート防水工事作業	5 工事用水	
	(1.1.5) 督職員に提出しなければならない。 ※精負者は、工事完成時に、建退共運営実績報告書を提出しなければならない。		○ 改質アスファルトシートトーテエ法防水工事作業 石工事 ○ 石張り作業	6 工事用電力 	横内既存の施設 ※利用できない 〇利用できる (〇有償 〇無償)
9 設備工	に事との 施工範囲		タイル工事 〇 タイル張り作業 木工事 〇 大工工事作業	⑦ 仮囲い等	※ 図示 O
取合	合い ※ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、閉口部の型枠及びそれらの補強 ※ 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強		屋根及びとい工事 ○ 内外装板金作業 ○ かわらぶき作業 ○ スレート工事作業	│ │ │	拼图示 ● 設計GL=現状GL
【2】 適 用 範 囲 現場説明書(質疑回答書を含む)、本特配仕様書、図面、改修標準仕様書に示す範囲とする。	※ 駆動装置が電動による建具類の二次配線及び操作スイッチ ※ 自動開鎖装置取付け箇所の切込み及び精強				
すべての設計図書は相互に補完するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。 上記の標準仕様書とは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書(建	施工図		塗装工事 O 建築塗装作業		
築工事編)(平成22年版)をいう。(以下、これを「改修標仕」という。) 本書に特に記載のない事項にあっても、すべて、「改修標仕」の適用を受けるものとする。	設備機器の位置、取合等の検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。		建具工事 ● t' ル用サッシ施工作業 ● n' アスス工事作業 ○ 自動ト ア施工作業		本章の項目及び特記事項の()内表示番号は、国土交通省大臣官房官庁営籍部監修 公共建築工事標準仕様書(平成22年版)の該当項目、該当図又は該当表を示す。
[① 施工区 取扱	※ 施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲される。 及い (1.2.3)		● プラステック系床仕上工事作業 ○ ポート゚仕上工事作業 ○ カーペット系床仕上工事作業 ○ 壁装作業		なお、耐震改修工事に係る「鉄筋・コンクリート」の取り扱いは、後述の章 「8 耐震改修工事」によるものとする。
設計図書による。 別契約の施工上密接に関連する工事との取合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。 ① 工事写	写真 ※ 工事写真の繰り方(改訂2版)建築編(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)によ		排水工事	 	〇 A種 砂質土 (山砂の類) を水締め又は機器による締固め (表3.2.1)
	(1.2.4) るほかは監督職員の指示による。 ※ 下配のものを監督職員に提出する。		O 加熱ペイントマンンマーカーエ事作業 植栽工事 ○ 途園工事作業	盛土 (3.2.3)	※ B種 根切り土の中の良質土を機器による締固め 〇 C種 他現場の建設発生土の中の良質土を機器による締固め
【4】 エ 事 仕 様 1. 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「改修標仕」のほか別記の適用基準による。	部数(ネガ\ゼ(こっき) 分 類・規 格 原版の大きさ(mm) 着 エ 前 ※ 1 〇 ※ カラーサービス版 ※ 24×36以上		ただし技能士に代わる者による施工の場合は監督職員の承轄を得ること。	'	○ D種 再生コンクリート砂を水締め又は機攀による締固め ○ 建穀発生土(廃土村)の外部からの受入土量(m3)
2. 項目は、番号にO印の付いたものを適用する。 3. 特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。	エ 事 中 ※ 1 O ※ カラーサービス版 ※ 24×36以上			<u>+</u>	・
※印と●印の付いた場合は、共に適用する。※印が抹消された場合は、●印のみ適用する。 4.項目及び特記事項に記載の() 内表示番号は「改修標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。	屋 内 ※ 2 O ※ カラーサービス版 ※ 24×36以上 完成 ()箇所 O カラーキャビネ版 O 60×70以上	17 施工の検査等 見 (1.6.5)	見本施工の実施 ※ 適用する () 〇 適用しない	鉄	
	時 外 観 ※2 〇 ※カラーキャビネ版 〇 24×36以上 () 箇所 〇 カラーパネル半切 ※60×70以上	⑱ 化学物質の濃度 ※	※ 適用する (適用事項は、現場説明書による) O 適用しない	2 建設発生土 コ の処理	※ 下配に定めるほかは、現場説明書による 〇 構外指定の受入場所に処分
章 項 目 特 記 事 項	※ 写真をデジタル写真で撮影する場合には、完成写真については有効画素数300万 画素程度、工事写真は有効画素数130万画素程度とし、黒板の文字等の内容が判	測定 (1.6.9)		(3.2.5)	受入場所 ※(財)城陽山砂利採取地整備公社 O 土壌制査 ※行う(受入場所指定の検査) O
① 適用基準等 ※ 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 平成22年版 (監修:国土交通省) ※ 建築工事標準群總図 平成22年版 (監修:国土交通省)	験できる精度を確保するものとする。※完成写真撮影場所は、監督職員の指示による。		※ 作成する (提出部数 ※ 2 部 〇 部) 幹線は監督職員の指示による。 ※ 完成図等の電子データによる提出については、現場説明書による。		○ 京都府土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例 施行規則第7条第3項13号及び第4項に規定する方法
1 ○ 敷地調査共通仕様書 平成11年版 (監修:建設大臣) ○ 建築鉄骨設計基準 平成10年版 (監修:建設大臣)	○ 完成写真撮影業者は、監督職員の承諾する撮影業者(建築写真専門業者)とする。		※作成する (提出部数 ※ 2 部 〇 部) 〇 作成しない	<u>+</u>	仮置場所 ○ ◆ 構内指示の場所に敷き均し
O 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 平成22年版 (監修:国土交通省) ① 電気係	保安技術者 ※ 適用する ○ 適用しない	(1.8.3)	○ 敷地、建物の構造規模、主要な設備構成等の建物概要	事	○ 構内指示の場所にたい積 ○ 構内指示の場所にたい積 ○ 構外搬出適切処理 ※ 中丹東土木事務所管内及び丹後土木事務所管内で、
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	(1, 3, 3)		○ 建物を使用する上での注意事項● 建物に設置されている家具、機器等及び部位毎の仕上げの概要説明		〇 個外版丘題切処理 ※ 平方泉エネ寺初川官内及い方家エネ寺初川官内で、 搬出土量が少量 (500m3以内) かつ緊急の場合等
	条件(1.3.5) ※ 現場説明書(又は募集要項)による。		● 建物、工作物、植栽等を管理する上での保全業務の要点● 主要材料の製造所名、所在地、連絡先、非常時の連絡体制一覧表		(表5,2,1)
項 ② 建築材料等 ※ 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のも 例 発生を	オの処理等 ○ 引渡しを要するもの ((1.3.8) ○ 現場において再利用を図るもの、再生資源化を図るもの		建設大臣官房官庁営緒部監修「管理者のための建築物保全の手引き」及び 「建築保全業務共通仕様書」を参考として作成すること。	③ 鉄筋の種類 (5.2.1)	種類の配号 径 (mm) 備 考 ※ SD295A D16以下 見形鉄筋
のとする。ただし、同等のものとする場合は監督職員の承諾を受ける。	() () () () () () () () () ()				美形鉄肋 ※ S D 3 4 5 D 1 9 以上 O
※ 下記材料品目は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・殷備機材 等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」にある材料とする。	○ アスファルトコンクリート塊 ○ セメントコンクリート塊 ○ 建設発生木材 ○ 指定副産物の処分地 (詳細は現場説明書による。)				
また、同評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督職員 に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとすることができる。	〇 指定地処分 ()			4 溶接金網 (5.2.2)	網目の形状、寸法 <u>150×150</u> 鉄線の径 (mm) <u>6 mm</u>
(評価名簿によるもの)	※ 自由処分 (1 0 1- 11 1- 1	※ 労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令		50 51 M (97) A de (-)
床型枠用鋼製デッキプレート (ファットデッキ)、鉄骨柱下無収縮モルタル、 無収縮グラウト材 (プレミッウス型、現場鯛合型)、押出成形セメント板、	※ 構外機出適切処理 ○ () ○ 特別管理産業廃棄物の処理	2 (2. 2. 1)	に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。 外部足場 ※ A種 〇 B種 〇 C種 〇 D種 (表2.2.1)	⑤ コンクリートの 強度 (6.1.4)	打 設 部 位 Fc(N/mm2) スランプ (cm) 備 考
成形伸縮目地材、乾式保護材(防水立上部)、陶磁器質タイル(陶器質9/M、 せっ器質9/M、磁器質9/M、再生材利用9/M)、既裴閣合モルタル(9/M工事用)、	○ 廃石綿等 ○ PCBを含む機器類 ○ PCB含有シーリング ○ 廃油 ○ 廃酸・廃アルカリ (○ 臭化リチウム ○ 蓄電池電解液		内部足場 ※脚立、足場板等 O 防護シート等	(6. 2. 1) (6. 2. 3)	
既製期合目地材、ルーフドレイン、吸水調整材(刊外用)、アルミニウム製建具、 鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、錠前類(シリンダ箱錠、レバーハンドル、	OSF6ガス使用機器 ※ 廃石絹の処分地 (仮 設	○ 防音パネル○ 防音シート○ 養生シート○ ネット及び養生シート材料、撤去材等の運搬方法		土間コンクリート ※ 18 O ※ 15 O 18 花壇等 捨コンクリート ※ 18 O ※ 15 O 18
ジリンゲ 本緒り錠) 、クローザー類 (ドアウローザー、ヒンジクローザー、フロアセンジ) 、 自動扉機構(制御装置・駆動装置、検出装置、制御装置・駆動装置・検出装置) 、	PCB含有シーリング材の分析側を O 行う (事	O A 種 ※ B 種 O C 種 O D 種 O E 種 (表2.2.2)		軽量コンクリート ※21 O ※15 O 18 無筋コンクリート ※18 O ※15 O 18 標件6.14.1による
自閉式上吊り引戸機構(干動開き式)、 <u></u> 量サンャッター、 オーバーッドド7、ガラス(7ロード版が 7ス、型板が 7ス、網入板が 7ス及び総入板が 7ス、	PCB含有シーリング材の撤去・処分方法は「建築物の解体等に伴う有害物質等の適切な取扱」による。		※ 足場は、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省基券第0424001号)」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により「働きやすい安心感のある		※ 構造体コンクリートの発注強度は以下のとおりとする。
熟線吸収板が ラス、倍強度が ラス、熟線反射が ラス)、ガラスプロック(中空)、	次の建設廃棄物は再資源化する。		足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、		[F c +構造体強度補正値 (S)] N/mm2
防水剤、ビニル床シート、ビニル床タイル、現場発泡断熱材、 7リ-アクセス707 (3000N、5000N) 、可動間仕切、移動間仕切(スライディングドア)、	○ 蛍光灯ランプ ○ H I Dランプ ○ 硬質塩化ビニル管・維手		足場の組立、解体又は変更の作業は「手ずり先行工法による足場の組立等に関する 基準」の2の(2)手ずり据置方式又は(3)手ずり先行専用足場方式を採用すること。		(6.14.1によるもの及び土間コンクリートは構造体強度補正は行わない)
トイレプース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、 屋上緑化システム(屋上緑化システム、屋上緑化軽量システム)、トップライト、	処理計画書等の提出 ※ 再生資源利用促進計画書、実施書を"CREDAS入力システム"により作成し、提出	② 既存部分の養生 ほ	既存部分の養生 ※行う (※ビニールシート O)		1 レディーミクストコンクリートの類別 (表6.1.1)
エポキシ樹脂、タイル部分張替え用接着剤、ポリマーセメントモルタル、 鋳鉄製マンホール蓋・弁祈ふた	用ファイルデーウと共に提出すること。 ※ 建設発生土及び建設副産物処理計画書、報告書を提出すること。	(2.3.1)	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	ンクリートの類別等 (6.1.5)	F ※ I 類 Ο II 類
	マニフェスト制度 ※ 産衆廃棄物管理票(マニフェスト) 制度により、適正な処理を行うこと。		○	⑦ セメントの類別	※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントの A
③ 特別な材料の工法 ※ 駿計図書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。	※ 産業廃棄物の処理を委託する場合は、連続と処分についてそれぞれの許可業 者と処理委託料を記載した「処理委託契約書」により委託契約すること。		養生の方法 ※取り外しのうえ清掃 ○ 保管場所 ※室内にてカバー掛の上、適切保管 ○		〇高炉セメントの日種
	ロールールス(port)に即分した。心室次(p)次(f) file 1 (中のソ家(p)次(f) 7 でした。	38	床音場		
特配				MM	Mile a go Deck ⑤ C. 2 / 200

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特記	事項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特語	, 事	項
⑧ 骨材 (6.3.3)	推骨材 ※砂利(JIS A5308)、砕石(JIS A5005) 〇高炉スラグ 〇電気炉酸化スラヴ 〇再生骨材H 細骨材 ※砂(JIS A5308)、砕砂(JIS A5006) 〇高炉スラグ 〇電気炉酸化スラヴ	3	アスファルトの種類 ※ 3種 アスファルトルーフィング ※ 1500 〇粘着層付アススフォルトルーフィング 厚さ(mm)	O	4 塗膜防水 (3.6.2)	種 別 防水層 施 工 箇 所 O P O X 工法 ※ X-1 表3.6.1	1 施工数量調査 (1.5.2	を監督職員に提出し承諾を	折技術者(BELCA)による外壁劣化状	〉 (況調査報告書
土 ・ 鉄 筋 ・ り 混和材料 コ ン ク	○ 例	防水改修工事		※非露出複層防水層R種 O O	(3.6.3) 防水 改 修 工 事	脱気装置 〇 酸ける 材種 (外 壁 改 修 工 事 2 ひび割れ部改修 (4.1.4 (4.2.2 (4.3.4 (4.3.6	※ 樹脂注入工法 ※ 硬質形工 〇 軟質形工 ※ 可とう性	ボキシ樹脂 ボキシ樹脂 エボキシ樹脂	医工 箇 所
リ 10 構造体強度補正値 (6.4.5) トエ 事	※気温による構造体強度補正値(S) (表6.4.1) 予想平均気温(で) 補正値 期間(打散日) 審通 早強 (T) 南部地域 中部地域 北部地域 8以上 5以上 3 3/6 ~ 6/30 3/11 ~ 7/20 3/11 ~ 7/10 10以上 0以上 6 11/16 ~ 3/5 11/6 ~ 3/10 11/1 ~ 3/10 18未満 5未満 N/mm2 南部地域(京都市(一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村) 北部地域(宮津市、旧加悦町以北の市町)		O 絶縁用シート ※ポリエチレンフィル	グ頻製造所の仕様による レム厚0.15 (保護防水工法) コス (70g/㎡程度) (保護防水断熱工法)	5 漏水試験 6 保証書 7 施工操職	※ 水張り駄験を行う (〇屋内 〇屋外) ※ 請負表者、防水施工患者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。 (保証年限は工事目的物引波しより10年間以上とする。) 工事完了後に監督職員の掲示する位置へ取り付ける。 材質 ※ 真鍮製エッチング仕上150×100 〇 設置数量 () 箇所	~	○ シール工法 ※ パテ状工 ○ 可とう性○ モルタル塗り仕上げ	エ ポキシ樹脂 材 料 施 ポキシ樹脂 ポキシ樹脂	版工簡所
11 暑中におけるコンクリートの扱い(6.8.2)	中部地域 (上記以外の市町、旧美山町及び旧京北町を含む) ※暑中における構造体強度補正値(S) 地 域 日平均気温が25度を超える期間 (打酸日) 補 正 値 北 部 地 域 7月11日~8月31日 ※6 N/mn2 中 部 地 域 7月21日~8月31日 O 3 N/mn2		脱気装置 〇 設ける 材	○適用する() ○適用しない ○ 1	8 シーリング (3.7.2) ~ (3.7.8)	>-リング 材の種類 ※ 改修標仕表3.7.1による シーリング 改修工法及び施工箇所	~	 ○ シール工法 ※ パテ状工 ○ 可とう性 ○ のタイル張り仕上げ 工 法 ※ 極質形工 ○ 軟質形工 	セメントモルタル ポキシ樹脂 エポキシ樹脂 材 料 施 ポキシ樹脂	医工 箇 所
13 コンクリートの	 ※予想平均気湿が表6.4.1に示す予想平均気温未満の場合には機仕第6章第12節 (寒中コンクリート)による。 ※フレッシュコンクリートの試験 ※コンクリートの強度試験 〇材料試験 		版版 検索 が 一切 が で が で が で が で が で が で が で が で が で が	数型(1箇所/ m) 〇 差所の指定品 〇		O ブリッジエ法		タイル撤去後の補修 エ 法	グ材 (PL-2) セメン Vモルタル 材 料 施 セメントモルタル コーン樹脂	医工 簡 所
14 コンクリートミキサー車の 過積載防止対策等	レディーミクストコンクリート施工の品質管理 ※スランプ試験、圧縮強度試験、空気量測定については、少なくとも一回以上、 監督職員立会の上、実施しなければならない。ただし、やむを得ない場合は 監督職員の承轄を受けた上で、請負者のみで実施してもよい。 精負者は、出荷伝票等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく 提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、ミキサー車1台毎の 積載量が把握できる集計表を検査時に提出しなければならない。	2 改質アスファルト シート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4)	○ 露出防水密着工法	表3.4.1 防水層 施 工 箇 所	9 とい(雨水) (3.8.2) ~ (3.8.3)	シーリングの試験 ※簡易接着性試験 (部位	3 欠損部改修 (4.3.7	工法 O コンクリート打ち放し仕上げ 工法 O 充填工法 ※工ポキシ	材料 施樹脂モルタル	医工筋所
(6.11.1)	種別 〇 1種 〇 2種 施工箇所		○ 露出防水絶續断熱工法	防水層 施 工 箇 所 表3.4.3		谷どい ※ とい受け金物 ※ 亜鉛メッキ鋼板 O 内とい // P管は使用しない) 材 質 そ の 他 たてとい及び横走り管 ※ SGP 径 75mm とい受け金物 ※ 亜鉛メッキ鋼板	~) O 充填工法 ※ エポキシ		医工 箇 所
(3.3.5) 防 水 改 修			厚さ(mm)	rルトシート製造所の仕様による 		防露響き ※ 改修様仕表3.8.3による ※ F ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆	~	○ モルタル塗替え ※ 改修標仕 工法 ※ 改修標仕 工法 ※ ひり は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	材 料 施 セメントモルタル コーン樹脂	医工 箇 所
事	一	(3. 5. 2)	釋 別 O P O S 工法 O S (1) ーF1 (t - ※ Posibly A 原物版 (* * O S 4 S 工法 O S (1) ーF1 (t - ※ O S (1) ーF2 (t - ※ O S (1) ーF3 (t - ※ O S (1) -F3 (t - ※ O S	表的 O無し) .0 O) .5 O) .5 O) .2 O) 表3.5.1	笠木 (3/9.2)	種 類 核厚 (mn) 表面処理 固定間隔		O タイル張替え 工法	9.102	
	種 別 防水層 施 工 箇 所			理 Q			副名 族 開席空風波斯森隆如仁本平平	◎病語吟絵丁車 MIE No. 2 2	28 Greck	(D a 2 /20

企業組合
一級建築士事務所 をとます 設計

一級建築士登録第187741号 石上圭介 一級建築士事務所登録(22A) 第00282号

特配	設計名称 国]保京丹波町病院和知歯科診療所改修工事
	図面名称	改修工事特記仕様書 (2)

特 ————————————————————————————————————	事		項 章	項	目	特	記事	項	章	項 目	特記	事	項	章 項	目	特	記	事	項
の 面積 (nm) の面積 (nm) (nř) 0.26 1.0 2.5	(本/m) (簡所/m' 一般部	(箇所 (箇所 /ml) /ml) /ml) /ml) /ml) /ml) /ml) /ml)	4 外 型 设 修 工	注注 9 注:2 10 E 1 11 94ル	入工法 (4.2.2) 入口付7ンカー たンゲ注入工法	既製目地材 〇使用する(仕上げ厚又は全塗装厚が25mm ※図示 〇 施工箇所及び 形状 ナナナ(ma)	O	・ 呼び径6mm色 耐凍害性 工法 その他※ 標準 ク 有 り	4 外壁改修工事	14 既存塗膜等の除去 及び下地処理 (4.6.3) (4.6.4)		う ○ 行わな 製造所: ※ 試験施工実施 加圧力 ○ 50~100mpa) (高圧 * * * * * * * * * * * * * * * * * *) 0 30~50mpa)	5 建具改修工事	(5, 3, 2) ~(5, 3, 4) 可製軽量建具	簡易気密扉の気密性、水 ● 防音ドアセット、防酒 ○ 断熱ドアセット、 断弱 ○ 耐震ドアセットの適同 JISたじ書き返車の寸法 ※ 製造所権率 類板 めっきの付着量 厚さ (mm) ※ 簡易気密扉の性能値 ○ 防きドアセット、 防語 ○ 耐震ドアセットの適所	密性 ※適用する サッシの適用(遮音性 サッシの適用(断熱性 (ら ○ 適用しな Eの等級 ○ I-1 ● I ● I ● I ● I ● I ● I ● I ● I ● I ●	T-2 O T-3) H-3) D-2) の 「
未満	リマーセメントモルタル 修標仕4.4.1による	IL				タイルの見本焼き ※ 窓回りの固定 施工後の確認及び試験 浮きの確認 ※ 全面 持接着力の試験 ※ 接着力の試験 ※ 接着力の試験 ※ 接着力の試験 ※ 接着のホルムアルデヒト	 (行わない ○ 行う (する ○ しない (する ○ しない (可診による確認を行う) 力試験機による接着力試験を (放散量 ※ F☆☆☆ ※ F☆☆☆ ※ F☆☆☆ ※ F☆☆☆ ※ F☆☆☆ 	0	1	15 部分改修工法 (4.6.6)		•		11 7	(5. 5. 2)	○ カラ 厚さ⟨nn外部に面する建具の耐展 簡易気密扉の気密性、水 ○ 防音ドアセット、防き ○ 断熱ドアセット、断熱	- 類板) ※ 表5.4.1 (片開: かいの	○ステンレス銀板 き、親子開き及び両開 有効高さが2,400mmを起 ○ S-5 ○ S- 5 ○ 適用しな をの等級 ○ T-1 ○ I をの等級 ○ H-2 ○ H	型える場合は除 - 6 (表8 い (表8 T-2 ○ T-3) H-3)
(㎡) (㎡) (㎡) (㎡) (㎡) (㎡) (㎡) (㎡) (㎡) (㎡)	- 機部 - 機部 増定部 指定部 ※25 ○ ※13 ○ ※12 ○ ※20 ○ ※20 ○ ※13 ○ ※12 ○ ※13 ○ ※12 ○ ※16 ○ ※9 ○ ※9 ○ ※9 ○ ※9 ○	Marcon M		補作	修	 ※ 塗膜防水 (※弾性ウレ ○ 薄付け仕上塗材(JIS A690 種 類 (呼び名) ○ 外装薄塗材Si ○ 可とう型外装薄塗材Si ○ のか装薄塗材E ○ のか装薄塗材E 	タン系	工法 備 考 欠付け コーラー 欠付け コーラー 欠付け ニて塗 コーラー	5 ²	2 施工数量調査 (1.5.2) ③ 改修工法	※ 行う(O建具金物 Oガラス Oガラ、※ 施工に先立ち、施工数量調査報告書を O 行わない※ かぶせ工法 (カバー工法)	ス止め材 〇 ・監督職員に提出し承諾を	.)	① 9		ステンレス鋼板 (屋内) JISただし書き建具の寸: ※ 製造所標準製 表面仕上げ ※ ト 曲げ加工 ※ 書 マスターキーの製作 ※ 作成する (グ	※ SUS304 O SUS は許容差 作規定寸法許容差による L仕上げ O 鏡面化 通曲げ O 角出し ループ、各グループ	S430J1L ○ SUS430 る 主上げ し曲げ _ 個) ○ 作成	(}
○ 注入口付かかでソング全面	※ 9 ○ ※ 9 ○ ※ 16 ○ ※	※ 25 ※ 50 〇 〇 〇 ※ 25 ※ 25 〇 〇	箇 所			○ 可とう型外装薄塗材	D 砂壁状 〇 ゆず肌状 〇 中ず肌状 〇 凹凸状 〇 ゆず肌状 〇 さざ波状 〇 ゆず肌状 〇 さざ波状 〇 四凸状 0 砂壁状 0 〇 四 0 〇 世界 0 〇 四 0 </td <td>次付け - て達 コーラー コーラー 欠付け 欠付け 工法</td> <td>5</td> <td>5 見本の製作等 (5.1.5) (5.1.6) 6 防犯建物部品</td> <td>を受けたものとする。 ※ 防火戸の指定及び連動装置は別図(建具図 ※ 防火区画に用いる防火戸で通行の用に供 第14項第一号口による。 建具見本の製作 〇 行う (建具番号 特殊な建具の仮組 〇 行う (建具番号 〇 ブラインドボックス等の再使用 (開口部の進入防止対策上有効な措置が構じ。</td> <td>引による。 するものは建築基準法施 </td> <td>行令第112条)))) と適用する箇所</td> <td></td> <td></td> <td>○シリンダー箱錠○本締り付モノロック●本締り錠○空錠●グレモン錠</td> <td>○握り玉: ステンレス ○レバ-ハンドル: アルミニウ (○ステ ○握り玉: ステンレス シサンダ-カラー: ステンレス ○握り玉: ステンレス ○はり玉: ステンレス ○しバ-ハンドル: ず鈴☆</td> <td>のは が公子の が公子の のは のは のは がいる子の のは がいる子の のは のは のは のは のは のは のは のは のは の</td> <td>その付 取付位置 取付位置 取付位置</td>	次付け - て達 コーラー コーラー 欠付け 欠付け 工法	5	5 見本の製作等 (5.1.5) (5.1.6) 6 防犯建物部品	を受けたものとする。 ※ 防火戸の指定及び連動装置は別図(建具図 ※ 防火区画に用いる防火戸で通行の用に供 第14項第一号口による。 建具見本の製作 〇 行う (建具番号 特殊な建具の仮組 〇 行う (建具番号 〇 ブラインドボックス等の再使用 (開口部の進入防止対策上有効な措置が構じ。	引による。 するものは建築基準法施	行令第112条)))) と適用する箇所			○シリンダー箱錠○本締り付モノロック●本締り錠○空錠●グレモン錠	○握り玉: ステンレス ○レバ-ハンドル: アルミニウ (○ステ ○握り玉: ステンレス シサンダ-カラー: ステンレス ○握り玉: ステンレス ○はり玉: ステンレス ○しバ-ハンドル: ず鈴☆	のは が公子の が公子の のは のは のは がいる子の のは がいる子の のは のは のは のは のは のは のは のは のは の	その付 取付位置 取付位置 取付位置
タイル張り仕上げ の目地ひび割れ改修工法 の仲頼目地改修工法 位置 ※改修権仕表4.5.1に、 寸法(幅×深さ) コンパード打雑ぎ目地、ひび割 その他 建築補修用注入エポキシ樹脂	れ誘発目地 ※20mmに ※10mmに ※低粘度形 C	以上×10mm以上 (以上×10mm以上 (O高粘度形	0			○ 外装(厚塗材 E	日本 日本 日本 <td>エ法 備 考 文材け コーラー 文材け コーラー 文付け コーラー 文付け</td> <td>C</td> <td></td> <td>・サッシ 適用箇所(・シャッター 適用箇所(外部に面するアルミニウム製建具の性能等利性能等級 ※ A種 耐風圧性 ※ S - 4 ○ ※ 気密性 ○ A - 3 水密性 ○ W - 4</td> <td>© O B種 S−5 O % O A−4 % O W−5 %</td> <td>(表5.2.1) ○ C種 S-6 ○ A-4 ○ W-5 ○</td> <td></td> <td></td> <td>●丁番 ○ビボットヒンジ ○点検口軸吊りヒンジ ○フロアヒンジ ○セジ 如一ザー(丁番型)</td> <td>● ステルス、〇貴銅 カが一部: ステルス、(() 建具製作所の仕様に かが一部: ステルス、(2) 動が、部: ステルス、(2) 本体: アルミラム合金 アーム部: 鋼(焼付け塗 〇ステルス、(() 飼))</td> <td>○亜鉛合金) 亜値のの こよる 〇月 本体は銅) ドラ 本体は銅) ボネは鏡り</td> <td>鉛合金は木 み 自開装置付 アクローザ 遅延閉り機</td>	エ法 備 考 文材け コーラー 文材け コーラー 文付け コーラー 文付け	C		・サッシ 適用箇所(・シャッター 適用箇所(外部に面するアルミニウム製建具の性能等利性能等級 ※ A種 耐風圧性 ※ S - 4 ○ ※ 気密性 ○ A - 3 水密性 ○ W - 4	© O B種 S−5 O % O A−4 % O W−5 %	(表5.2.1) ○ C種 S-6 ○ A-4 ○ W-5 ○			●丁番 ○ビボットヒンジ ○点検口軸吊りヒンジ ○フロアヒンジ ○セジ 如一ザー(丁番型)	● ステルス、〇貴銅 カが一部: ステルス、(() 建具製作所の仕様に かが一部: ステルス、(2) 動が、部: ステルス、(2) 本体: アルミラム合金 アーム部: 鋼(焼付け塗 〇ステルス、(() 飼))	○亜鉛合金) 亜値のの こよる 〇月 本体は銅) ドラ 本体は銅) ボネは鏡り	鉛合金は木 み 自開装置付 アクローザ 遅延閉り機
注入孔の間隔 (mn) 20 注入量 (CC/mn) ※ 自動式低圧エボキシ樹脂注入: 〇 機械式エボキシ樹脂注入工法 コア接取りによるひび割れ部の注入 ※ 行わない 〇 行う (接取り個数 ※ 改修様付 (接取り部分の補修方法	日程度 3000 法 0手動式ユ 状況の検査 4.3.4(f)(i)による	0 程度 3 C エポキシ樹脂注入。 O	0 0 程度 工法 			○ 防水形複層塗材 C E C の 防水形複層塗材 C E C の 防水形複層塗材 R S C 防水形複層塗材 R B を を を を を を を を を を を を を を を を を を	D 凸部処理 D 凹凸模様 D 仲ず肌状	次付け (O		② 郷市 (16 2 3)	○ 断熱ドアセット、断熱サッシの適用(断 ○ 耐震ドアセットの適用 (面内変形追 ○ 水切り、ぜん板等 (音性の等級 O I-1 熟性の等級 O H-2 随性の等級 O D-1 る場合は図示による。	O I-2 O I-3) O H-3) O D-2)			引手類レール	亜鉛合金程度、(● 見え掛り部 建具装作所の仕様によ ステンレス、	の 材 質 (A c c c c c c c c c c c c c c c c c c c	あおり止め その (奴付位置) 支援課具の場合) う黄銅) 別は木製建具
					注版	工 法 10回 20代 10代 10代	正 並	工 は 同語 「	立 本	T は	立 日	A. A. M. P. C. 1975 19	A	Part	PASS 19 19 19 19 19 19 19	March Column Co	## Company Com	Compared Compared	State Market Ma

企業組合 一級建築士事務所 **全を・ま**な 設計

一級建築士登録第187741号 石上圭介 一級建築士事務所登録(22A)第00282号

図面名称 改修工事特記仕様書 (3)

項 目	特 記 事 項	章	項 目	特	記	事	項	章 項	目	特 記	事	項章	項	∄ │ 特	記	事	;
	開閉方式 センサの種類 その他	1			0 クリア	O カラー()	パターン 防火性能 ※ なし			使用木材のうち杉、ひのきについては京着	3府内産木材とする。		ビニル床タイル		記号 厚さ (mm) 色 木		
~ (5. 7. 4)	Oスライディングドア 性能値 ※表5.7.1 O Oオットスイッチ 〇光線スイッチ 〇熟線スイッチ 〇スイングドア Oオットスイッチ 〇路線スイッチ 〇音波スイッチ 〇多機能便所スイッチ 補助センサを併用する 〇押しま、ケンスイッチ 〇路線スイッチ 〇含波スイッチ 〇の子機能便所スイッチ	5 3 3 3 3 3 3 3 3 3		× (※ 品質規格はJIS A5 ※ 建築基準法に基づ		,				○ 工事完成までに、京都府内産木材証明 証明書及び計算書の発行に係る手続 京都府地球温暖化防止活動推進セ	きについては次の機関による。	すること。 6		(ノレ ※ 発泡層のないもの○ 発泡層のあるもの○ ビニル床タイル			※ 仕上表(
	性能値 ※表5.7.2 〇光電スイッテ 〇 〇電波スイッテ	具改修工	22 ポリカーボネイト 樹脂版	種類 厚さ (mm)				装 改 修 工		TEL:075-211-8895 URL:http 注)証明書は製材所、流通業者の 詳細は上記URLを参照するこ。 ○京都府内産木材の産地証明書を提出す	全てが取扱い事業体でなければ発行 こ。	124		※ コンポジションビニ 〇 コンポジションビニ	類 記 ル床タイル(半硬質) C T ル床タイル(軟質) C T	T × 2.0	品質・
自閉式上吊り	凍結防止装置	事						事		(代用材種 ※ 可 (表6.5.4) (上配府内) (本可)		不可)		○ ホモジニアスビニル○ 帯電防止床タイル種 額	·床タイル H T	T O	厚き
引戸装置 (5.8.2)	適用戸の総質量(kg) 〇 40以下 〇 40を越えるもの 手動開き力(k) ※ 15以下 〇 ※ 20以下 〇 手動開じ力(k) ※ 15以下 〇 ※ 20以下 〇]	1 接着剤			イル、カ - ペット、フロ・	ー リンゲ、ボード類、合板、			○ 構造用集成材 使用箇所 強度等級 材面の ○ 1種 ※2		寸法		○ 帯電防止床シート ○ 帯電防止床タイル	※ 体積抵抗値 1.0×1 O		
	性能等 品質・規格	6			ド等の放散 量 JISで気 レン、エチルベンゼン		☆☆☆☆ ○ 大臣配定品 有量の少ない規格品			○ 構造用単板積層材 使用箇所 接着性能 由げ性能	水平せん断性能 樹 種 名	厚さ		○ 誘導用、注意喚起用種○ 塩化ビニル系○ レジンコンクリート	寸 法 ※300mm角	(mm)	厚。
(5. 9. 2) ~) 装 改	② Wa₩Aka	(木工用) ※	クタル酸ープチル等を含有し クタル酸ープチル等を含有し	ない、難揮発性	のもので規格品			○ 造作用集成材 使用箇所 見付面の品質	樹 種 名 寸	法		○ 磁器又はせっ器質タ ○ 耐動荷重性床シート			
(5. 9. 4)	○ 歴内市的強ンマッター (パワップへ 水板ける) 開閉方法 ※ 上部電動式 (平動併用) ○ 上部手動式 (電動式シャッターには保護装置を設ける。) 顕板類の厚さは 表5.9.2 による	事	② 他の部分との 取り合い等 (6.1.3	● 図示		上げを行う。				※1等 〇2等 ○ 化粧ばり造作用集成材 使用箇所 見付け面の品質 心材	樹種名 化粧樹種名 化粧板厚	寸 法		種 類 〇 〇	P を (m	mm)	備
軽量シャッター (5.10.2)	開閉方法 〇 上部電動式 (手動併用) ※ 手動式 (電動式シャッターには保護装置を設ける。)				に伴う当該壁の取り合 min程度とし、既存仕上						針葉樹)			● ビニル幅木種類● 軟質 ○ 硬質	寸 法 ※60 O75 O100		厚 ※1.5
~	スラットの材質 ○ 塗装溶融亜鉛めっき鎖板 ○ ○ 塗装溶融亜鉛-55アルミニウム合金めっき鋼板 スラットの形状 ○ インターロッキング形 ○ オーバーラッピング形			〇 範囲 (仕上げ ()			使用箇所 表面の ※ 天然木化粧加工 〇:		厚き		〇 ゴム床タイル張り 色 柄 リ	享 き(mm) 寸 法	去 (mm) 品	買·
	耐風圧強度 (鋼板の厚さは 表5.10.2 による			※ 既存のまま〇 図示〇 範囲 ()	仕上げ()			集成材のホルムアルデヒドの放散量 JASで定める ※ F ☆☆☆☆ ○ ※ 非林ルアルデヒド系接着剤使用並びに 放散しない塗料使用(単板積層材	非机仏アルデヒド系接着剤及びホルムアルテ	_ th' &		き 〇織じゅうたん). 2) 種 別 パ	イル形状 織り方 幕	帯電性 施	 色 工
ドア (5.11.2) ~	セクション材 ※ ステールシイブ ○ アルミニウムシイプ ○ ファイバーヴラスタイプ 開開方法 ※ パランス式 ○ ヂェーン式 ○ 電動式 (電動式には保護装置を設ける) 収納形式 ※ スタンダード型 ○ □ 一ヘッド型 ○			種 別 ● ビニル床シート等 (○ 下地刊がいの撤去	\	:	施工箇所			床張り用合板 押入れ、物入れ等の床 ※ 普通合	板(国内産樹種表面材)		(6. 9			適用	
(3.11.4)	○ ハイリフト型 ○ バーチカル型 ガイドレール等 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ○ ステンレス製SUS304 耐風圧強度 (● 図示 〇 〇 合成樹脂塗床材	/ O 機械的除去 O 目荒し工法					接着の程度 ※ 1 類 〇 2 類 量床下地材及びフローリング張り等の 構造用合板(針葉樹) 接着の程	〇 広葉樹 〇 竹	等 ※ 2等			(min) 工 法		i I
ガラス	材料: 図示による	,		● フローリング張り 〇 床タイル	***					n°-7-f/hボード 15mm 曲げ強さ・接着剤の ○ 13P9f7 又は13M9f7 ○ 合板類のホルムアルデヒド等の放散量 JASで定める ※ F☆☆☆		_		○ 二一ドルパンチカー 帯電性 厚さ(mm ○適用		施工箇所	
(5. 12. 2) ~ (5. 12. 4)	O 70-ト板ガラス O 強化ガラス	- - - -		コンクリート・モルタ	ル面の下地処理					※ 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 パーティクルポード・MDFのホルムアルデヒド等の放 JASで定める ※ F☆☆☆ 防腐、防鏃及び防虫処理	散量			○ タイルカーベット 種別 パイル形状	寸法(mm) 総厚さ(mm	m) 施 I	工管
	O線入板ガラス O熱線反射が 5x O合わせガラス O倍強度ガラス O O			協議する。 改修後の床の清掃範囲			部の補修は、監督職員と 〇 別図に示す範囲			防腐剤の種類及び品質(※木材保存剤(防腐、防糖処理)は、 ※木材保存剤(防腐、防糖処理)にク ※ 木材保存剤(防腐、防糖処理)にク ※ 処理の方法は工場における加圧とし、					レ ※500×500 ※6.5 き方 平場部分 ※市松敷き 階段部分 ※模様流し		
	ガラス溝の大きさ (表5.12.1) 種別 面クリアランス エッジクリアランス 掛り代 〇アルミニウム健具 ※表5.12.1 ※表5.12.1 ※表5.12.1 〇類製健具 〇 〇 〇		④ 既存壁の撤去等(6.3.2)	間仕切壁撤去に伴う神 ※ 改修標仕6.3.2(4						加工が生じた場合には、加工した簡 防蟻処理 ※ 行う(範囲: 防虫処理 ※ 行う(範囲: ラワン材等	所に対し、現場にて木材保存剤を2) ○ 行わない	回塗布する。		0	3204 (反毛フェルト) の2号 		
	O ステンレス建具 O O O O		⑤ 木下地	表面仕上げの程度	_		種			○ 行わない腰羽目板● 天竜木材 レッドパインノッティ	ウレタン塗装品 3980×86×9 :		10 Act ##896c		0_		
ガラスとめ材	熟線反射ガラスの映像調査 〇 行わない 〇 行う() 建 具 の 種 類 材 質		(6. 5. 2) ~ (6. 5. 6)	含水率 構造材 下地材	※ A種(20%以下) ※ A種(15%以下)	O B種((20%以下)	⑥ 軽量鉄骨	大井 (6.6.2) ~ (6.6.4)	野縁等の種類 屋内 ※19型 屋外 ○19型 屋外の野縁受け・吊りボルト・インサー	※ 25型	(表6.6.1)		(2) ※ 平滑仕上げ(3) 塗厚 (mm) 〇_	○ 防滑仕上げ ○ つ・	や消し仕上げ	
(5. 12. 2)	アルミニウム製			造作材 保存処理木材	※ A種(15%以下) 〇 使用する(使用領					既存の埋込みインサートの使用 ※ ※	○無し ○無用しない ○ 再利用す)			ま材 土上げ ○ 厚膜流し展べ 土上げ(○ 平滑 ○ 防滑		
	※ 防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能配定品とする。 ※ 防音仕様、断熱仕様及び耐震仕様については図示による。			1	造材 (見隠れ部) (見隠れ部) ※ 図示	下地材	(表6.5.3)			あと施工アンカーの引抜き試験 〇 名 〇 名 吊りボルト間隔が900mmを超える場合の補	示う (箇所以上、 N/箇 示わない 強方法 ※ 図示 ○	所)		塗料のホルムアルデヒ	ド放散量 ※ F☆☆☆	☆ ☆ O	
	建具材の含水率の種別 ○ A種 ※ B種 ○ C種 代用樹種の通用 ※ 可 ○ 不可 合板、ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)及びパーティクルボード等の			※エハ郎 ※ガロ の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	0	0	ОВ種			天井下地材における耐震性を考慮した補記 屋外の軒天井、ピロティ天井等における配		「り 〇無し					
書 (H22年版) による。	#MJ7M7 th' 等の放散量 JIS又はJASで定める ※ F☆☆☆☆ 〇 製作に使用する接着材のホルムアルデヒド等の放散量 JISで定める ※ F☆☆☆☆ ○ 大臣懇定品 ○	-			内産木材の産地証明書 6.5.4)(上記府内産		されているものは不可)	⑦ 軽量鉄骨	壁下地 (6.7.3)	スタッド、ランナー等の種類 ※ 表6.7.1 におけるスウット の高さに。 スタッドの高さが5mを超える場合 ※ 図示 〇		(表6.7.1)					

企業組合一級建築士事務所 むきまち 設計

一級建築士登録第187741号 石上圭介一級建築士事務所登録(22A)第00282号

î	特記	設計名称	国保京丹波町病院和知歯科診療所改修工事
무		図面名称	改修工事特記仕様書 (4)

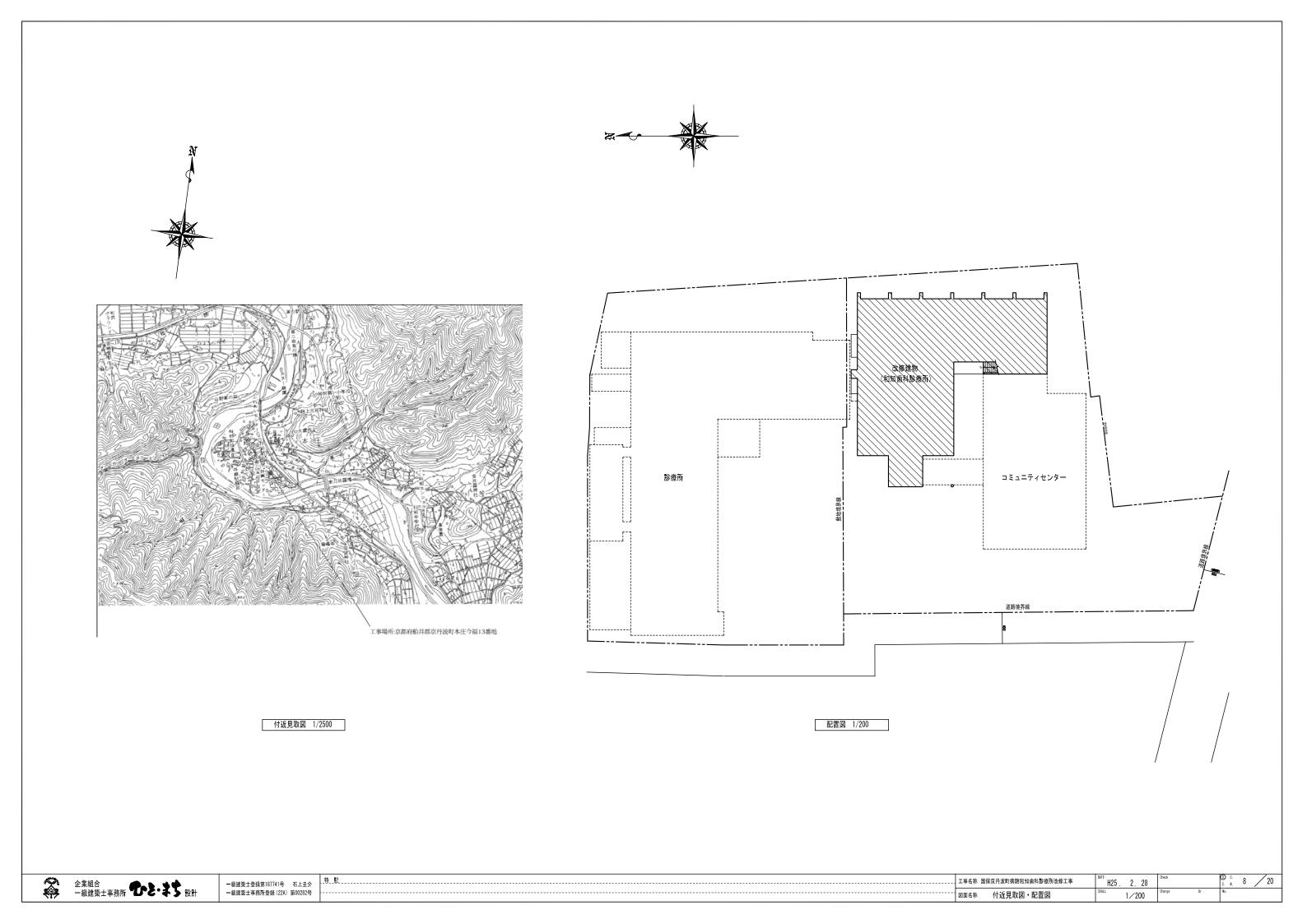
1/1

項 目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項 目	特	記	事 項	章	項	目 特	記	事	項
	単層フローリング	新 唐 キ / /		(表6.11.1) (表6.11.2)		⑤ 天井廻り縁	*	f質 Ο アルミニ	:ウム製 ● 塩化ビニル	製 製			⑤ 塗装工程	工程の種別	******	(表7.4.1)~(表7.14	. 1)	1 コンクリート		クストコンクリートの類別	※ I 類	類
(6. 11. 8)	種別 樹子 () () () () () () () () () () () () ()	※15 ※あり O なし O なし	〇 釘留め工法 〇 接着工法	○ 防水処理足金物付	6 内装		5. 15. 2) ~ p	「製目地材 ○ 適用する (i 「の目地 ○ 酸ける (エ)	形状 去 ※改修標仕6.15.6 (b) (3)	(545 O)	7 塗装		ペイント塗り	種 木部 新規外部 新規内部 塗替え 鉄鋼面	別 ※ A種 ○ B種 ○ C種 ○ A種 ※ B種 ○ C種 ○ A種 ※ B種 (外部の場合工程 1 程(は行わない) ○ C種	8 2 2	強度 (8. (8.	1.4) 設計基準第 〇 普通コ		× 15 ○ 18	備
	パーケット 複合フローリング (種別 種 別 樹 野 〇 1×6タイプ	重 厚さ(mm) 下張り		備考	改	17 タイル張り (6		a縮觸整目地等 外壁及び床面 屋内壁面	※ 図示による ※ 図示による	o	_	改修工事			塗替え	※ A種 O B種 O C種			○ 軽量コ: 打 B 構造体	/クリート 部 位 Fc(N/mm 基礎 ※ 2.1 O		備
	● フローリング ※ なら ボードタイプ ○ ○ ※ 下張りは合板張りによる 接着工法のフローリング裏	● 12 ○ なし 5。ただし、C種釘留と	※ C種 〇 接着工法 め工法は下張りなし	しとする 。		(6		接着力の試験	検 ※全面打診による確認を行 ※接着力試験機による接着		ない			非水分散型塗料塗り	鉄鋼面及び 亜鉛めっき鋼面 ○ A種 ※ B種	表7. 6. 2	コンクリート		{ F	上部 ※ 21 ○ ンクリートの発注強度は以 c +構造体強度補正値(S)	Fのとおりとする。] N/mm2 /	
	仕上げ塗料 ※ ウレタ ○ オイル フローリング材のホルムア JIS又はJASで定める 非林ムアルデヒト・系接着デ ホルムアルデヒト・系接着デ ホルムアルデヒト・を発散した	ステインの上ワックス ルデヒドの放散量 ※ F ☆ ☆ ☆ ☆ 利の使用	、塗り 〇 生地の 〇 F☆☆☆ ※ 使用する	○ ○ 使用しない			ħ	マイルの種類 正営所及び マイルの種別	〇 陶器 〇 施和 〇 世っ器	葉 役 物 色 耐	有り 無し			上塗り塗料等級 〇(2級)	鉄鋼面 亜鉛めつき鋼面 コンケリート面及び 押出成形セメント板面 コンケリート面、フ・ラスター面、 モルケル面、石こうボード・面 その他ボード・面	○ A種 ● B種 ○ C種 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ A-1種 ○ B-1種 ○ C-1種 ○ A-2種 ○ B-2種 ○ C-2種 ○ A種 ※ B種 ② C種 、 しみ止め ○ ※ しみ止めシラー			2.5) 〇 高炉セン	レトランドセメント又は混合 シントのB種(施工箇所 パメント パッシュセメントのB種(施 ?		_)
	種別 〇A種 〇B種			(表6.12.1)					〇 せっ器	油 ○無し ○特注 ○油 ○有り ※標準 ○つ 無し ○特注 ○	有り				塗替え 鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面	(B種及びC種の場合 ※A種 ○B種 ○C種 ○A種 ※B種 ○C種 ○A種 ※B種 ○C種 ○A種 ※B種 ○C種	<u>\$)</u>			※ 砂利(JIS A5308), 砕2 ※ 砂(JIS A5308), 砕砂(ภ ○ 電気 ○ 7ː□
その他ボード 及び合板張り	種別 ※表6.13.1によ。 種 ● せっこうボード (GB-R) ● 化粧せっこうボード (G	類 ※ 12. B-D) ○ 杉木 ● ト 5	規格、厚 5 (不燃) 9.5 正模様 ラバーチン模様 ま下地は専用のものとする)	i (不燃) ○ 12.5 (不燃)			4	イルの試験張り イルの見本焼き 図回りの固定	※ 行わない※ 行わない※ 行わない	〇 行う 〇 行う 〇 行う				Iでからか、イント塗り EP-T 合成樹脂でからな 模様塗料塗り	ОА種 ※В種 ОС	−ラ− (B種及びC種の場合)			混和材料 混和剤	シリカ反応性による区分 ※ AE剤、AE滅水剤又はる ※ フライアッシュ(JI§		
	○ 不燃積層せっこうポー ○ シージングせっこうボー ○ 強化せっこうボード(6 ○ ロックウール吸音ボー ○ グラスウール吸音ボー	ド (GB-NC) 〇 ト: 〇 模林 一 ド (GB-S) 〇 15 (B-F) 〇 21 (FW-B) ※ 25	ラバーチン模様 業無し (不燃) 〇 12.5(準 (不燃) 〇 15(不燃)	※ 9.5 (不燃) 不燃) ※ 9.5(準不燃)		18 セルフレベ 材塗り (6	5. 17. 2)	種類及び品質は表 ○ 石こ [さ(mm) ※ 10	う系 〇 セメント系	Ę			6 マスチック塗材 塗り (7.15.2)	WP 木材保護塗料塗り	表7.13.1				合板の規格 1.4) 2.6) 合板の材種	※ Jライアッシュ (dig ※ 「合板の日本農林規格 〇 ※ 広葉樹合板、 針葉樹合 ※ 12	の「コンクリート型枠用合板の類	
	○ の 吸音あなあきせっこうた。 ○ ロックウール化粧吸音和	ボード (GB-P) 09.5 反 (DR) 内部月	(準不燃) 引 フラット O 12(立体模様 O 15(引 フラット O 12((不燃) ※ 9 (不燃) (不燃) ※ 12 (不燃) (不燃) ※ 9 (不燃) (不燃) ※ 12 (不燃)	7	 塗装業者 塗装材料) 日本塗装工業会の) 監督職員の承諾す ! !	る塗装業者					〇 B種 〇 保証年限 ※ 7年(鉄面を	除く)、3年(鉄面)				打放し仕上 ※合板 種	げのせき板 せき板を用いる場合 別 板面の 種 ※ 8(.2.6(b)(1)()	品質 施工	工 筃
	(けい酸カルシウム板(0)メラミン樹脂化粧板()難燃木毛セメント板()町熟木毛セメント板(※普通合板(※※※課燃処理()所煙処理()(※※禁燃処理()所煙処理()(※禁燃処理()(※禁燃処理()(※禁燃処理()(※対燃処理()(※対燃処理()(※対燃処理()(※対燃処理()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()(※対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()対域()<	JIS K ○ 30 ○ 30 □ 2mm 接着の表面の品質 □ 接着の	6903による ※1 ○25 ○20 ○25 ○20 ○25 ○20 ○28 表板 の程度 表板	○ 15 ○ 15 樹種 坊虫処理 ○ 行う	塗装改修工事	③ 下地調整	(7. 2. 2) z	は料のトルエン、キー 素 地	※ F☆☆☆☆ ○ F☆: シレン、エチルペンゼン 種 別 ○ RA種 ※ RE ○ RC種 ○ RA種 ※ RE	※ 含有量の少 (表7 備 3種	>ない規格品 . 2.1) ~ (表7.2.7) 考		1 鉄筋の種類 (8.2.1)			AF AL			O 合板 1 : 外部に面す	種	※ 図示 O :	20
	○ 特殊加工化粧合板 (※離燃処理 ○防煙処理) ○ その他下張り用合板 軽量鉄骨下地ボード遮音艇	厚さ 接着の表面の品質 OF C	DEW OW OWS D	加工の方法			3	回鉛めっき面 ・ルタル及び プラスター面	ORC## % REORC## ORC## ORC##	3種	***	補強	3 鉄筋の継手 (8.3.4)		合 方 法 E接 ○重ね継手	径 (mm) 重ね継手の長さ D 1 9 以上 ※ 改修標仕			スリーブ	用いる材料 〇 鋼管 〇 溶融 : る構造体強度補正値(S)	○ 硬質だ 亜鉛めっき鋼板 ○ つばく	ポリ塩化ビ 付き鋼管
	 ※ アクリル系シーリン せっこうボードの目地処理 ● 縦目処理 ○ 公種 ※ バーティがボード、MDF、合板、JASで定める] 突付け 〇 目透か B種 . 化粧合板等の糾スアルテ	し ´tドの放散量	(表6.13.3)				ルケリート面及び ALCパネル面 ケリート面及び 押出成形セメント面 ここうボート・及び その他ボート・面	ORA種 ※RE	○適用する (3種 ひび割れ部の神 ○適用する (D適用しない 情修	鉄筋工事)	(8, 4, 2)	○ ○ ガス ○ 機械式継手 種類品質 総様手位置 ※構造図	○ (奮闘方法、修正方法等 - - よる ○ (0 ()	<u>-</u>	(8.	普通 8以上 0以上 8未満	5以上 3 N/mm2	$\frac{1}{1}$ $\frac{1}$	
壁紙張り (6.14.2) (6.14.3)	防火性能・品質・規格・施施 行 箇 所	工簡所 ※ 図示 防火性能	による 〇下表品 質				(7. 3. 2) (7. 3. 3)	シアナミド釣 鉄	8 名 称 屋外 屋内 含さび止め ○ ● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	塗料種類 塗装工程種 2種 新規鉄鋼面 見え掛り部	分 OC種		5 鉄筋のかぶり厚さ	定着長さ 柱に取り付け、 ※構造図 〇 H型 ※W-I型 ○ ※かぶり厚さは目地底から3 ※耐久上不利な箇所の鉄筋	による ○ (W-I型 ○ 図示 に定する。)		5 暑中における	北部地 中部地 室内の工事	或(宮津市、旧加悦町以北の 或(上配以外の市町、旧美山 における温度補正 〇 行	市町) 町及び旧京北町を含む) つない(適用箇所	
	壁紙のホルムアルデヒドの JISで定める ※ Fゥ 下地調整 モルタル コンクリ せっこう	☆☆☆☆ 〇 大臣閣 ・及びプラスター面	ORA種 ※F ORA種 ※F				<u>.</u>	西 B種 かかり かい	フリーさび止め - ○ かふさび止め ※ ※ お樹脂プライマー ● ○	一 ○A種 ※B種 塗替え ○A種 ○B種 - ○ A種 ○ B	OC種 EP-G塗 **C種		及 (5)到南 (0. 3. 3)	施工 箇所	等最	o。 小 か ぶ り 厚 さ (mm)		コンクリートの扱	() 7.8) 地 北部 中部	地 域 7月 地 域 7月	25度を超える期間(打設日) 11日~8月31日 21日~8月31日 1日~9月10日) ※ O
								面 C種 水系され	が止め <u>-</u> O	-	EP-G塗		6 壁の配筋及び補強 (8.3.7) 7 圧縮完了後の 試験 (8.3.8)	※ 構造特配による試験方法※起音波探傷試験				/ 6 寒中コンクリ・		気温が表8.5.1に示す予想平 ンクリート)による。	均気温未満の場合には標仕9	第6章第1

										項	章 項	項 目	特	記 	事	項章	項	目				項
① 家具、ユニット等の 揮発性有機 化合物対策	収納家具その他ユニットに ホルムアルデヒド等の放散量 接着剤に含まれる可塑	(平成22年版) の該当項目 使用する材料で、合板、 JASで定める ※ F☆ 使用する合板等の接着材 JISで定める ※ F☆	日、該当図又は該当表を 化粧合板、MDF等の ☆☆☆ ○ F☆☆☆ オ ☆☆☆ ○ F☆☆☆	: - 京す。 - O - O	9 ユニット及び ⑪ ブライ	館名		質 色 書 レ板 ※ 角太ゴ 仮 ○ 丸 行う (○ 英語 (600×600 ○ 100×600	体	0 平付型 ○ 持出型 3 末 打 三	0 非水工事			平成22年版) の該当項目 管 の 手管 ※ 外圧管 (※ 1 ※ VP	種 ○ 2種) ○ モルタル ○ VU ● 接着	方法 0 3 4輪	7 排水性舗	(22. 7. 3) (22. 7. 6) 点 数 表 (22. 8. 3)	アスファルト フィルタ層の厚さ ※ 透水性アスファルト混合物の拍 補装厚さの試験 アスファルト アスファルト アスファルト ボスファルト混合物の拍 補装厚さの試験	歩道部 ※ 車道部150mm、 型 的出試験 (の * リャー改賞 の 出試験 () 行う ※ 行わな (行う O 行わな	0 0 1, 1, 2,7,1,1,1
2 フリーアクセス フロア (20.2.2)	 ◆ 建設技術評価制度「耐息 の パネル構法 施 工 箇 所 ○ 溝構法 施 工 箇 所 ◆ 表面仕上げ材の品質、表スロープ及びボーダーコンセント等の取付け 配総用取出し用開口 空間用吹出しパネル 	製定高さ (nm) 地震時 ○ 1.0 ○ 0.6 製度高さ (nm) 地震時 ○ 1.0 ○ 0.6 製模等は、標住18章内 ※ 製造所の標準仕様 ※ 製造所の標準仕様 ※ 対応品又は工場加工	水平力 床 仕 G ※ タイルカー G ○ 帯電防止ビ 水平力 床 仕 G ○ 帯電防止ビ 装工事による。 ○ 図示 (コンセント本体は	上 げ ペット にル床タイル 上 げ ペット にル床タイル よ げ より は別途敷備工事) は図示)	で 他 の で ロール: 13 カーテ	(20. 2. 12) ※ 核 スクリーン 操作 (20. 2. 13) 幅数 スク 品質	## ※ 7	○ ※ ギヤ: ○ クロススラット ブリング式 ● チェ- 「製 ○ ガラス繊維製 イ「ソフィ」 生地: 平	式 〇 コード式 ※ 2 O 8	25 O 35 20 ※ 100		\$\frac{1}{2} \tag{21.2.2}	○ 溝ふた用○ 桝ふた用○ 桝ふた用○ 太テルス○ 協鉄を○ 以デ浦用○ 樹脂を	類 (デーバー・パッキン式) 〇 (受開形 (パッキン式) 〇 (アッキン式)	適用荷重 (安全権 T-2 用 (5kN) ○ T-6 月 T-20用 (50KN) ○ ** 適用荷重 夕イブ ○ 歩行用 ○ ** ○ 歩行用 ○ ** ○ T-6 月 □ ○ ** レ ○ T-14用 示 ○ T-20用	上面形状 〇 平形		(22. 9. 3)	* 普通平板(I)) カラ ・ 洗出平板(I)) 類4 品質・規格 ・ フィンターロッキング 種 類 ・ 携準7 ロック ・ 透水性 2 ロック ・ 適生 7 ロック ・ 品質・規格 ・ 観石 ・ 観石 ・ 観石 ・ 観石 ・ 種	類 ラー平板(t) E(S) 〇 プロック塗装 厚 プロック塗装 厚 週部 の 60	※80 ○ ※標準 ※60 ○80 ○ ※80 ○100 ○	※砂 〇 モル 及び表面加
3 可動間仕切 (20.2.3)	種 構造形式 構成基本 * パネル式 ○ スタッド式 ○ スタッド式	類 材 表面仕上 ※メラミン樹脂又 アクリル樹脂焼化	遮音性 寸法	に取付ける建具 ・ 形 状	14 カーテ	ンレール 材種 (20.2.14) 形式	O O 方法で定める防炎性能の ※ アルミニウス t 〇 片引き	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	O W Omm以上の召合せの重ね	掛けとする。)	3	コンクリー 例測 (22.9.2)	: 鉄筋コンクリートト形のJI コンクリート形のJISICよ、 鉄筋コンクリートU形のJI 現場打ちコンクリートの 地集の材料	6呼び名 C Sによる呼び名 C 計基準強度 Fc(N/mm2)	250A	M 0	9 縁石 (22. 10. 2) 설 설	* 小舗石(花崗岩)コース	/	* A O	※ 2等品 O
4 移動間仕切 (20.2.4)	パネル操作方法による種類 あと施工アンカー 村覧		パネル圧接装置の操作:) 寸法(方法 遮音性能	(B) ブライン カーテ	ンボックス 仕村	兼編×深さ 表面処理 ● ○塩化ビニル	○ C — 1 (無着色) 製(コイル状 ステンレ	150×80 ○ 120×80 ○ C-2 (着色)	1	1 1	路床 (22.2.3.		平成22年版)の該当項目		/		证 22.11.1)	/	※ A種 〇 B 〇 A種 ※ B 耳生クラッシャラ	種	
5 トイレブース (20.2.5) 6 階段滑り止め (20.2.6)	(O 脚部 ※幅木型 ヒンジ ※グレビティ 材種 ※ステンレス製	○ 足金物付 一ヒンジ (SUS304) 幅 ※	ーエッヂ付き)) ※ 約35mm		17 鋼製書: 18 収納家. 19 掲示板	具(木製)品質	〇 ゴム製(ス	テンレス製 (SUS304) 受 示 表面の材質	神)	質・規格	浦麦工事	(22. 2. 5	○ 普通ポルト ○ フライアッ 添加量 (ランドセメント C シュセメントB種 C kg/m3)	高原セメントB種 生名灰 特号 〇生五版 消石灰 特号 ○ 名石版 ・	. 1号	11 白線引き	Ħ	● 類 ○溶融式	〇 ペイント式	幅 (cm) 〇 15	0
IAIA / / /	取付工法 ※接着工法 O ステンレス製 (SUS304) O 集成材クリアラッカー(O ビニル製ハンドレール	径 ±上げ 径 I ※丸型 径 I	mm O平型 幅	mn	② カウン	ター 品質	○ ステンレス製 (SUS ※7 IN: つム製 (B- ○ ステンレス製 (SUS ぼ・規格 図	304) 2) 304)	 **89 **89 O&U O&U			(22.3.5) アスファルト舗装	材料 ※ 再生クラッ 〇 クラッシャ 路盤締固め度の試験 舗 装 の 種 類 ※ アスファルト舗装	ラン (C-40) C 〇 行う 車道部基層	カラー舗装の種類 水面料混入加熱アスファ							
(20. 2. 8)	種 類 ○ 黒板 ※ 塊付け ○ ** なう 2 ○ おり(+**	5う 製 (表面処理の種別	※線 〇曲面〇黒 〇スクリ※白 〇曲面〇スクリ	リーン付引分け	② 流し台	奥名 ユニット 〇: 〇:	示き (mm) ○ 約4 種 類 部品 充し台 コンロ台 吊戸棚 ₩900.1 水切り棚	60	 株 仕 空部品 下空部品 下ってが で部品 できずる マテンレス マランレス マランレス マランレス マランレス マランレス マランレス マランレス マランレス 	様 き ド有り XXmm 製 1 段式		~ (22. 4. 6	アスファルト ※ 再生加熱アスファルト混合 区分 ※ 麦層 ※ 密粒度アス	再生アスファルト 物の種類 - 製地域 ファルト混合物 (13) ファルト混合物 (13)	○ ストレートアスファル○ 寒冷地域※ 密粒度アスファルト混○ 鞭粒度 パスファルト混	ト 合物 (13F)						
	衝突防止表示 ※ 図示 (市販品 ● なし 法令に基づく表示 ※ 非常用進入口表示等) :詳細図による。	23 非常用 2 24 鍵箱	形式品質	t ○ 傾斜式 質・規格	防法に基づく国家検定に 〇 垂直式 ※ 釣下式 〇 差込			4	コンクリート舗装	シールコート アスファルト混合物の抽出 アスファル / 締固め度、厚	試験 〇 行さの試験 ※ 行	う ※行わない う 〇 行わない)						
	※ 5 ※ アクリル ○ アルミ板 外国稲泰親 ○ 行 寸法 (mm) ○ 50 ピクトグラフ (優所、車い 厚さ (mn) 材 質 ※ 5 ● 木製板	反 ○ 丸 Tう (○ 英語 ○ 0×250 ● 60×250	マック ※ シルク印刷 O) O 図示 付け形式 備 平付型		25 車止め 26 フェン	※ - 基級 ス	形 式 上下式鎖内蔵型 (○ スプリング付き 達 無筋コンクリー 表 面 仕 上 等	材 質 ※ ステンレス襞(SUS304) ○ ○ →遊350×350 H2	類 〇 エキスパンドフェンス	高さ (mm) ※ GL+700 ○ GL+850		(22.5.2 ~(22.5.6) カラー塗装	注入材料 ※ (カンクリート版厚さの試影 種 ※ 加熱系アスファルト混合 添加剤 (着色料 結合材 (アスフォート混合物等の抽出	○ 高○ 内○ 有類一物材 ○ 自然石○ 石油樹脂(添加)	弾性タイプ う ※ 行わない 部 位 ○ 車道部 ○ 歩道部	配合その他						

企業組合 一級建築士事務所 **全と・ま** 設計

設計名称 国保京丹波町病院和知歯科診療所改修工事 図面名称 改修工事特記仕様書 (6)



■ 内 部 仕 上 表(現況・撤去)

限比		内装制限	床			巾木(特記ゲ	· H60)	壁	柱型	梁型	天井		天井高さ	廻り縁	カーテンプライン	摘要
陷	至 位	内装 排煙	下地(特記外コンケリート)	ß	高	下地	高さ	下 地 (特配無き限り 既存躯体)	下地	下地	下地 (特記外 LGS下地)		(FL+)	足力物	ボックス ボックス	(周女
	ホール (1)		モザ、イクハ゛ーケットt=8の上ニート゛ルハ゛ンチカーヘ゛ット	(撤去) =	±0 2	木製 (撤	75	モルタル VP (存置)	同左		GB-D t9.0	(撤去)	2965	塩ビ		補助手摺(撤去)
	/ / / (1)											(軽鉄下地撤去)	2000	(撤去)		
元	(玄関)	(4)	100角磁器質タイル	(撤去) ±0	~-50 7	テラゾープロック t=25 (撤딄	75	同 上 (存置)	同左		大平版t=5 外装吹付材	(撤去) (軽鉄下地撤去)	2965~3015	アルミ (撤去)		拿立て、下足箱 (撤去)
健士	キ か ウ	M	ビニル床タイル	(撤去) =	±0 2	木製 (存記	1) 75	同 上 (存置)	同左		GB-D t9.0	(撤去)	2965	塩ビ		アルミパーティション、手洗い (撤去)
[事務室	(M)					/*					(軽鉄下地撤去)	2900	(撤去)		ブラインド (A通り~取外し再利用、7通り~撤去)
3	保険相談室		同上	(撤去)	±0 F	同上 (存記	75	同 上 (存置)	同左		同 上	(撤去)	2965	塩ビ		アルミパーティション、手洗い (撤去)
管	体 医 位 数 主											(軽鉄下地撤去)	2000	(撤去)		ブラインド (取外し再利用)
一番	療法士室	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	同上	(撤去) :	±0 [同 上 (存記)	75	同 上 (存置)	同左		同 上	(撤去)	2965	塩ピ	/ /	アルミパーティション (撤去)
🖰 ├	WATE				_		-					(軽鉄下地撤去)		(撤去)	$\vee \vee$	ブラインド (取外し再利用)
	4.4	®	合板t=15の上ピニル床シート t2.0	(存置) -	±0 t	ビニル巾木 (撤去	<u> </u>	モルタル VP (存置)	同 左		GB-D t9.0	(存置)	2965	塩ビ		アルミパーティション (撤去)
2 L	待合		転ばし床組										2303	(存置)		
歯	受付		- ' -	(存置)	±0 F	同上 (撤	<u> </u>	同上 (存置)	同左		同上	(存置)	2965	同上		アルミパーティション (撤去)
科	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	₹	同上				_						2000	PI		
療	歯科診療室	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		(存置) =	±0 [同上 (撤	<u>z)</u> –	同 上 (存置)	同左		同上	(存置)	2965	同上	/ /	アルミパーティション、診療台1台、スタンドボール4本、診療・消毒・作業キャピネット、カルテ配入台 (撤去)
55	四日即从王	+	同上						+						\times	加庁記入台、洗面化粧台、ライニンヴバック、吊戸棚 (撤去) 診療台4台、スタンドボール1本 (移設)
	医局		同上	(存置) :	±0 [同上 (撤	(1)	同 上 (存置)	同左		同上	(存置)	2965	同上	/ /	
 		 	 	(存置)	±0 [同上 (撤	= \	同上 (存置)	同左		同上	(存置)			$K \rightarrow K \rightarrow$	アルミパーティション (移設)
	スタッフルーム		同上	(行旦/	-0 1	四 工 、「」	75		IPI ZE			(行旦)	2965	同上		ブルミハーブインヨン (物数)
 			同上	(存置)	±0 [同上 (撤	=)	同 上 (存置)	同左		同上	(存置)	2025			技工用バキューム(テラス股階)(移駐)
	技工室		同上				/5				., _		2965	同上		January Company
	19 1		同 上	(存置)	±0 [同上 (撤	<u>5</u>) 75	同 上 (存置)	同左		同上	(存置)	2965	= -		作業台、流し、吊戸棚 (撤去)
	ボーセレン室	M	同 上				75						2900	同上		
	パノラマ×線室		合板t=15の上ピニル床シート t2.8	(存置)	±0 [同上 (存記	75	同 上 (存置)	同左		同上	(存置)	2965	同ト		パノラマX線装置、デンタルX線装置 (移設)
	ハノブマス稼至	*	同上										2300	INIT		
	機械室		モルタル	(存置)	±0 =	モルタル (存む	75	トップボード打込み (存置)	同左		トップボード打込み	(存置)	3565	_	/ /	コンプレッサー、診療用パキューム (移設)
		+/-							_		コンクリート					
2	集団指導室	難	畳 t55	(撤去) +	170 1	畳寄せ (撤:	= =	ジュラクサテン (存置)	同左		GB-R t12.0の上ウォールコート吹付け	(撤去)	2825	木製	/ /	障子、暗幕(撤去)
	公口担心工											(軽鉄下地存置)		(存置)	V	

■ 内部仕上表(改修)

全 名	
1	摘要
数別 1	
報告 報告 日本 10 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	
使用。特殊者方形)	ア移設
全域 10 日本 10 日本	、L型手摺
R	
接工室 接	
辞報室 1	00)、既存作業台移設
図 同上 150 同上 75 15 15 15 15 15 15 15	ビネット
器材置場	
物入	
機械室	
全版 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	
全 全 全 全 全 全 全 全 全 全	
会議室 鍵	
スタッフルーム (M) 同上 ±0 同上 75 同上 同左 同上 2965 同上 室名札、アルミパーティシ 京玄室(W) 同上 ±0 同上 ±0 同上 5 同上 □ 左 同上 2965 同上 室名札 2965 同上 空名札 2965 同上 2965 П上 2965 П	
療所 更衣室 (W)	ン(既存移設)
画 大京 (N) 同上 ±0 同上 75 同上 同左 同上 2065 同上 室名札	
「	
M	
物入 一	

□ 防火認定番号 凡例 口 内装制限

● 下地共不燃材
・ 下地共不燃材
・ 不燃材
・ 下地共準不燃材以上
・ 準不燃材以上
・ 難燃材以上

・吹付タイル・・NM-8573
・アクリルリシン・・NM-8571
・ダイノックシート・・・NM-9943
・石膏ボード t 9.5 ・・・NM-8619
・耐水石膏ボード t 9.5 ・・・NM-8828

・化粧石膏ボード t 9.5・・・ 0M-9824
 ・不燃化粧石膏ボード t 9.5・・・ NM-9613
 ・耐水石膏ボード t 12.5・・ NM-9639
 ・化粧石膏ボード t 12.5・ (杉柱)
 ・化粧石膏ボード t 15.5 (杉柱)
 ・ケイカル板・・ NM-9824
 ・ボーディシュ (南面タイプ)・・ NM-9289
 ・ガーティション(片面タイプ)・・ NM-9465
 ・岩綿吹音板・・ NM-8599

参判

 AEP・・・NMI-8585
 並長途幹/不燃材料
 SOP・・・NMI-8586
 並接塗料/不燃材料

 AEP・・・公内 一9816
 塗装塗料/準不燃材料
 SOP・・・Q M -9816
 塗装塗料/準不燃材料

S 銅 FB フラットバー TB テラゾブロック SS ステンレス ALC 軽量気泡コンクリート GB-R 石膏ボード AL アルミ M モルタル LGS 軽量鉄鋼 CB コンクリートブロック GB-S 防水石膏ボード

SOP 合成樹脂調合ペイント塗 AE アクリル樹脂エナメル塗 EP-G つや有合成樹脂エマルションペイント塗 UC ウレタン樹脂ワニス塗 CL クリアラッカー塗 2-UE 2液形ポリウレタンエナメル塗 EP- 成成樹脂エマルションペイント塗 OS オイルステイン塗 FE フクル酸樹脂エナメル塗 2-RUS フクリルシリコン樹脂エナメル EP-M 多彩模様楽料塗 MC 木部保護着色塗料塗 VE 塩化樹脂エナメル塗 2-FUS 常温乾燥形フッ素樹脂エナメル塗 EP-T 合成樹脂エマルション模様塗料塗

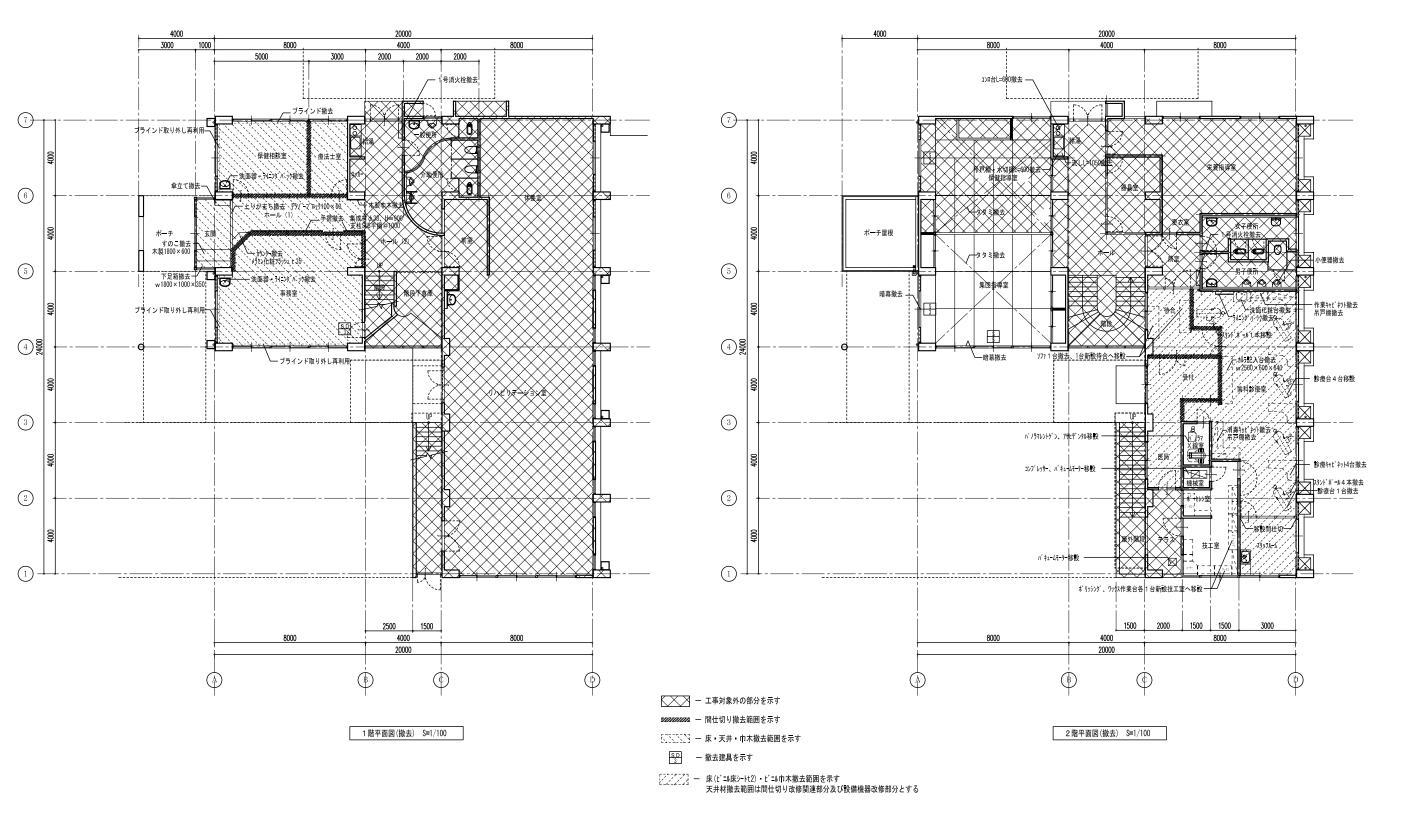


企業組合 一級建築士事務所 **そうと・まち** 設計

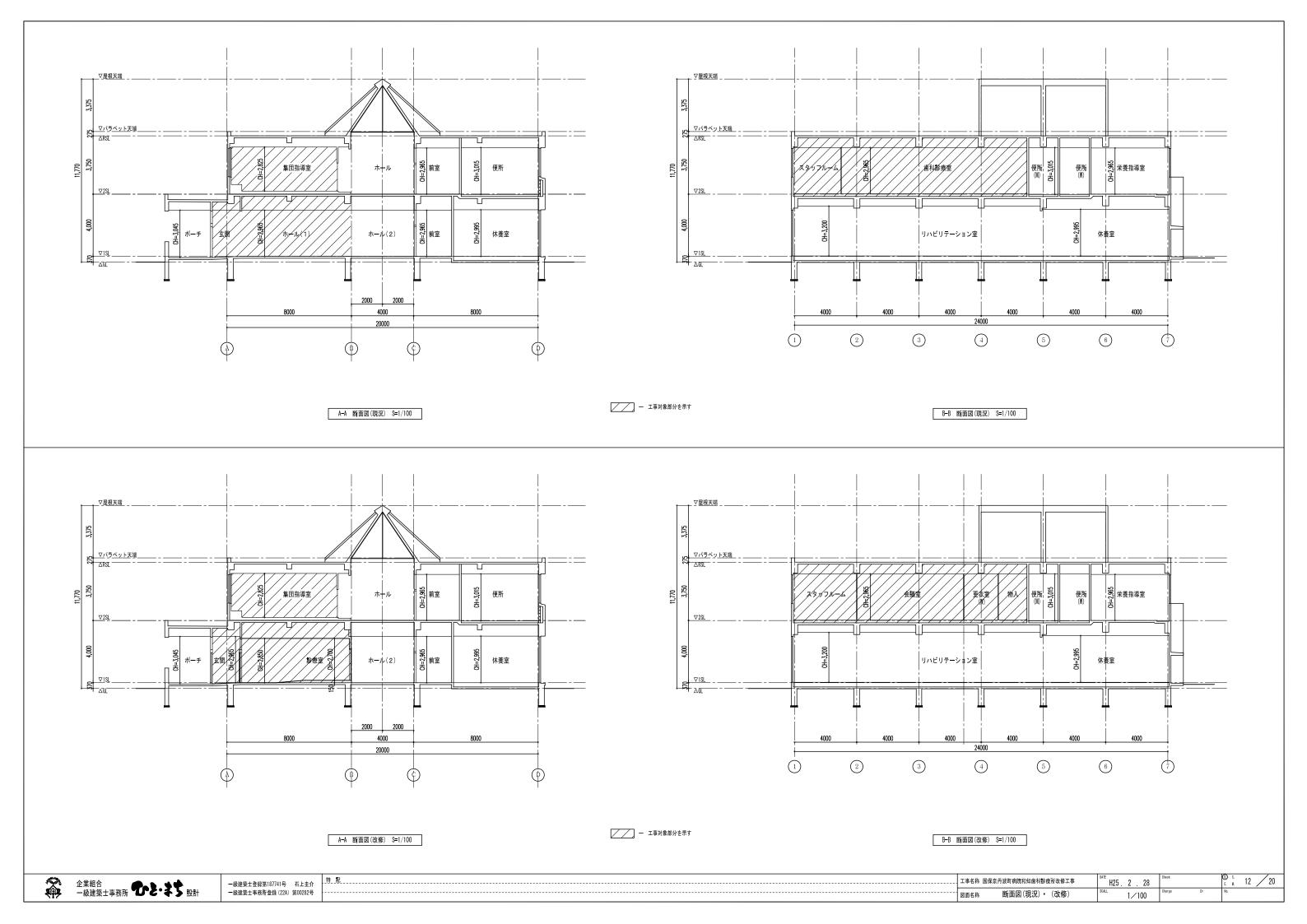
一級建築士登録第187741号 石上圭介 一級建築士事務所登録(22A) 第00282号

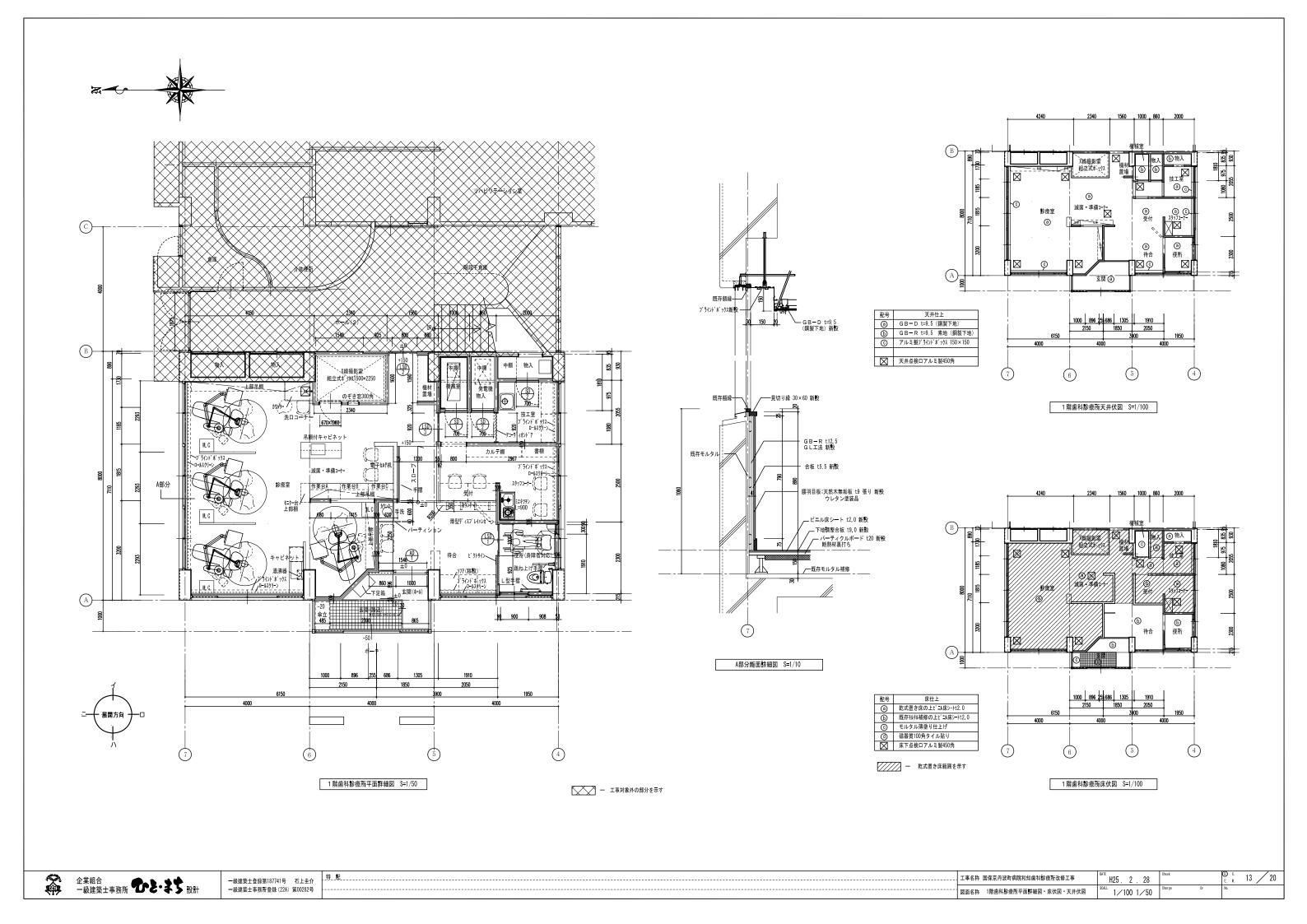
工事名称 国保京丹波町病院和知歯科診療所改修工事 © 1 20 H25 . 2 . 28 図面名称 仕上表(撤去・改修) 1/100

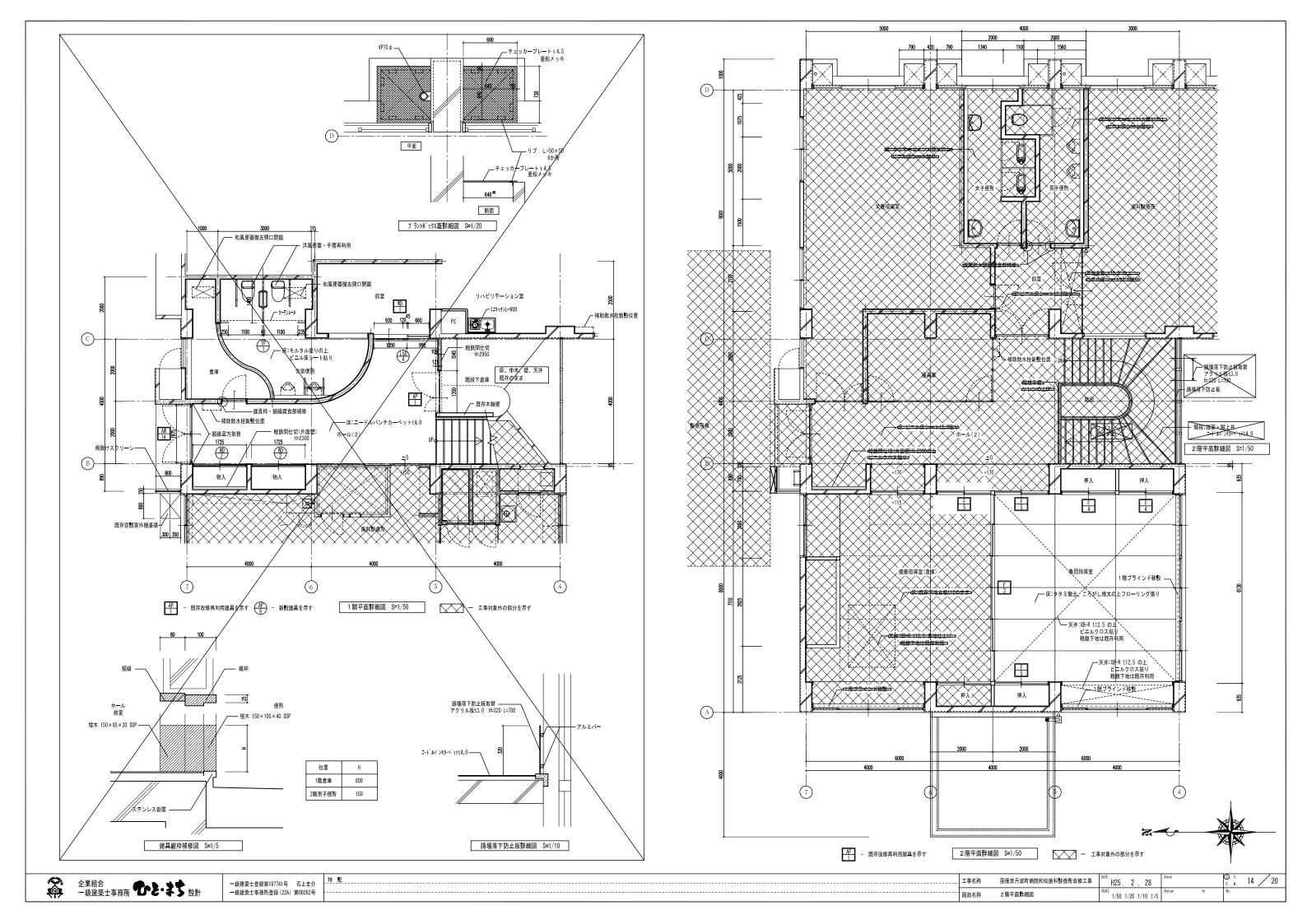






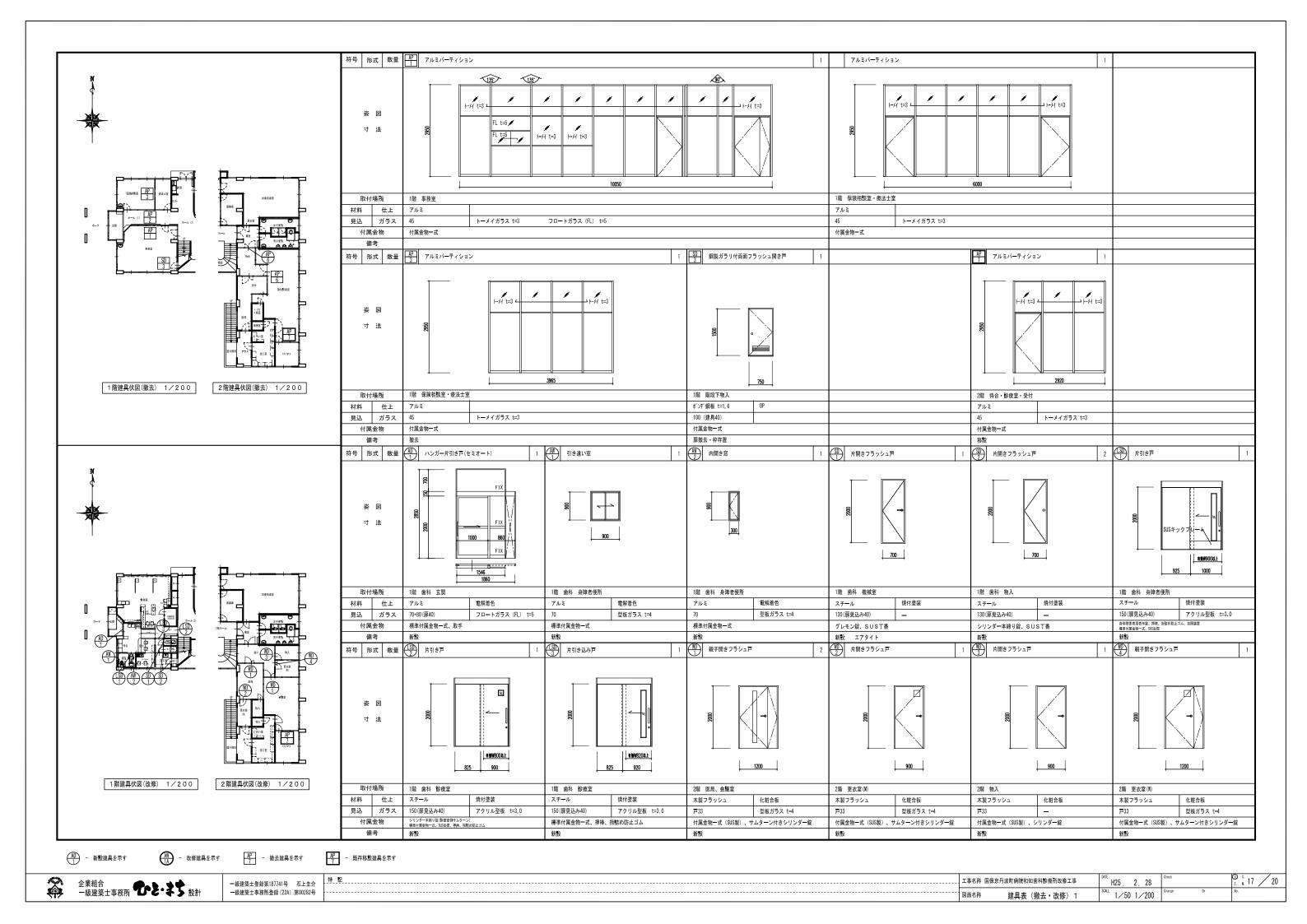


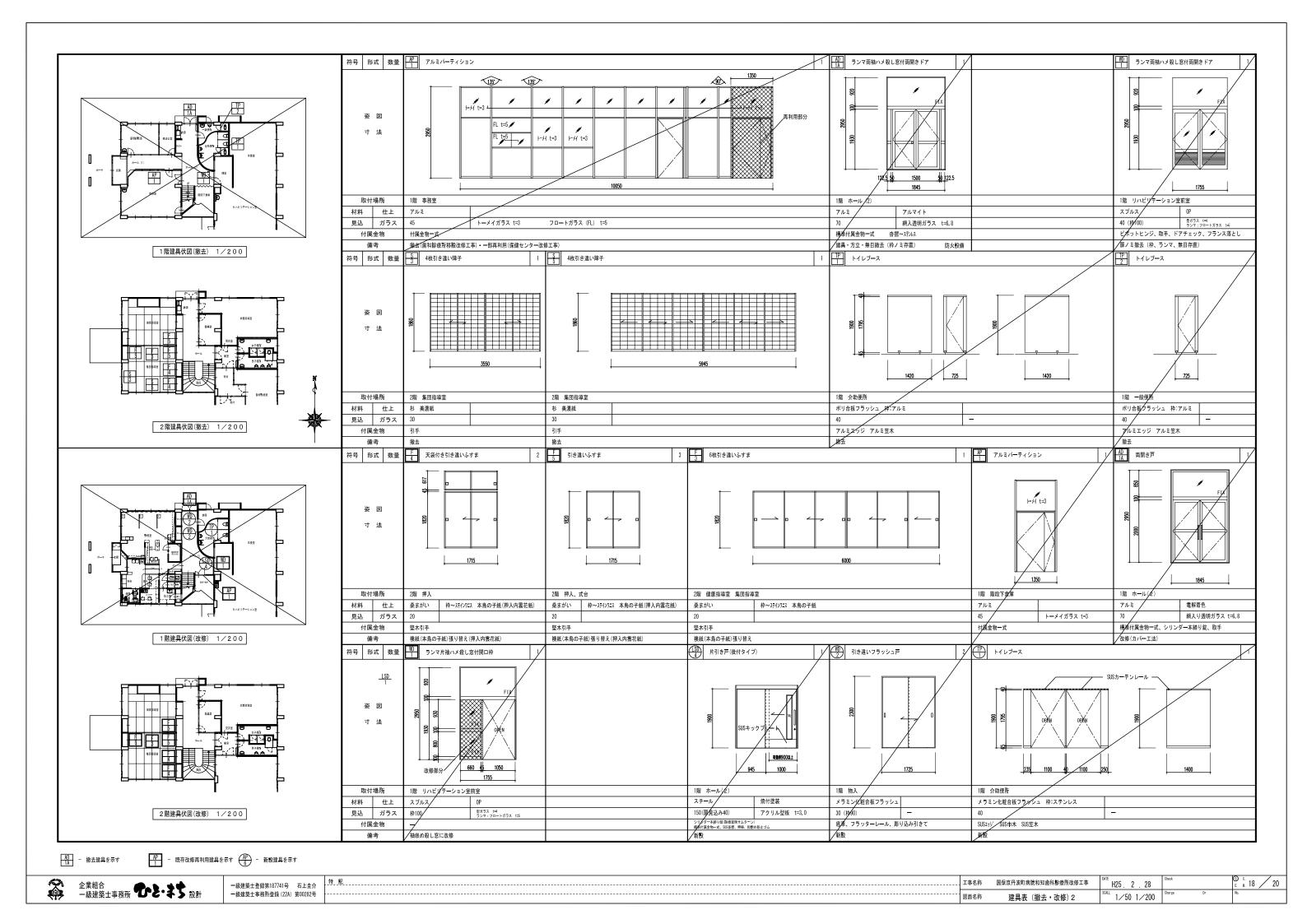


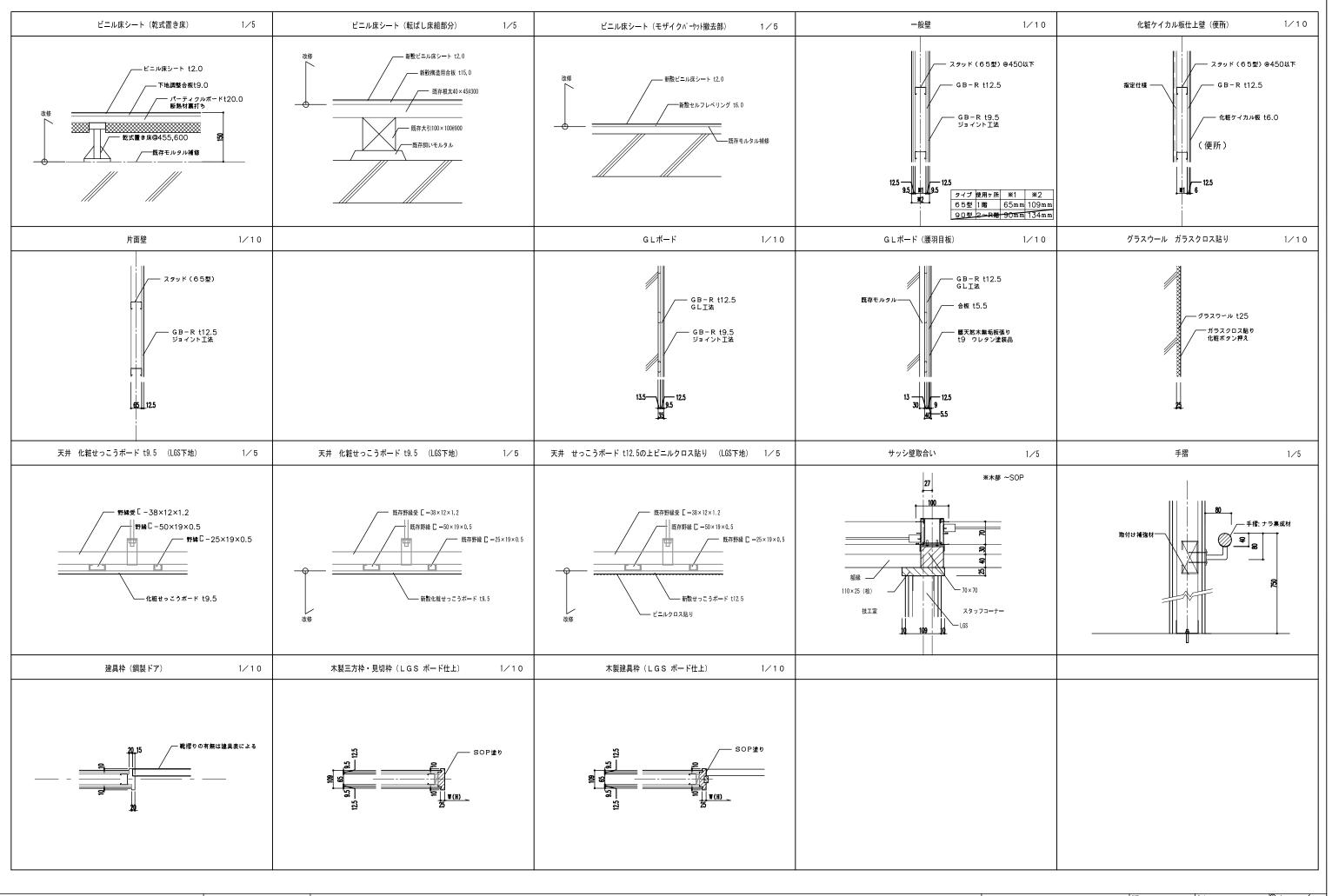








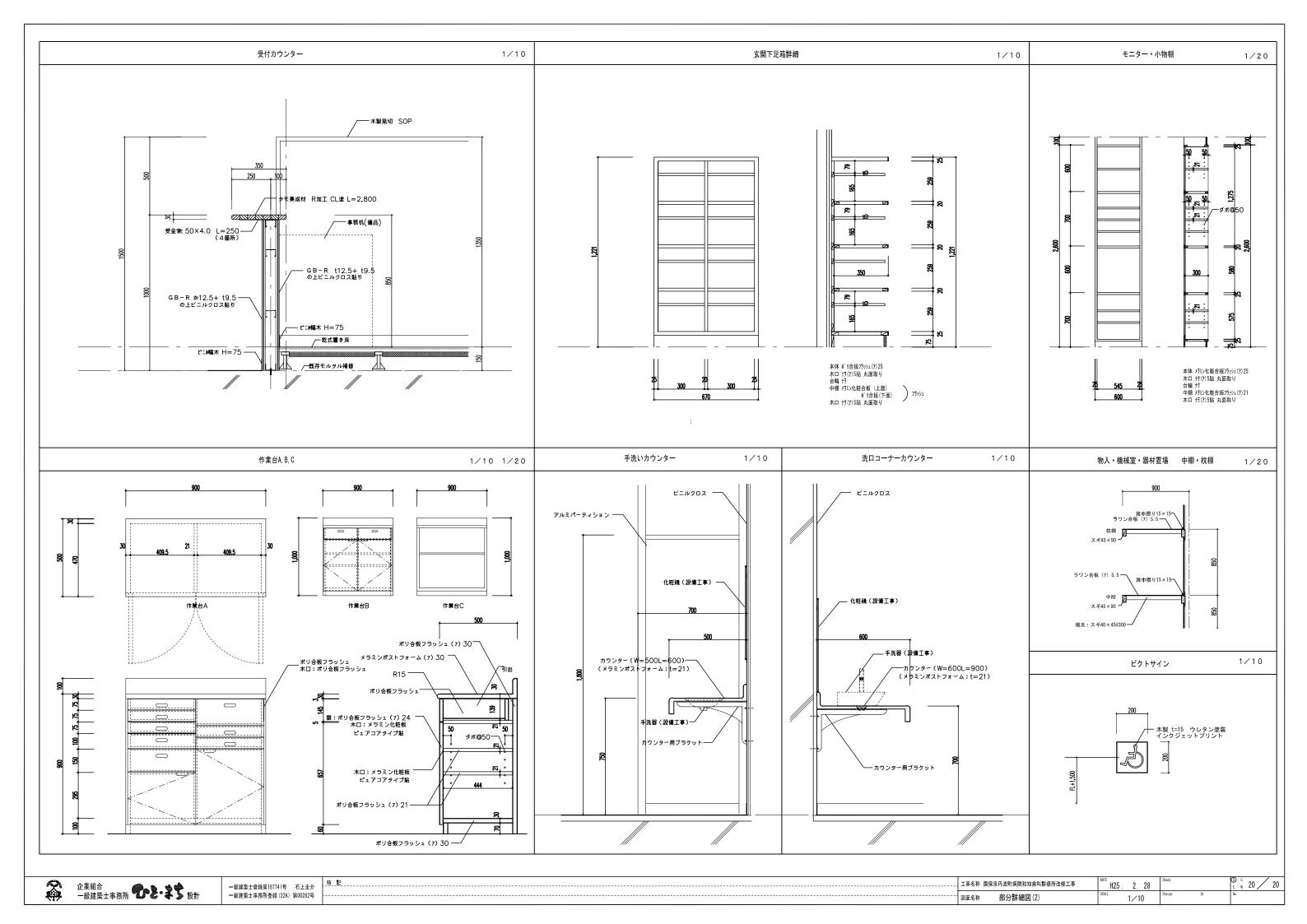




企業組合 一級建築士事務所 **全と・ま** 設計

一級建築士登録第187741号 石上圭介 一級建築士事務所登録(22A)第00282号

工事名称 国保京丹波町病院和知歯科診療所改修工事 E 19 / 20 ¹ H25 . 2 . 28 部分詳細図(1) 図面名称 1/10



電気設備工事特記仕様書 № 1

【工事概要】 1 工事場所 京都府船井郡京丹波町本庄今福13番地

•	エチがバ					_				
2	建物概要		_							
	建物	1名	構	造	階	数	延床面積(m2)	消防法令別表第一	備	考
	歯科診療所	·	鉄筋コン	クリート造	2階		707.64	6項(イ)		
	(歯科診療所	改修部分)					(206.20)			

3	工事科目		●印をついたものを適用し、各一式とする。				
	建物名称						
	工事科目						
	電灯設備	•	0	0			
	動力設備	•	0	0			
	雷保護設備	0	0	0			
	受変電設備	0	0	0			
	電力貯蔵設備	0	0	0			
	発電設備	0	0	0			
	構内情報通信網設備	•	0	0			
	構内交換設備	•	0	0			
	情報表示設備	0	0	0			
	映像・音響設備	0	0	0			
	拡声設備	•	0	0			
	誘導支援設備	0	0	0			
	テレビ共同受信設備	•	0	0			
	監視カメラ設備	0	0	0			
	駐車場管制設備	0	0	0			
	防犯・入退室管理設備	0	0	0			
	自動火災報知設備	•	0	0			
	中央監視制御設備	0	0	0			
	医療関係設備	0	0	0			
		0	0	0			
	構内配電線路	0	0	0			
	構内通信線路	0	0	0			
		0	0	0			
	電波障害調査	0	0	0			
	撇去丁車			0			

- 【特記事項】
 1 一般事項
 1 一般事項
 1)特記仕株書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁管繕部の「公共建築工事標準仕株書(電気設備工事編)平成二十二年版」(以下、「標準仕様書」という。)、「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)平成二十二年版」による。2)工事種目に機械設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。
 2 特記事項
 項目及び特記事項は、●印をついたものを本工事に適用する。ただし、●印のない場合は、※印を適用する。

	項目及び特記事項は、●日	印をついたものを本工事に適.	用する。ただし、	●印のない場合は	、☀印を適用する。	
章	項目	特	記	事	項	
	●設備機材等	本工事に使用する設備機材				
		ただし、これらと同等のも				
		都府庁グリーン調達方針●J				を示す。
		◆京都府ホームページ参照 <h:< th=""><th></th><th></th><th></th><th></th></h:<>				
	●機材の品質・性能証明	使用する機材が、(財)2				
		機材等評価名簿(平成229				
_		1章第4節1.4.2 (b)	の品質及び性能	を有することの証	明となる資料の提出を	省略するこ
		とができる。				
		ただし、標準仕様書に規定			< .	
	●グリーン調達適合品	グリーン調達適合品の証明を		する。		
	の確認	●蛍光灯照明器具 〇 =		0		
	●現場代理人	本工事の施工に当たっては				術者又は監
		理技術者と同様、請負者との				
	○電気工事士	契約電力500kW以上の地				
	●工事用電力・水その他	本工事に必要な工事用電力・				
	●官公署への手続き	官公署等への手続きは速やた			べて請負者の負担とす	る。
	●工事用仮設物	構内につくることが ☀でき				
	●足場・さん橋類	別契約の関係者・請負者が足			•	
般	●監督職員事務所			工事 〇別途)		
	●監督職員事務所に	下記の図書を監督職員事務所				
	備え付ける図書	·公共建築工事標準仕様1	15 (電気設備工事			備工事編)
		・電気設備工事監理指針			事施工チェックシート	
		· 建築設備耐震設計施工技			り方(改訂2版) ―建	築設備編一
		·公共建築改修工事標準f				
	●建設副産物の処理及び	○建設副産物の処理	〇引き渡しを要			1
	建設発生土の処理	右記のほか、	〇再生資源利用			1
		現場説明書による。	〇特別管理産業			
					ガス使用機器 〇	
		〇建設発生土処分	〇構外指定地に		財)城陽山城砂利採取	地整備公社
		右記のほか、 現場説明書による。	+ # + IL = IB - V	0		
事		ス 物 訓 引 目 に る も 。	●構内指示場所			
		a TE II. MENERAL ED IO 14	〇構外搬出適切		5 dr. 6 tr. 5 to 3 to 4	Ve ve du m
		〇再生資源利用促進			多少に係わらず、再生	
		計画書等の作成・提出			地方連絡協議会)につ	
					、実績については再生	真凉利用
		1)「建設発生土処理計画書	促進施書として		勝号に担山ナス	
		1) 建設先生工処理計画音 2)関係法令等に従い、適正				Ar ador Afron John Jah
		報告書」により監督職員に		垤し、「姪畝先工」	_処理計画者」及び「例	E米彻处理
		秋口音」により薫画戦員に				
				キー坐たり あら	かじめ事前の施工調査	たかの事項
					からめ事刊の加工調査 し監督職員に提出する	
_			└1〕 J。 嗣且和未 └スト成形板使用		し血目戦員に使山する	•
項				即址の確認 別、厚さ等の確認		
			ヽヘト成形板の櫂 ヾスト成形板使用			
			ヽヘト以が収定用 前囲等の確認	双星が唯能		
				認 OX線解析法		
		□ 10至26年2日 東以179年	火い表点十年の唯	ac		
		│ │ 処理方法 ※非飛講	か 仕 ア マ ベ マ ト 咳	春物の取扱いに贈	する技術指針」に従い	おらかじめ
				乗物の取扱いに関 適切に解体処分等		めらかしめ
		1 W174 E	コピロ音をTF双し、	週ット所件処分寺	とコレノーに。	

項 目 ●工事関係書類			記事 ● ● 一覧表により提出。	· /*	-15	
●履行報告	月報 ※2部 ○3		/www.pref.kyoto.jp/eizer 末に〆め、翌月の5日までに		11>	
●工事写真			修「工事写真の撮り方(改訂2		設備編-」に。	よる。
	2)工事完成時、					
	3) デジタルカメ ³ 名 称	フで撮影りとう	<u>する。</u> 内 容		大きさ	部
●完成図書	●完成図	金文字製本			A 4版	1
	●完成図	〇背貼り製				1
	●施工図	○背貼り製機器製作図		・ <u>イル止め</u> ファイル止め	A 4版	1 1
	●機器完成図等		・ 内書(機器取説書を含む)	アイル正め	/ 4 MX	1
			験成績書・保証書・施工の記	以験成績書		
	●諸官庁提出書類	副本				1
	●原図 ●完成写真	完成図・施				1 1
	電子納品については					
●著作権等			施工図等の著作権に係わる当	該建物に限る	使用権は、多	発注者に
●分房口及女子供口	委譲するものとする		- L 7			
●付属品及び予備品 ●耐震施工	標準仕様書による(1)設備機器の問		〜よる。 通省国土技術政策総合研究所	・独立行政法	5人建築研究	f 監修の
	「建築設備耐震	設計・施工指針	計2005年版」による。		., ., ., ., ., ., ., ., ., ., ., ., ., .	
	2)下記の設計用7	水平震度(KI	H)により、機器製作固定を		- 40 - 14-50	
	設置	場所	<u>○特定の施設</u> 重要機器 一般機器	重要機	●一般の施設 1992 – 190	機器
	上層階、屋上及	ひび塔屋	2.0 (2.0) 1.5 (2.0			(1.5)
	中間	階	1.5 (1.5) 1.0 (1.5	5) 1.0 (1	1.5) 0.6	(1.0)
	1 階 及 び	地下階	1.0 (1.0) 0.6 (1.0)) 0.6 (1	1.0) 0.4	(0.6)
	設置	場所	○特定の施設		つ一般の施設	
			水槽		<u>水 槽</u> 15	
	上層階、屋上及中間	<u>なひ拾屋</u> 階	2.0 1.5		1.5 1.0	
		地下階	1.5		1.0	
	注1 ()内(の数値は、防御	- 震支持の機器の場合に適用す	<u>る。</u>		
			用水平震度の1/2とする。			
			以下の場合は最上階、7~9			
	注4 重要機器(7		下記による。(水槽類にはオ 流電源装置 〇自家発電		岸を含む。))交換機	
	○電算用電		ル電が表置 OUPS装		〉又 表 极) 自動火災報知]装置
●風圧力に対する性能			風速及び地表面粗度区分			
			4) 地表面粗度区分(〇			≠ RF der tel
〇風圧力(耐風力) 			定めるところによる風圧力(草)範囲には、それぞれの取			
	○受雷部システム			刊配分を占め 陽光発電装置		
- m. (0 #T	0テレビ共同受信	ム及び引下げる 信用アンテナ <i>】</i>	夢線システム ○太 及びアンテナマスト ○			
●電線類	Oテレビ共同受信 1)特記なきもの(ム及び引下げる <u>信用アンテナ<i>]</i></u> は、EM-II	夢線システム ○太 及びアンテナマスト ○ Eとする。	陽光発電装置	【 ○風力多	笔電装置
●電線類	Oテレビ共同受信 1)特記なきもの(2)EM電線、EM	ム及び引下げる <u>信用アンテナ】</u> は、EM-IE Mケーブルでタ	夢線システム ○太 及びアンテナマスト ○	陽光発電装置	【 ○風力多	笔電装置
●電線類	Oテレビ共同受信 1)特記なきもの(2) EM電線、EM構成されたもの	ム及び引下げる 信用アンテナ】 は、EM-II Mケーブルで見 のとし、次の言	算線システム ○太 及びアンテナマスト ○ E とする。 現格等の記載のないものは、 記号及び仕様による。	陽光発電装置 ハロゲン及び	配 ○風力系列 ・	発電装置 、材料で
●電線類	Oテレビ共同受信 1)特記なきもの(2)EM電線、EM	ム及び引下げる 信用アンテナ】 は、EM-II Mケーブルで見 のとし、次の言	算線システム ○太 及びアンテナマスト ○ とする。 観格等の記載のないものは、 記号及び仕様による。 JCS4258(制御用ケ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	陽光発電装置 ハロゲン 及 ひ ープル (遮 ^ 規格による E	【 ○風力系 「鉛を含まない へい付))に2	発電装置 ・材料で 単じ、
●電線類	○テレビ共同受任 1)特記なきもの(2)E M電線、E M 構成されたもの EM - CEE - S	ム及び引下げる <u>信用アンテナ】</u> は、EM-IE Mケーブルです のとし、次の S	算線システム 及びアンテナマスト ○ ことする。 現格等の記載のないものは、 記号及び仕様による。 JCS4258(制御用ケ を縁材及びシースにJCS 性ポリエチレンを用いたも	陽光発電装置 ハロゲン 一ブル(遮へ 規格による E	M O風力系 が鉛を含まない い付))に2 Mケーブルの	・材料で 単じ、 単し、燃
●電線類	Oテレビ共同受信 1)特記なきもの(2) EM電線、EM構成されたもの	ム及び引下げる <u>信用アンテナ】</u> は、EM-IE Mケーブルです のとし、次の S	算線システム 及びアンテナマスト ○ ことする。 現格等の記載のないものは、 記号及び仕様による。	陽光発電装置 ハロゲン (遮へ見格による) アクセスフロアクセスフロ	M O風力系 が鉛を含まない いい付う)に IMケーブルの 1ア用耐燃性オ	・材料で 単耐燃 ・リエ
●電線類	○テレビ共同受任 1)特記なきもの(2)E M電線、E M 構成されたもの EM - CEE - S	ム及び引下げる <u>信用アンテナ】</u> は、EM-IE Mケーブルです のとし、次の S	算線システム 及びアンテナマスト ○ ことする。 現格等の記載のないものは、 記号及び仕様による。 JCS4258(制御用ケ を縁材及びシースにJCS 性ポリエチレンを用いたも	陽光発電装置 ハロゲン (基本) マングラ (本本) マングラ (本	○風力系 「公配力系 「公配を含まない 「い付))に 「Mケーブルの 「フ押耐燃性オ 「アクセスフロー 「アクセスフロー 「アクセスフロー 「アクセスフロー 」 「アクセスフロー 「アクセスフロー 」 「アクセスフロー 「アクセスフロー 」 「アクロー 」	着電装置 マイン 単一 マイン
●電線類	○テレビ共同受任 1)特記なきもの(2)E M電線、E M 構成されたもの EM - CEE - S	ム及び引下げる <u>信用アンテナ】</u> は、EM-IE Mケーブルです のとし、次の S	算線システム 及びアンテナマスト ○ 見とする。 現格等の記載のないものは、記 記号及び仕様による。 JCS 4258 (制御用ケー 性様ポリエリンを用いたも はポリエラレンシースンを縁 はポリエラレンとが ボリエテレン)とがは ドルリエテレンとが には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	陽光発電報 ハー規格のアよリア (よ スロレスフロンシロスタース・フロンシロスタース・フロンシロース・フロンシロース・フロンシロース・フロンシロース・フロンシロース・フロン・フロース・フロン・ファイス・フロン・ファイス・ファイス・ファイス・ファイス・ファイス・ファイス・ファイス・ファイス	の風力 が鉛を含まない い付っプルの ロア用耐燃性オー ロア用を大力 ロア用を構成して ロア用を構成して ロア用を構成して ロア用を構成して ロア用を構成して ロア用を構成して ロア用を構成して ロア用を関係する。	着 対 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
●電線類	○テレビ共同受任 1)特記なきもの(2)E M電線、E M 構成されたもの EM - CEE - S	ム及び引下げる <u>信用アンテナ】</u> は、EM-IE Mケーブルです のとし、次の S	算線システム 及びアンテナマスト ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	陽光発電報 ハー規格のアよリア (よ スロレスフロンシロスタース・フロンシロスタース・フロンシロース・フロンシロース・フロンシロース・フロンシロース・フロンシロース・フロン・フロース・フロン・ファイス・フロン・ファイス・ファイス・ファイス・ファイス・ファイス・ファイス・ファイス・ファイス	の風力 が鉛を含まない い付っプルの ロア用耐燃性オー ロア用を大力 ロア用を構成して ロア用を構成して ロア用を構成して ロア用を構成して ロア用を構成して ロア用を構成して ロア用を構成して ロア用を関係する。	着 対 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
●電線類	○テレビ共同受任 1)特記なきもの(2)E M電線、E M 構成されたもの EM - CEE - S	ム及び引下げる <u>信用アンテナ】</u> は、EM-IE Mケーブルです のとし、次の S	算線システム 及びアンテナマスト ○ 思くする。 現格等の記載のよる。 J ○ 8 4 2 5 8 4 7 8 9 1 9 1 0 5 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1	陽光発電装置 7 一規の 7 がに スロンフルスス 変る フロンファーションファー	M ○風力を含まない付))にでいて、	着電 材 じ
●電線類	Oテレビ共同受(1)特記なきもの(2) E M 電線、E I 構成されたもの E M - C E E - S E M - アクセス:	ム及び引下げる <u>信用アンテナ】</u> は、EM-IE Mケーブルです のとし、次の S	算線システム 及びアンテナマスト ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	陽光発電 表 で 一規のアよりアン は スロシフケー が なるエクセー び なるエクセー び が で ションフケー・ション・ジャー・ジャー・ジャー・ジャー・ジャー・ジャー・ジャー・ジャー・ジャー・ジャー	配の風力を含まないがから、Mケーブルの1ア用耐燃性ができます。 コア用耐燃性ができます。 コア用耐燃性ができます。 コア用耐燃性ができます。 コアルの名が、コアルの名が、コアルの名が、コロのの。コロの名が、コロの名が、コロの名が、コロのる。コロのるこの。コロのるこの。コロのの。コロのるこの。コロのの。コロのの。コロのの。コロのの。コロのの。コロのの。コロのの。コロ	発電 対 は 対 は が は が は が は が は が は が は が に が に が に が に に に に に に に に に に に に に
●電線類	Oテレビ共同受(1) 特記なきもの(2) E M電線、E1 構成されたもの E M - C E E - S E M - アクセス:	ム及び引下げば には、EM ーアンテナ】 は、EM ーで・ファン・ロック のとし、次の。 S	算線システム 及びアンテナマスト ○ 現格等の記載のないものは、 記号及び仕様による。 JC 4 2 5 8 - スストートートートートートートートートートートートートートートートートートート	陽 光発 電 表 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	MONTO MATERIAL MATE	発電 材 じ材 リア(エC) 格 財 以
●電線類	Oテレビ共同受(1) 特記なきもの(2) E M電線、E1 構成されたもの E M - C E E - S E M - アクセス:	ム及び引下げば には、EM ーアンテナ】 は、EM ーで・ファン・ロック のとし、次の。 フロア	算線システム 及びアンテナマスト ○ 見を等の記載のないものは、 記号及び仕様による。 JC \$4258-ススト ○ 性様ポリエレを用のロット 大リエーシーのでは、 カース・シースを用のロット ボリエーを用のロット ボリエーを開始のロット ボリエーを開始のロット といった。 カースンを経動のロット ボリエーを開始のロット といった。 カースンをはいます。 カースンををはいます。 カースンををはいます。 カースンををはいます。 カースンををはいます。 カースンををはいます。 カースンををはいます。 カースンををはいます。 カースンををはいます。 カースンををはいます。 カースンをはいます。 カースとのはいまする。 カースとのはいます。 カースとのはいまする。 カースとのはいまなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	陽 光発 電 表 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	MONTO MATERIAL MATE	発電 材 じ材 リア(エC) 格 財 以
	Oテレビ共同受(1)特記なきもの(2) EM電線、EI 構成されたもの EM-CEE-S EM-アクセス:	ム及取引下げ (電は、EM - アンテナ) (電は、EM - マップン (M かくし、 アップン (でして、 アップン (でして) でし、) (で	算線システム 及びアンテナマスト ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	陽光発・電子 できます できます かいしょう できます ひいっと スロシスス びき はまる フロシスス びき 線等 ひがった ひがり 変数 はっと ロマショケーシン はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと ローマンフケーシン はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと はいっと はいい はい	MONTO MATERIAL MATE	発電 材 じ材 リア(エC) 格 財 以
●電線類	Oテレビ共同受(1)特記なきもの(2) EM電線、EI 構成されたもの EM-CEE-S EM-アクセス:	ム及アファナガ は、モM ー ででで は、ケーブル次ので の通線を行わり ※PF管	算線システム ○	陽光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 で ま ま ま ま	M O 風力 5 (き電 材 じ献 JP (コンリー 見) ・ TP (エC 格)
	Oテレビ共同受(1)特記なきもの(2) EM電線、EI 構成されたもの EM-CEE-S EM-アクセス:	ム及び引下げ 信用アンテナ】 は、EMアンテナ はMケと フロア の通線を行わり	算線システム 及びアンテナマスト ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	陽光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 光 で ま ま ま ま	M O 風力 5 (き電 材 じ献 JP (コンリー 見) ・ TP (エC 格)
	Oテレビ共同受(1) 特記なをもの(2) EM電線、EI 構成されたもの EM - CEE - S EM - T クセス: EM - MEES 3) 長さ1 m以上の	ム及用ファナー (aは、アンテナー) (aは、アンテナー) (aは、アンテナー) (aは、アンテー) (b) (aは、アンテー) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c)	算線システム ○	陽 ハー規のアよりアン 縁ボ 被 管力 ハース ひとます でいまる フロシフケ シレ 対り 環 さまま ひ 遮る フロシフケ シレ 対り 環 さではますでは、 スロレスス ぴチ 線 するではますでは、 スロレスス ぴチ 線 するではますが、 (*)	M O 風力 5 (着電 大 を で が を が に は に に に に に に に に に に に に に
	Oテレビ共同受(1) 特記なをもの(2) EM電線、EI 構成されたもの EM - CEE - S EM - T クセス: EM - MEES 3) 長さ1 m以上の	ム <u>及用ファナナ</u> (宝用、EMプレテナナ (宝用、EMプレテーでの) (まMかと) (ロアアーでの) (ロア) (ロアーで) (ロア) (ロア) (ロア) (ロア) (ロア) (ロア) (ロア) (ロア	算線システナマスト ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	陽 ハー規のアよりアン 縁ボ 被 管力 ハース ひとます でいまる フロシフケ シレ 対り 環 さまま ひ 遮る フロシフケ シレ 対り 環 さではますでは、 スロレスス ぴチ 線 するではますでは、 スロレスス ぴチ 線 するではますが、 (*)	M O 風力 5 (着電 大 を で が を が に が に の の の の の の の の の の の の の
	Oテレビ共同受化 1)特別な意味に対する。 2)医州一〇日日 - 5 EM - CEE - 5 EM - MEES 3)長さ1m以上の 電線管	ム (事線システム ○	陽光 発 電 表 表 で で で で で で で で で で で で で で で で で	M O 風力 が S を S い 付 つ) ブ が S を S い 付 か つ ブ が M ケ フ ア 用 が ス ブ ボ M ・ フ ア ア ス ア 雅 区 O い た も の に プ い 、 マ 下 用 か 、 マ で 更 が 、 ・ で 更 が ま で に 使 用 す る る 。 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	名 を を を を を を を を を を を を を
	Oテレビ共同受(1) 特記な線、巨	ム <u>日</u> に かい いっぱ で いっぱ で いっぱ で いっぱ で かい で か	算線システナマスト ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	陽 ハー規のアよリアン 緑ボ 被 管ク の 及配管を ひ べと スロレスス ぴチ 線 する で 場 P行は まる ぴ で で かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい	■ ○風力 「	管電数料ではかりはかりはかりはかりはかりはかりはかりはかりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなり<
		ム信はアンテード はM かと はM かと フロアア を 管 に p は p に p は p を p を p を p を p を p を p を p を p を	事線システナストーストーストーストーストーストーストーストーストーストーストーストーストース	陽 ハー規のアよリアン 緑ボ 被 管ク の 及配管を ひ べと スロレスス ぴチ 線 する で 場 P行は まる ぴ で で かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい	■ ○風力 「	管電数料ではかりはかりはかりはかりはかりはかりはかりはかりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなり<
		ム信はMの S フ の	事線システナム O本	陽 ハー規のアよリアン 緑ボ 被 管ク の 及配管を ひ べと スロレスス ぴチ 線 する で 場 P行は まる ぴ で で かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい	■ ○風力 「	管電数料ではかりはかりはかりはかりはかりはかりはかりはかりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなり<
		ム信はMの S フ の	事線システナストーストーストーストーストーストーストーストーストーストーストーストーストース	陽 ハー規のアよリアン 緑ボ 被 管ク の 及配管を ひ べと スロレスス ぴチ 線 する で 場 P行は まる ぴ で で かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい	■ ○風力 「	管電数料ではかりはかりはかりはかりはかりはかりはかりはかりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなりはなり<
		ム信はMの S フ の * O 1 を出 端版 P に J 下 の で	事像なアント ○ ○ 本 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	陽 ハー規のアよリアン 緑ボ 被 管ク の 及配防 パー はん クロー・マンフケー 及工 線 する で 場 P 行場 で りょう こく で いくりロー・シレ 等 。 () 所 に 2 で の で の で で が で に の と で が で に の と で が で に の と で が で に の と で が で に の と で が で に の と で が で に の と で で が で に の と で で い で に の と で が で に の と で が で に の と で が で に の と で で で で で で で で で で で で で で で で で で	Manual	着電材 UM UNIVITY OF UNIVE OF UNIVITY OF UNIVITY OF UNIVITY OF UNIVITY OF UNIVITY OF UNIV
●電線を		ム信はMのS フロール次 の通 P に雨はス当上則管 子すいた。 を出 変更のなから、 フロール次 の通 P に雨はス当上則管 子すいた。 を出 変更のと、 を出 できた。 を出 できた。 ときた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できたた。 できたた。 できた。 できた。 できたた。 できた。 できた。 できたた。 できたた。 で。 できた。 できたた。 できた。 できた。 できたた。 できた。 できた。 できたた。 できたた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できたた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 で。 で。 できた。 と。 できた。 と。 で。 と。 と。 と。 で。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と	事線システナム Q	陽 ハー規のアよリアン 緑ボ 被 管ク の 及配防 パー はん クロー・マンフケー 及工 線 する で 場 P 行場 で りょう こく で いくりロー・シレ 等 。 () 所 に 2 で の で の で で が で に の と で が で に の と で が で に の と で が で に の と で が で に の と で が で に の と で が で に の と で で が で に の と で で い で に の と で が で に の と で が で に の と で が で に の と で で で で で で で で で で で で で で で で で で	Manual	着電材 UM UNIVITY OF UNIVE OF UNIVITY OF UNIVITY OF UNIVITY OF UNIVITY OF UNIVITY OF UNIV
●電線を ●電線本数、管路等 ●ボックス		ム信は M かと	事線なアンテナステナステナステナステナステナステナステナステナステナステナステナステナステ	陽 ハー規のアよリアン 緑ボ 被 管ク の 及配防 太 パー	Manual	着電 材 じ耐 リコンJ C R R P は 1) る の まま 整 監 監 を T は T の の と は 3 1 と な T で 歌 で T の の と T の の と T の の で T の の で T の の で T の の で T の の で T の の で T の の で T の の で T の の で T の の で T の の の の
●電線を		ム信はMの S フ の * O1 2 を出 強要の終れていた。 P なり B に関する は 要うの B に の B	事像なアントへの大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大	陽 ハ 一規のアよリアン 緑ボ 被 管ク の 及配防 太 1 本 2 の で 2 を配防 大 1 本 2 の で 2 を配防 大 1 本 2 の で 3 を配防 大 1 本 3 の で 3 を配防 大 1 本 3 の で 3 を配防 大 1 本 3 の で 3 を 4 本 4 か 2 を 3 を 4 本 4 か 2 を 3 を 4 本 4 か 2 を 3 を 4 本 4 か 2 を 4 か 2 を 4 本 4 か 2 を		着電材 Univirol IC IX O N 車 M IV
●電線を ●電線本数、管路等 ●ボックス	マテレビ共与をのに 2) 特別の は 2) と 3) 特別の ない に 5 に 5 に 5 に 5 に 5 に 5 に 5 に 5 に 5 に	ム信はMの S フ の * O1 2 を出 強要の終れていた。 P なり B に関する は 要うの B に の B	算線システナト ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	陽 ハ 一規のアよりアン 縁术 被 管ク の 及配防 太 本を電 ン (よ スロレスス ぴチ 線 すま あ び管水の さ 「ち本れり で は スロレスス ぴチ 線 する る (予行場 電 「ち本れ) () に てんかん は 個以上 () に なん () に しくシロー ーン)) () に てんかん () は () に しんかん () は () に ()		着電 材 じ耐 リコンJ C R R P は 1) る の まま 整 監 監 を T は T の の と は 3 1 と な T で 歌 で T の の と T の の と T の の で T の の で T の の で T の の で T の の で T の の で T の の で T の の で T の の で T の の で T の の の の
●電線本数、管路等●ボックス○予備配管●フラッシュブレート	○テレビ共きのの 1) 特別のない。 1) 構一 C E E - S E M - C E E M - C E E M - C E E M - C E E M - C E M -	ム信はMのSフワの * O1 2 を出 変易配る・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	享収 マスト ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	陽 ハー規のアよリアン 緑ボ 被 管ク の 及配防 太 1・左スス が、	Manual Andrews Andre	着電 材 じ耐 リコンJ C R R P は 1) る の まま 整 監 監 を T は T の の と は 3 1 と な T で 歌 で T の の と T の の と T の の で T の の で T の の で T の の で T の の で T の の で T の の で T の の で T の の で T の の で T の の の の
●電線●電線本数、管路等●ボックス○予備配管●フラッシュブレート●フロアブレート	マテレビ女生の (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	ム信はMの S フ の W O1 2 を出 変易配合。 解射 S で S で S で S で S で S で S で S で S で S		陽 ハー規のアよリアン 緑ボ 被 管ク の 及配防 太 1・左スス が、	Manual Andrews Andre	着電 材 じ耐 リコンJ C R R P は 1 が B R R R R R R R R R R R R R R R R R R
●電線を ●電線本数、管路等 ●ボックス ○予備配管 ●フラッシュブレート ・ベース		ム信はMの CS フロ ・	事線システナストン・ファナマスト O	陽 ハー規のアよりアン 緑ボ 被 管ク の 及配防 太 1・ススく) がに ケるこチセー 及工 銀 すす る び管の で 1 ケーレンフケ シレ 等 。は P 行場 電 個以ススプリーシン の 下 1 かった 1 ケーンン り の 下 1 かった は 個以 2 をの の の の の の の の の の の の の の の の の の	M の	着電 材 じ耐 リコンJ C R R P は 1 が B R R R R R R R R R R R R R R R R R R
●電線●電線本数、管路等●ボックス○予備配管●フラッシュブレート●フロアブレート	○ テレビな を	ム信はMの S フ の * O1 2 を出 変易配る**O空ル監を動びアモーし ア 様 F じ雨はス当上則管 子すは用ケ脂脂肪合の機びアモール ア を 管 な様、ラを階とは 盤る、遮一製製法を動けるの機が上しての。	事線シアンテナト ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	陽 ハー規のアよりアン 緑ボ 被 管ク の 及配防 太 1・ススく 約光発 ウ (よ スロレスス びチ 線 るで 場 P行場 電 (日本)シレナ と 法装 及 遮る フロンフケ シレ 等 。(4) 所 (アカウ・カリ で の)の で で の)の で で の)の で で の)の で の)	M の	着電材 Univirol IC IX O N 車 M IV
●電線を ●電線本数、管路等 ●ボックス ○予備配管 ●フラッシュブレート ・ベース	○ テレビな を	ム信はMの S フ の ※ O1 2 を出 変易配る※○空収配電アンダアE一し ア 様 F じ雨はス当上則管 子すは用ケ脂脂の合の機力 以アE一し ア を 管 な線、ラを踏らす途 等三合脈が高の機力 ドテール次 ア を 管 な線、ラを踏らす途 等三合脈が高の機力 と 数線の ア ス	事像なアンストーク ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	陽 ハ 一規のアよリアン 縁术 被 管ク の 及配防 太 本をススく 約・光	Manual Andrews Andre	着電 材 じ耐 リコンJ C R R P は 1 が B R R R R R R R R R R R R R R R R R R
●電線を ●電線本数、管路等 ●ボックス ○予備配管 ●フラッシュブレート ・ベース	○ テレビな を	ム信はMの S フ の * O1 2 を記 端更合線を樹樹を子動シ屋 N T T T T T T T T T T T T T T T T T T	事象なアステナト	陽 ハ 一規のアよリアン 緑ボ 被 管ク の 及配防 太 本をフラン 寸の電 ン (よ スロレスス びチ 線 すす る び管水 で 「5本ンレす と SU 女 と の で 「 1 から で 「 2 から で 1 から で 2 から で 「 2 から で 「 2 から で 1 から で 1 から で 「 2 から で 1 から で 2 から で 1 から 1 から		着電 材 じ耐 リコンJ C R R P は 1 が B R R R R R R R R R R R R R R R R R R
●電線を ●電線本数、管路等 ●ボックス ○予備配管 ●フラッシュブレート ・ベース	○ テレビな を	ム信はMの S フ の ※ O1 2 を出 変易配る※○空収配電アンダアE一し ア 様 F じ雨はス当上則管 子すは用ケ脂脂の合の機力 以アE一し ア を 管 な線、ラを踏らす途 等三合脈が高の機力 ドテール次 ア を 管 な線、ラを踏らす途 等三合脈が高の機力 と 数線の ア ス	事像なアンストーク ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	陽 ハ 一規のアよリアン 緑ボ 被 管ク の 及配防 太 本をフラン 寸の電 ン (よ スロレスス びチ 線 すす る び管水 で 「5本ンレす と SU 女 と の で 「 1 から で 「 2 から で 1 から で 2 から で 「 2 から で 「 2 から で 1 から で 1 から で 「 2 から で 1 から で 2 から で 1 から 1 から	Manual Andrews Andre	着電 材 じ耐 リコンJ C R R P は 1 が B R R R R R R R R R R R R R R R R R R
●電線本数、管路等 ●ボックス ○予備配管 ●フラッシュブレート ●フラッシュブレート ●機器	○	ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	事像なアントース	陽 ハ 一規のアよリアン 緑ボ 被 管ク の 及配防 太 1・ススく 約。 外光 ひ がに セ6チセー 及工 鉄 すま る び管水 さ 、 本 1・ススく 約。 の と ロ Vシロー ・シレ 等 。 は 所 Fわ合 線 個以ススる す じ は の (と スロレスス びチ 線 るで 場 P行場 電 (の	Manual Andrews Andre	着電 材 じ耐 リコンJ C R R P は 1 が B R R R R R R R R R R R R R R R R R R
●電線を ●電線本数、管路等 ●ボックス ○予備配管 ●フラッシュブレート ・ベース	○	A 信はMの (S フ の	事像なアスト ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	陽 ハ 一規のアよリアン 緑ボ 被 管ク の 及配防 太 1・ススく 約。 外光 ひ がに セ6チセー 及工 鉄 すま る び管水 さ 、 本 1・ススく 約。 の と ロ Vシロー ・シレ 等 。 は 所 Fわ合 線 個以ススる す じ は の (と スロレスス びチ 線 るで 場 P行場 電 (の	Manual Andrews Andre	名 名 は は は は は は は は は は は は は
●電線本数、管路等 ●ボックス ○予備配管 ●フラッシュブレート ●フラッシュブレート ●機器	○ ○ テンド	A Edik Mo S フ の * O1 2 を出 変易配る************************************	事像なアスト ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	陽 ハ 一規のアよリアン 緑ボ 被 管ク の 及配防 太 1・ススく 約。 一光 光 ウ ガ格 ウるエタシ 材リ 覆 とす る び管水 っ 、 、1・フンと 法 S に を 〇 は スロレスス びチ 線 るで 場 P行場 電 個以フレす と S を 〇 は 日 ロ Vシロー ーン)) (*) 「 こ で な 線 個以ススる す U 使 制 は り へ 巨 ロ Vシロー ーン)) (*) 「 こ で な か は 以上をきっす U 使 制	Manual Andrews Andre	 *** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **

€		
	項 目 ●はつり	特 記 事 項 1)既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッター
ţ 5		を使用する。 2)復旧はモルタル補修までとする。
1	●再使用機器	取り外した上再使用する機器は、清掃し絶縁抵抗測定の上取付ける。なお照明器具等の見え
	◆その他	掛かり部分は、洗剤を使用するなどして、十分に清掃する。 屋外の盤類・開閉器箱 ★SUS ●鋼板製
1	●その他	<u>産</u> 外の協規・開闭会相
	●工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付
	●電気方式	
		分岐 ●単相2線式 ●100V ○200V
	○照明制御による効果	○直流2線式 100V 社団法人日本照明器具工業会技術資料130「照明制御装置による消費電力削減効果の評価
	の評価	手法」により、消費電力削減効果の評価を行い監督職員に提出する。
r.	○照明制御装置 〔グ〕	照明制御装置の各センサー設定は、監督職員の指示による。センサー設定器を附属させる。
L	○多重伝送制御システム	多重伝送制御システムの設定は、監督職員の指示による。システム設定器を附属させる。
	●蛍光ランプ	多里広送利御システムの改定は、監督戦員の指示による。システム改定金を附属させる。 蛍光灯照明器具の安定器回路方式及び電圧は、標準図及びJIL5004-2009「公共
		施設用照明器具」に指定のあるもの、図面特記があるものを除き下記による。
Г		蛍光灯の種類 回路方式 電圧(V) 環形(ホームライトを除く) GH 100
		直管形 15形以下 GL 100
		20形(防雨形·防湿形·電池内蔵形非常照明) GL 100
		<u>20形(上記以外のもの) </u>
į		FHF3276 OPN OPH 0100 0200
		コンパクト形 FHT24形,FHT32形,FHT42形, PN 0100 0200 (グ) Hf形 FHP32形,FHP45形
	●RP又はMP形照明	標準図において、防雨形または防湿形の器具本体の材質に、SUSを含む複数の材料が適用
	器具	されている場合は、SUSを適用する。
i	●非常用照明の形式	●電池内蔵形 ○電池別置形
	●フロアコンセント	O引出し形 O飛び出し形 O内部固定形 O外部固定形 ●OAフロアー用
	●分電盤等	本工事の分電盤、OA盤、実験盤で、分岐に用いる配線用遮断器及び漏電遮断器の寸法は、
	- 23 - Sm (3	JIS C 8201-2-1「回路遮断器」、同付属書XC「電灯分電盤用協約形回路遮断器」による。
		特記なき場合、分岐に用いる2極の配線用遮断器及び漏電遮断器は、1極サイズのものとする。
		○A盤の端子部に ○通気□ ○冷却ファン を設ける
	●工事範囲	●配管 ●配線 ○機器取付
	●電気方式	幹線 ●三相3線式 200 V ○ 分岐 ●三相3線式 200 V ○
	○制御盤	単位ユニットの電流計は負荷端子の手前に接続する。制御回路に用いる変圧器は絶縁変圧器
		とする。
	○監視方法	○警報盤による代表監視 ○中央監視制御装置による監視
	Oインターロック	自動业災報知設備の発信機 連動制御製及びガス混れ业災整報発信機と連動して 空間機を
	〇インターロック	自動火災報知設備の受信機、連動制御器及びガス漏れ火災警報受信機と連動して、空調機を 停止させる。
t		停止させる。
ţ	○インターロック○インパータ装置の 規約効率	停止させる。 三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。
	〇インバータ装置の	停止させる。 三相可変性電動機用インパータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 電動機出力(kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 (小一分数率(%) 85.0 87.0 88.5 89.5 90.0 90.5 91.0
	〇インバータ装置の	停止させる。 三相可変性電動機用インパータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 電動機出力 (kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 (2.7 3.7 3.9 3.9 3.0 87.0 88.5 89.5 90.0 90.5 91.0 (2.8 3.9 3.9 3.9 3.9 3.9 3.9 3.9 3.9 3.9 3.9
	〇インバータ装置の	停止させる。 三相可変性電動機用インパータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 電動機出力(kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 (2.2 3.7 5.5 (2.2 3.7 5.2 3.7 5.5 (2.2 3.7 5.2 5.5 (2.2 3.7 5.5 (2.2 3.7 5.2 5.2 5.5 (2.2 3.7 5.2 5.5 (2.2 3.7 5.5 (2.2 3.7 5.5 (2.2 3.7 5.2 5.2 5.5 (2.2 3.7 5.2 5.2 5.2 5.2 5.2 5.2 5.2 5.2 5.2 5.2
	〇インバータ装置の	停止させる。 三相可変性電動機用インパータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 電動機出力 (kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 (2.7 3.7 3.9 3.9 3.0 87.0 88.5 89.5 90.0 90.5 91.0 (2.8 3.9 3.9 3.9 3.9 3.9 3.9 3.9 3.9 3.9 3.9
	○インパータ装置の 規約効率	停止させる。 三相可変性電動機用インパータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 電動機出力(kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 (介ペーツ効率(%) 85.0 87.0 88.5 89.5 90.0 90.5 91.0 電動機出力(kW) 11 15 18.5 22 30 37 45 (イルペーツ効率(%) 91.5 92.0 92.5 93.0 93.5 94.0 94.5 備考)1)電動機の供給電圧は100V又は200Vとする。 2)インパータ効率は、100%負荷時の値とする。
	〇インバータ装置の	停止させる。 三相可変性電動機用インパータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 電動機出力(kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 (2.2 - 3.7 - 3.4 - 3.4 - 3.4 - 3.5) 90.0 90.5 91.0 (電動機出力(kW) 11 15 18.5 22 30 37 45 (2.2 - 3.4
•	○インパータ装置の 規約効率○工事範囲	停止させる。 三相可変性電動機用インパータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 電動機出力(kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 (介ペーラ効率(%) 85.0 87.0 88.5 89.5 90.0 90.5 91.0 電動機出力(kW) 11 15 18.5 22 30 37 45 (イルペーラ効率(%) 91.5 92.0 92.5 93.0 93.5 94.0 94.5 (備考) 1)電動機の供給電圧は100V又は200Vとする。 2)インパータ効率は、100%負荷時の値とする。 ○外部電保護システム(○受雷部システム ○引下げ導線システム ○接地システム) ○内部電保護システム
•	○インパータ装置の 規約効率	停止させる。 三相可変性電動機用インパータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 電動機出力(kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 (2.2 3.7 5.5 7.5 7.5 (2.2 3.7 5.5 7.5 (2.2 3.7 5.5 7.5 (2.2 3.7 5.5 7.5 (2.2 3.7 5.5 7.5 (2.2 3.7 5.5 7.5 (2.2 3.7 5.5 7.5 (2.2 3.7 5.5 7.5 (2.2 3.7 5.5 7.5 (2.2 3.7 5.5 7.5 (2.2 3.7 5.5 7.5 (2.2 3.7 5.5 7.5 (2.2 3.7 5.5 7.5 (2.2 3.7 5.5 7.5 (2.2 3.7 5.5 7.5 (2.2 3.7 5.5 7.5 (2.2 3.7 5.5 7.5 (2.2 3.7 5.5
,	○インパータ装置の 規約効率 ○工事範囲 ○保護レベル ○受雷部システム	停止させる。 三相可変性電動機用インパータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 電動機出力 (kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 (小**-効率 (%) 85.0 87.0 88.5 89.5 90.0 90.5 91.0 電動機出力 (kW) 11 15 18.5 22 30 37 45 (小**-分効率 (%) 91.5 92.0 92.5 93.0 93.5 94.0 94.5 (・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	○インパータ装置の 規約効率 ○工事範囲 ○保護レベル	停止させる。 三相可変性電動機用インパータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 電動機出力(kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 (ハーラ効率(%) 85.0 87.0 88.5 89.5 90.0 90.5 91.0 電動機出力(kW) 11 15 18.5 22 30 37 45 (ハーラ効率(%) 91.5 92.0 92.5 93.0 93.5 94.0 94.5 備考)1)電動機の供給電圧は100∨又は200∨とする。 2)インパータ効率は、100%負荷時の値とする。 ○外部電保護システム(○受雷部システム ○引下げ導線システム ○接地システム) ○内部電保護システム
	○インパータ装置の 規約効率○工事範囲○保護レベル○受雷部システム○接地システム	停止させる。 三相可変性電動機用インパータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 電動機出力(kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 (ハペーラ効率(%) 85.0 87.0 88.5 89.5 90.0 90.5 91.0 電動機出力(kW) 11 15 18.5 22 30 37 45 (ハペーラ効率(%) 91.5 92.0 92.5 93.0 93.5 94.0 94.5 (新考) 1) 電動機の供給電圧は100V又は200Vとする。 2) インパータ効率は、100%負荷時の値とする。 ○外部電保護システム(○受雷部システム ○引下げ導線システム ○接地システム) ○内部電保護システム (○受雷部システム ○引下げ導線システム ○接地システム) ○内部電保護システム ○不フレス製 ○ A型接地櫃(○版状接地櫃) ○ 毎直接地櫃 ○ 放射状接地櫃) ○ B型接地櫃(○環状接地櫃) ○ 網状接地櫃) ○ 自動機が接地櫃) ○ 日型接地櫃(○環状接地櫃) ○ 網状接地櫃)
	○インパータ装置の 規約効率 ○工事範囲 ○保護レベル ○受雷部システム	停止させる。 三相可変性電動機用インパータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 電動機出力(kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 (ハーラ効率(%) 85.0 87.0 88.5 89.5 90.0 90.5 91.0 (全動機出力(kW) 11 15 18.5 22 30 37 45 (ハーラ効率(%) 91.5 92.0 92.5 93.0 93.5 94.0 94.5 (イルーラ効率(%) 92.5 92.0 92.5 93.0 93.5 94.0 94.5 (イルーラ効率(%) 92.5 92.0 92.5 93.0 93.5 94.0 94.5 (イルーラ効率(%) 92.5 92.0 92.5 93.0 93.5 94.0 94.5 (イルーラ効率(%) 93.5 94.0 94.5 (イルーラ効率(%) 93.5 92.0 93.5 94.0 94.5 (イルーラ効率(%) 93.5 92.0 93.5 94.0 94.5 (イルーラ効率(が) 93.5 92.0 93.5 94.0 94.5 (イルーラ効率(が) 93.5 92.0 93.5 94.0 94.5 (イルーラン・クラン・クラン・クラン・クラン・クラン・クラン・クラン・クラン・クラン・ク
	○インパータ装置の 規約効率○工事範囲○保護レベル ○受雷部システム○接地システム○互事範囲	停止させる。 三相可変性電動機用インパータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 電動機出力(kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 (ハペーラ効率(%) 85.0 87.0 88.5 89.5 90.0 90.5 91.0 電動機出力(kW) 11 15 18.5 22 30 37 45 (ハペーラ効率(%) 91.5 92.0 92.5 93.0 93.5 94.0 94.5 (ハペーラ効率(%) 91.5 92.0 92.5 93.0 93.5 94.0 94.5 (カペーラット・ロート・ロート・ロート・ロート・ロート・ロート・ロート・ロート・ロート・ロー
	○インパータ装置の 規約効率 ○工事範囲 ○保護レベル ○受雷部システム ○接地システム ○工事範囲 ○電気方式	停止させる。 三相可変性電動機用インパータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 電動機出力(kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 (介^¬+効率 (%) 85.0 87.0 88.5 89.5 90.0 90.5 91.0 電動機出力(kW) 11 15 18.5 22 30 37 45 (介^¬+効率 (%) 91.5 92.0 92.5 93.0 93.5 94.0 94.5 備考)1)電動機の供給電圧は100∨又は200∨とする。 2)インパータ効率は、100%負荷時の値とする。 ○外部電保護システム(○受雷部システム ○引下げ導線システム ○接地システム) ○内部電保護システム(○受雷部システム ○引下げ導線システム ○接地システム) ○内部電保護システム (○受雷部システム ○引下げ導線システム ○接地システム) ○内部電保護システム (○受雷部システム ○引下が導線システム ○接地システム) ○内部電保護システム (○受雷部システム ○引下が導線システム ○接地システム) ○内部電保護システム ○受雷部システム ○引下が導線システム ○接地システム) ○内部電保護システム ○回転 ○財務・編製 ○ステンレス製 ○ステンレス製 ○ステンレス製 ○ステンレス製 ○ステンレス製 ○ステンレス製 ○ステンレス製 ○ステンレス製 ○日本語報報 ○日本語経地極 ○日本語経地極 ○日本語経地極 ○日本語経地極 ○日本語経地極 ○日本語経・日本語経・日本語経・日本語経・日本語経・日本語経・日本語経・日本語経・
	○インパータ装置の 規約効率○工事範囲○保護レベル ○受雷部システム○接地システム○互事範囲	停止させる。 三相可変性電動機用インパータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 電動機出力(kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 (2パー分効率(%) 85.0 87.0 88.5 89.5 90.0 90.5 91.0 電動機出力(kW) 11 15 18.5 22 30 37 45 (2パー分数率(%) 91.5 92.0 92.5 93.0 93.5 94.0 94.5 備考)1)電動機の供給電圧は100V又は200Vとする。 2)インパータ効率は、100%負荷時の値とする。 2)インパータ効率は、100%負荷時の値とする。 ○外部雷保護システム(○受雷部システム ○引下げ導線システム ○接地システム)○内部雷保護システム(○受雷部システム ○引下げ導線システム ○接地システム) ○ の内部電保護システム ○ の内部電保護システム ○ 「 ○ II
	○インパータ装置の 規約効率 ○工事範囲 ○保護レベル ○受雷部システム ○接地システム ○工事範囲 ○電気方式	停止させる。 三相可変性電動機用インパータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 電動機出力(kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 (介^¬+効率 (%) 85.0 87.0 88.5 89.5 90.0 90.5 91.0 電動機出力(kW) 11 15 18.5 22 30 37 45 (介^¬+効率 (%) 91.5 92.0 92.5 93.0 93.5 94.0 94.5 備考)1)電動機の供給電圧は100∨又は200∨とする。 2)インパータ効率は、100%負荷時の値とする。 ○外部電保護システム(○受雷部システム ○引下げ導線システム ○接地システム) ○内部電保護システム(○受雷部システム ○引下げ導線システム ○接地システム) ○内部電保護システム (○受雷部システム ○引下げ導線システム ○接地システム) ○内部電保護システム (○受雷部システム ○引下が導線システム ○接地システム) ○内部電保護システム (○受雷部システム ○引下が導線システム ○接地システム) ○内部電保護システム ○受雷部システム ○引下が導線システム ○接地システム) ○内部電保護システム ○回転 ○財務・編製 ○ステンレス製 ○ステンレス製 ○ステンレス製 ○ステンレス製 ○ステンレス製 ○ステンレス製 ○ステンレス製 ○ステンレス製 ○日本語報報 ○日本語経地極 ○日本語経地極 ○日本語経地極 ○日本語経地極 ○日本語経地極 ○日本語経・日本語経・日本語経・日本語経・日本語経・日本語経・日本語経・日本語経・
	○インパータ装置の 規約効率 ○工事範囲 ○保護レベル ○受雷部システム ○接地システム ○工事範囲 ○電気方式	停止させる。 三相可変性電動機用インパータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 電動機出力(kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 (2パー分効率(%) 85.0 87.0 88.5 89.5 90.0 90.5 91.0 電動機出力(kW) 11 15 18.5 22 30 37 45 (2パー分数率(%) 91.5 92.0 92.5 93.0 93.5 94.0 94.5 備考)1)電動機の供給電圧は100V又は200Vとする。 2)インパータ効率は、100%負荷時の値とする。 2)インパータ効率は、100%負荷時の値とする。 2)インパータ効率は、100%負荷時の値とする。 ○外部雷保護システム ○受雷部システム ○引下げ導線システム ○接地システム)○内部雷保護システム ○可 ○取 ※鋼製 ○ステンレス製 ○ A型接地框(○坂状接地框 ○ 毎直接地框 ○ 放射状接地框) ○ B型接地框(○坂状接地框 ○ 網球接地框) ○ B型接地框(○環状接地框 ○ 網球接地框) ○ 回間 ②配線 ○ 成器取付 ⑤圧 三相3線式 ⑥ k V ○ 三相4線式 V / V ○ 三相3線式 ○ ○ 三相3線式 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	○インパータ装置の 規約効率 ○工事範囲 ○保護レベル ○受雷部システム ○接地システム ○正事範囲 ○電気方式 ○配電盤形式	停止させる。 三相可変性電動機用インパータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 電動機出力(kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 (介^-¬効率 (%) 85.0 87.0 88.5 89.5 90.0 90.5 91.0 電動機出力(kW) 11 15 18.5 22 30 37 45 (ク - ¬ ¬ ¬ ¬ ¬ ¬ ¬ ¬ ¬ ¬ ¬ ¬ ¬ ¬ ¬ ¬ ¬ ¬
	○インパータ装置の 規約効率 ○工事範囲 ○保護レベル ○受雷部システム ○接地システム ○正事範囲 ○電気方式 ○配電盤形式	停止させる。 三相可変性電動機用インパータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 電動機出力(kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 (2パー分効率(%) 85.0 87.0 88.5 89.5 90.0 90.5 91.0 電動機出力(kW) 11 15 18.5 22 30 37 45 (2パー分数率(%) 91.5 92.0 92.5 93.0 93.5 94.0 94.5 備考)1)電動機の供給電圧は100V又は200Vとする。 2)インパータ効率は、100%負荷時の値とする。 2)インパータ効率は、100%負荷時の値とする。 2)インパータ効率は、100%負荷時の値とする。 ○外部雷保護システム(○受雷部システム(○引下げ導線システム(○接地システム) ○内部雷保護システム(○受雷部システム) ○内部雷保護システム(○受雷がシステム) ○日本の地域(○の状接地極) ○日本の地域(○の状接地極) ○日本のは、100√2 (200 V 200 V
	○インパータ装置の 規約効率 ○工事範囲 ○保護レベル ○受雷部システム ○接地システム ○正事範囲 ○電気方式 ○配電盤形式	停止させる。 三相可変性電動機用インパータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 電動機出力(kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 (ハペーラ効率(%) 85.0 87.0 88.5 89.5 90.0 90.5 91.0 電動機出力(kW) 11 15 18.5 22 30 37 45 (ハペーラ効率(%) 91.5 92.0 92.5 93.0 93.5 94.0 94.5 (新考) 1)電動機の供給電圧は100V又は200Vとする。 2)インパータ効率は、100%負荷時の値とする。 ○外部電保護システム(○受雷部システム ○引下げ導線システム ○接地システム) ○内部電保護システム(○受雷部システム ○引下げ導線システム ○接地システム) ○内部電保護システム (○受雷部システム ○引下げ導線システム ○接地システム) ○内部電保護システム (○受雷部システム ○引下が導線システム ○接地システム) ○内部電保護システム ○通報 ○ステンレス製 ○ステンレス製 ○ステンレス製 ○本国接地極 ○海状接地極) ○日間 ○取 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	○インパータ装置の 規約効率 ○工事範囲 ○保護レベル ○受雷部システム ○接地システム ○工事範囲 ○電気方式 ○配電盤形式 ○変圧器の規格	停止させる。 三相可変性電動機用インパータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 電動機出力(kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 (2パー分効率(%) 85.0 87.0 88.5 89.5 90.0 90.5 91.0 電動機出力(kW) 11 15 18.5 22 30 37 45 (2パー分数率(%) 91.5 92.0 92.5 93.0 93.5 94.0 94.5 備考)1)電動機の供給電圧は100V又は200Vとする。 2)インパータ効率は、100%負荷時の値とする。 2)インパータ対率は、100%自時時値とする。 2)インパータ効率は、100%自時時値とする。 2)インパータ効率は、100%自時時値とする。 2)インパータ効率は、100以自時地極(の板状接地極)の用状接地極)の開放形配電盤 0・開放形配電盤 0・開放形配電盤 0・開放形配電盤 0・原にスイッチギア 0・変圧器を 0・コンデンサ盤 0・エーピクル式配電盤 0・原放み形配電盤 0・原にスイッチギア 0・文圧器を 0・コンデンサ盤 0・五・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・
	○インパータ装置の 規約効率 ○工事範囲 ○保護レベル ○受雷部システム ○接地システム ○正事範囲 ○電気方式 ○配電盤形式	停止させる。 三相可変性電動機用インパータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 電動機出力(kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 (介^¬の効率(%) 85.0 87.0 88.5 89.5 90.0 90.5 91.0 電動機出力(kW) 11 15 18.5 22 30 37 45 (介 の
	○インパータ装置の 規約効率 ○工事範囲 ○保護レベル ○受雷部システム ○接地システム ○正事範囲 ○電気方式 ○配電盤形式 ○変圧器の規格 ○監視方式 ○基礎	停止させる。 三相可変性電動機用インパータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 電動機出力(kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 (介^-の物率(%) 85.0 87.0 88.5 89.5 90.0 90.5 91.0 電動機出力(kW) 1 1 15 18.5 22 30 37 45 (介 2 3 3 3 3 45 3 3 3 3 45 3 3 3 3 3 4 5 3 3 3 3
	○インパータ装置の 規約効率 ○工事範囲 ○保護システム ○投地システム ○工事範囲 ○電気方式 ○配電監形式 ○空圧器の規格 ○監視方式	停止させる。 三相可変性電動機用インパータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 電動機出力(kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 (介^¬労効率(%) 85.0 87.0 88.5 89.5 90.0 90.5 91.0 電動機出力(kW) 11 15 18.5 22 30 37 45 (介 の
	○インパータ装置の 規約効率 ○工事範囲 ○保護レベル ○受雷部システム ○接地システム ○正事範囲 ○電気方式 ○配電盤形式 ○変圧器の規格 ○監視方式 ○基礎	停止させる。 三相可変性電動機用インパータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 電動機出力(kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 (介^-の効率(%) 85.0 87.0 88.5 89.5 90.0 90.5 91.0 電動機出力(kW) 11 15 18.5 22 30 37 45 (分 - の - の - の - の - の - の - の - の - の -
	○インパータ装置の 規約効率 ○工事範囲 ○保護がシステム ○投地システム ○正事範囲 ○電気方式 ○配電監形式 ○空圧器の規格 ○監視方式 ○監視方式 ○監視方式	停止させる。 三相可変性電動機用インパータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 電動機出力(kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 (介^¬分効率(%) 85.0 87.0 88.5 89.5 90.0 90.5 91.0 電動機出力(kW) 11 15 18.5 22 30 37 45 (介 の

電気設備工事特記仕様書 №2

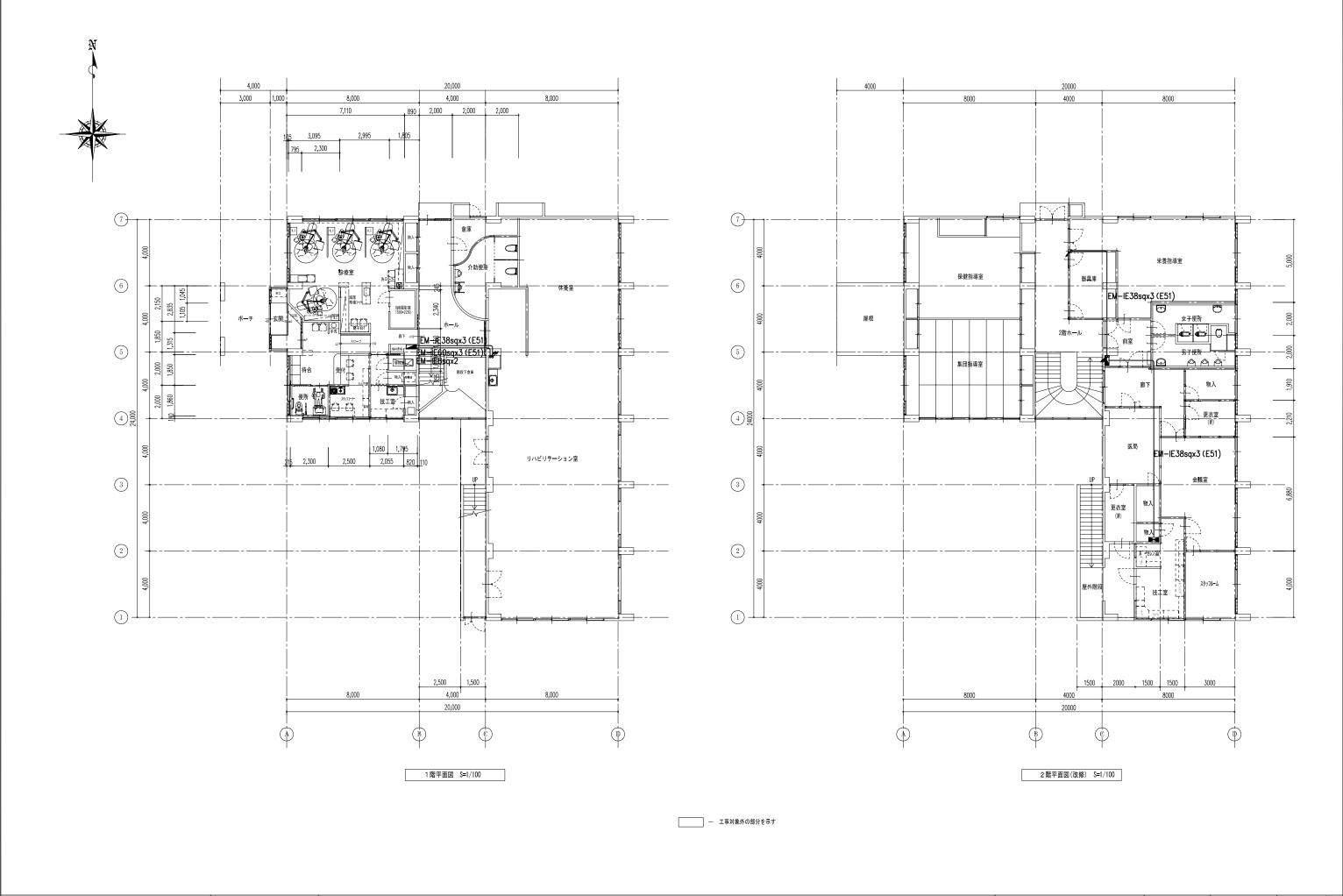
章	設備工事特記 ┃ <u> </u>	特 記 事 項
電力	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
力貯蔵設備	○直流電源装置	用途 〇建築基準法用 〇消防法用 〇受変電設備専用 その他 〇週放電防止保護装置(直流不足電圧継電器)の設定電圧は、90Vとする。
计	〇交流無停電電源装置 (UPS)	用途 ()
	〇工事範囲	方式 ○一般形 ○簡易形 ○配管 ○配線 ○機器取付 ○配管 ○配線 ○機器取付 ○ ○機器取付 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	〇形式	○オープン形 ○簡易形 ○キューピクル
	○連続運転可能時間	○10時間(乙) ○72時間(甲) ○
	〇発電機 〇発電機	電気方式 三相3線式
~		電 圧
発	○原動機	種別 〇ガスターピン 〇ディーゼル機関 〇ガスエンジン 〇マイクロガスターピン 〇燃料電池 〇コージェネレーション
		定格出力 kW(PS)以上
ŧ		始動方式
-	○燃料	種類 〇重油 〇軽油 〇灯油 〇ガス() 〇燃料小出槽 ね
	~ \$\ 4 + 1	○主燃料槽 スス
ð	○監視方式	※警報盤による代表監視 ○中央監視盤による監視
	○太陽光発電装置 (グ)	大陽電池 アレイ 公称最大出力 k W 以上 設置可能建築面積 m 2以下(長辺 m x 短辺 m)
		系統連系 〇受動 〇能動
蕭		パワーコンディショナ出力 相 線式 V k W以上 逆潮流 O有 *無
	〇風力発電装置	
	(定格出力20kW	運転音 #80dB(A)以下 O
	未満に適用)	終報用の遠方 ○要
	○外部移報	*有 〇無
構	●工事範囲	●配管 ●配線 ○機器取付
構内情報	●施工方法	○金属管配線 ○ケーブル配線 ●合成樹脂管配線
報	●工事範囲	●配管 ○配線 ○機器取付
冓	〇保安器用接地	*本工事 〇別途工事
内	○形式	〇電子交換機 〇ポタン電話装置
交	○電話機への配線	電話機1台につき以下を見込む。 ○EM-TIEF
换		OEM-UTP 0.5 -4P 20m (片側8極8心モジュラーロ-ゼット付)
殳		OEM-BTIEE 0.4 - 2P 20m (片側6極4心も) 1元-ローセ・外付) O2号ワイヤプロテクタ 1.5 m
備		,
	○工事種類	○マルチサイン装置 ○出退表示設備 ○時刻表示設備
情報	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
情報表示設備	〇親時計及び付属装置	OCR -P M OCW -P M Oプログラムタイマ(Oカード式 Oキー式 O
設備	- 7 n+ =1	
	〇子時計	特記なきものは *SWA33-GPB2 O
映像	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
音響	〇施工方法	○金属管配線 ○ケーブル配線 ○合成樹脂管配線
Ť	●工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付
拡	○増幅器	用途 ●全館放送用 (*一般放送 ○非常放送) ○ローカル放送用 形式 ○卓上形 ○ラック組込形 ○卓上形 ○ラック組込形
		定格出力 H T 形 W以上 H T 形 W以上
#		出力制御盤 **有 回線 ○無 **有 回線 ○無 付加機能 ○リモコン機能 ○コールサイン機能 ○リモコン機能 ○コールサイン機能
		○モニター機能 ○モニター機能 ○自動放送はアッテネーターを経由した回路とする。
ð	07 (57 + 5	
	Oマイクロホン	〇卓上形 台 〇ハンド形 台 〇
備	●スピーカ	特記なきものは
	○丁吉 <u></u>	○野笠 ○野娘 ○地里取仕
秀	〇 <u>工事範囲</u> 〇工事内容	○配管 ○配線 ○機器取付 ○音声誘導装置 検出方式 (○磁気式 ○無線式 ○画像認識)
華		Oインターホン O電話式 O相互式 Oテレビインターホン Oカラー O白黒
		〇外部受付用インターホン 〇カラー 〇白黒
支	1	〇トイレ等呼出し装置 窓 呼出しポタン
支援		│○壁付ポタン (プルスイッチの長さは、0.2m以上とする)
支援設		〇壁付握りポタン(握りポタンの長さは、1.2m以上とする)
支援設		○壁付握りボタン(握りボタンの長さは、1.2 m以上とする) ○受付呼出し装置 ○誘導音
支援设備	●工事範囲 ○アンテナ	〇壁付握りポタン(握りポタンの長さは、1.2m以上とする)
支援設備	Oアンテナ	○壁付曜リポタン(握リポタンの長さは、1.2m以上とする) ○受付呼出し装置 ○誘導音 ●配管 ●配線 ●機器取付 ○VHF用 ○UHF用 ○BS用 ○CS用 ○AM用 ○FM用 ○CATV
支援設備		○壁付曜りポタン(握りポタンの長さは、1.2 m以上とする) ○受付呼出し装置 ○誘導音 ●配管 ●配線 ●機器取付 ○VHF用 ○UHF用 ○BS用 ○CS用
・ 支 援 設 備 テレビ共同受信設備	Oアンテナ	○壁付遅りボタン(握りボタンの長さは、1.2 m以上とする) ○受付呼出し装置 ●配線 ●機器取付 ○VHF用 ○UHF用 ○BS用 ○CS用 ○AM用 ○FM月 ○CATV ○壁面取付形 ○自立形

章	項目	1	<u>特記事項</u>
₽	○工事範囲	O配管 C	D配線 O機器取付
没備が		Oカラー C	0白黒
~~メ		0,77	
管験	O工事範囲	○配管 ○	D配線 〇機器取付
管制设備 駐車場	 	〇ループコイル方式	、
蕭炀		0.0 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	V
防 管犯	○工事範囲		D配線 ○機器取付
理没庸心。入退	D工事種類	〇機械警備用配管	
崩退		〇防犯装置 C)入退室管理制御装置
室	 ●自動火災報知装置	●工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付
		V17#20	
		●電気方式	DC24V ただし、位置表示灯及び消火ポンプ運転表示は AC24
_		○受信機	○ 形 級 回線
Ħ			〇壁掛形 〇自立形
			○単独形 ○複合形 ○副受信機 窓
動			○盤面に消火ポンプ運転表示灯を設ける。
		〇消火ポンプ始動	※消火栓箱内押ポタン ○発信機ト連動 (総合製に放動表示にも記せる)
火		〇機器収容箱	○発信機と連動(総合盤に始動表示灯を設ける。) ○消火栓一体形 ○単独形
^	〇自動閉鎖装置	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
***		○連動制御器	□線 【予備電源(蓄電池)内蔵】 □○単独 ○自火報受信機と一体
災			○学校 ○日人牧及信機と
		○自動閉鎖装置	〇防火戸用【DC24V 0.6A以下電磁式またはラッチ式】
報			O防煙ダンパ用
			遠方復帰機構(電動式)DC24V 0.7A以下
知			〇防火シャッター用
/-	□ ○非常警報装置	○ 工事範囲	
=n		〇電気方式	DC24V
設	Oガス漏れ火災警報装置	〇電源装置	※非常電源(蓄電池) ○自動火災報知設備と兼用 ○ 和等 ○ 和等 ○ 和等 ○ 本等 ○ 本等 ○ 本等 ○ 本等 ○ 本等
	ひかん離れて火き牧長量	○工事範囲 ○受信機	○配管 ○配線 ○機器取付 ○ 形 級 回線(○壁掛形 ○自立形)
備			(〇単独形 〇自火報受信機と一体)
	 O諸警報表示	受信機に諸警報表示	
	〇部宣報技术	文信機に記言報状/	(क (क) टक्सा ७०
自由	○工事範囲	○配管 ○配	
#0 rh	〇監視方式	〇警報盤 OS	
即中央		· · · · · · · · · · · · · · · · ·	ā視制御装置
型 設 監 講 視	〇蓄電池容量	★標準仕様書による	
制中央 金 金 は は は は は は は は は は は は は は り は り は	○蓄電池容量	※標準仕様書による	6 030分間以上
型 設 監 講 視			6 030分間以上
	○蓄電池容量	※標準仕様書による	6 030分間以上
	○蓄電池容量 ○工事範囲 ○非接地電源用分電盤	*標準仕様書による ○配管 ○配管 ○配管	○30分間以上 日線 ○機器取付 ※鋼製 ○ステンレス製
	○ 蓄電 池容量 ○工事範囲	※標準仕様書による ○配管 ○配管	○30分間以上 日線 ○機器取付 ※鋼製 ○ステンレス製
砂カー 医療関係設備 火監視	〇番電池容量 〇工事範囲 〇非接地電源用分電盤 〇ナースコール装置	*標準仕様書による○配管○配管○配管トャピネットトイレ及び浴室等の呼出押ポタン	○30分間以上 ②線 ○線器取付 ※鋼製 ○ステンレス製 ○防滴 ○防湿
	○蓄電池容量 ○工事範囲 ○非接地電源用分電盤	*標準仕様書による○配管○配管○配管トャピネットトイレ及び浴室等の呼出押ポタン	○30分間以上 日線 ○機器取付 ※鋼製 ○ステンレス製
	○蓄電池容量 ○工事範囲 ○非接地電源用分電盤 ○ナースコール装置 ○その他	*標準仕様書による 〇配管 〇配管 「「「「」」 トイレ及び浴室等の呼出押ポタン 「「・」では、「」では、「」」 「・」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「	○30分間以上 □線 ○機器取付 ※鋼製 ○ステンレス製 ○ ○ ○ ○ 防滴 ○ ○ 防湿 「、 監督職員の指示による。
	○蓄電池容量 ○工事範囲 ○非接地電源用分電盤 ○ナースコール装置 ○その他	*標準仕様書による 〇配管 〇配管 「● キャピネット トイレ及び浴室等の呼出押ポタン 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	○30分間以上 □線 ○機器取付 ※鋼製 ○ステンレス製 ○防滴 ○防湿 □験は、監督職員の指示による。 □線器取付
	○蓄電池容量 ○工事範囲 ○非接地電源用分電盤 ○ナースコール装置 ○その他	*標準仕様書による 〇配管 〇配管 「「「「」」 トイレ及び浴室等の呼出押ポタン 「「・」では、「」では、「」」 「・」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「	*鋼製
	○蓄電池容量 ○工事範囲 ○非接地電源用分電盤 ○ナースコール装置 ○その他	*標準仕様書による ○配管 ○配管 ○配管	* 30分間以上
医療関係設備	○蓄電池容量 ○工事範囲 ○非接地電源用分電盤 ○ナースコール装置 ○その他	*標準仕様書による ○配管 ○配管 ○配管	*鋼製
医療関係設備	○蓄電池容量 ○工事範囲 ○非接地電源用分電盤 ○ナースコール装置 ○その他 ○工事範囲 ○電気方式	*標準仕様書による ○配管 ○配管 ○配管	(a) (a
医療関係設備	○蓄電池容量 ○工事範囲 ○非接地電源用分電盤 ○ナースコール装置 ○その他 ○工事範囲 ○電気方式	*標準仕様書による ○配管 ○配管 ○配管	* 調製
医療関係設備 構	○蓄電池容量 ○工事範囲 ○非接地電源用分電盤 ○ナースコール装置 ○その他 ○工事範囲 ○電気方式	※標準仕様書による ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配子 ○ 日本 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	* 調製
医療関係設備 構 内	○蓄電池容量 ○工事範囲 ○非接地電源用分電盤 ○ナースコール装置 ○その他 ○工事範囲 ○電気方式	*標準仕様書による 〇配管 〇配管 「● キャピネット トイレ及び浴室等の呼出押ボタン 〇オブション等の記 〇配管 ○配管 「● 低圧	*翻製
医療関係設備 構	○蓄電池容量 ○工事範囲 ○非接地電源用分電盤 ○ナースコール装置 ○その他 ○工事範囲 ○電気方式	*標準仕様書による ○配管	* 調製
医療関係設備 構 内	○蓄電池容量 ○工事範囲 ○非接地電源用分電盤 ○ナースコール装置 ○その他 ○工事範囲 ○電気方式	*標準仕様書による ○配管	30分間以上 300分間以上 300分面以上 300
医療関係設備 構 内 配	○蓄電池容量 ○工事範囲 ○非接地電源用分電盤 ○ナースコール装置 ○その他 ○工事範囲 ○電気方式	*標準仕様書による ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配子 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	30分間以上 30分間以上 300分間以上 300分
医療関係設備 構 内	○審電池容量 ○工事範囲 ○非接地電源用分電盤 ○ナースコール装置 ○その他 ○工事範囲 ○電気方式 ○公設方式 ○区分開閉器	*標準仕様書による 〇配管 〇配管 〇配管 〇配管 〇配管 〇配管 〇配管 〇配管 〇配管 〇配匠 〇配匠 〇配匠 〇配匠 〇地中線 〇配圧 〇地中線 〇階度 日間	30分間以上 30分間以上 300 30分間以上 300 30分間以上 300 30
医療関係設備 構 内 配	○蓄電池容量 ○工事範囲 ○非接地電源用分電盤 ○ナースコール装置 ○その他 ○工事範囲 ○電気方式 ○公設方式	*標準仕様書による ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配子 ○ は ・	30分間以上 30分間以上 30分間以上 30分間以上 30分間以上 30分間以上 30分間以上 30分間 30分間
医療関係設備 構 内 配 電	○審電池容量 ○工事範囲 ○非接地電源用分電盤 ○ナースコール装置 ○その他 ○工事範囲 ○電気方式 ○公設方式 ○区分開閉器	*標準仕様書による ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配子	30分間以上 30分間以上 300 30分間以上 300 30分間以上 300 30
医瘭関係設備 構 内 配	○著電池容量 ○工事範囲 ○非接地電源用分電盤 ○ナースコール装置 ○その他 ○工事範囲 ○電気方式 ○公の方式 ○区分開閉器	*標準仕様書による 〇配管 〇配管 〇配管 〇配管 〇配管 〇配管 〇配管 〇配 トャピネット トルカブション等の記 〇配管 ○配圧 〇配性 〇地中線 〇窓圧 〇地中線 〇窓圧 八カブション ・文字・ルルーガン・フェネルが・ファーボル・ファーブル・ファーブル・ファーオープ・フェース・スープ・フェース・スープ・スープ・スープ・スープ・スープ・スープ・スープ・スープ・スープ・ス	30分間以上 30分間以上 300 30分間以上 300 30分間以上 300 30分間以上 300
医療関係設備 構 内配 電	○蓄電池容量 ○工事範囲 ○非接地電源用分電盤 ○ナースコール装置 ○その他 ○工事範囲 ○電気方式 ○公電気方式 ○公の関 ○では、	*標準仕様書による 〇配管 〇配管 〇配管 〇配管 〇配管 〇配管 〇配管 〇配 トャピネット トルカブション等の記 〇配管 ○配圧 〇配性 〇地中線 〇窓圧 〇地中線 〇窓圧 八カブション ・文字・ルルーガン・フェネルが・ファーボル・ファーブル・ファーブル・ファーオープ・フェース・スープ・フェース・スープ・スープ・スープ・スープ・スープ・スープ・スープ・スープ・スープ・ス	30分間以上 30の 30分間以上 30の 30分間以上 30の 300
医瘭関係設備 構 内配 電 線	○著電池容量 ○工事範囲 ○非接地電源用分電盤 ○ナースコール装置 ○その他 ○工事範囲 ○電気方式 ○公の方式 ○区分開閉器	*標準仕様書による ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配子	30分間以上 30分間以上 300 30分間以上 300 30分間以上 300 30分間以上 300
医療関係設備 構 内配 電	○蓄電池容量 ○工事範囲 ○非接地電源用分電盤 ○ナースコール装置 ○その他 ○工事範囲 ○電気方式 ○公電気方式 ○公開開器 ○マンンホーホールル ○余長、高圧ケーブル ・ 選生 ・ 選生 ・ 選生 ・ 受養性材	*標準仕様書による 〇配管 〇配管 〇配管 〇配管 〇配管 〇配管 〇配管 〇配管 〇配子 四月	* 調製
医瘭関係設備 構 内配 電 線	○著電池容量 ○工事範囲 ○非接地電源用分電盤 ○ナースコール装置 ○その他 ○工事範囲 ○電気方式 ○応報気方式 ○応報気方式 ○応報気が、 ○応報気が、 ○応報表が、 ○応述表述、 ○応述表述述述、 ○応述表述、 ○応述表述、 ○応述表述、 ○応述表述述述、 ○応述表述、 ○応述表述、 ○応述表述、 ○応述表述、 ○応述表述、 ○応述表述、 ○応述表述、	*標準仕様書による ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配子 で レルボック ジャック で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	30分間以上 300 30分間以上 300 30分間以上 300 30分間以上 300 30
医瘭関係設備 構 内配 電 線	○蓄電池容量 ○工事範囲 ○非接地電源用分電盤 ○ナースコール装置 ○その他 ○工事範囲 ○電気方式 ○公電気方式 ○公開開器 ○マンンホーホールル ○余長、高圧ケーブル ・ 選生 ・ 選生 ・ 選生 ・ 受養性材	*標準仕様書による ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配任 ○配圧 ○型性 → プラン 等の記憶 ○配圧 ○地中線 ○配圧 ・文字 → プルケー が 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一	30 30 30 30 30 30 30 30
医療関係設備 構 内配 電 線	○蓄電池容量 ○工事範囲 ○非接地電源用分電盤 ○ナースコール装置 ○その他 ○工事範囲 ○電気方式 ○電気方式 ○な設方式 ○な対象方式	*標準仕様書による 〇配管 〇配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配子	30分間以上 30の 30分間以上 30 30分間以上 30 30 30 30 30 30 30 3
医瘭 関係設備 横木 内配 電電線 路 横	○蓄電池容量 ○工事範囲 ○非接地電源用分電盤 ○ナースコール装置 ○その他 ○工事範囲 ○名の他 ○工事範囲 ○本の対対 ○本表 ○マンンドホールル ○余長 ○現井大・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	*標準仕様書による ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配付	30 30 30 30 30 30 30 30
医瘭骨条设備 横木 内配 電電線 路 横木内	○蓄電池容量 ○工事範囲 ○非接地電源用分電盤 ○ナースコール装置 ○その他 ○工事範囲 ○電気方式 ○電気方式 ○な設方式 ○な対象方式	*標準仕様書による 〇配管 〇配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配子	30分間以上 30の 30分間以上 30 30分間以上 30 30 30 30 30 30 30 3
医療関係設備 構門 内配 電電線路 横内通	○蓄電池容量 ○工事範囲 ○非接地電源用分電盤 ○ナースコール装置 ○その他 ○工事範囲 ○電気方式 ○電気方式 ○な設方式 ○な対象方式	*標準仕様書による 〇配管 〇配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配子	30 30 30 30 30 30 30 30
医療関係設備 構 内 配 電 線 路 構内通信	○蓄電池容量 ○工事範囲 ○非接地電源用分電盤 ○ナースコール装置 ○その他 ○工事範囲 ○電気方式 ○電気方式 ○な設方式 ○な対象方式	*標準仕様書による 〇配管 「「「「「「」」」」 「「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」 「「」」 「「」」 「「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	300 30
医療関係設備 構門 内配 電電線路 横内通	○蓄電池容量 ○工事範囲 ○非接地電源用分電盤 ○ナースコール装置 ○その他 ○工事範囲 ○電気方式 ○電気方式 ○な設方式 ○な対象方式	*標準仕様 による ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配管 ○配子	30 30 30 30 30 30 30 30

章	項	B		特	記	事	項	
	〇調査範囲		☀測定のみ	〇対策工事実施	設計書作成ま	で		
調電	〇測定時期		工事前・工事中	・完成後				
調波障	〇測定箇所		箇所					
査隆	〇測定内容		受信可能な全チー	ヤンネルとし、紅	果報告書を提	出する。		
-								

別表 1 付属品・予備品

〇ウォールキャピネ	·ット(W=	D =	H =) ×	個		
〇イージーキャピネ	・ット	箱	〇キーポックス	マークテスタ	· —	○マンホールフック	
〇工具箱(ドライバ	(一、モンキーレン	チ、組スパ	ナー、ハンマ-	-)			
照明器具	ランプ及びグロー	球の予備品	は、種別毎に	1%とする。			
	ただし、端数は切り上げることとし、最少個数を1個とする。						
受変電設備・盤	ランプ及びヒュー	ズの予備品	」は、20%と	する。			



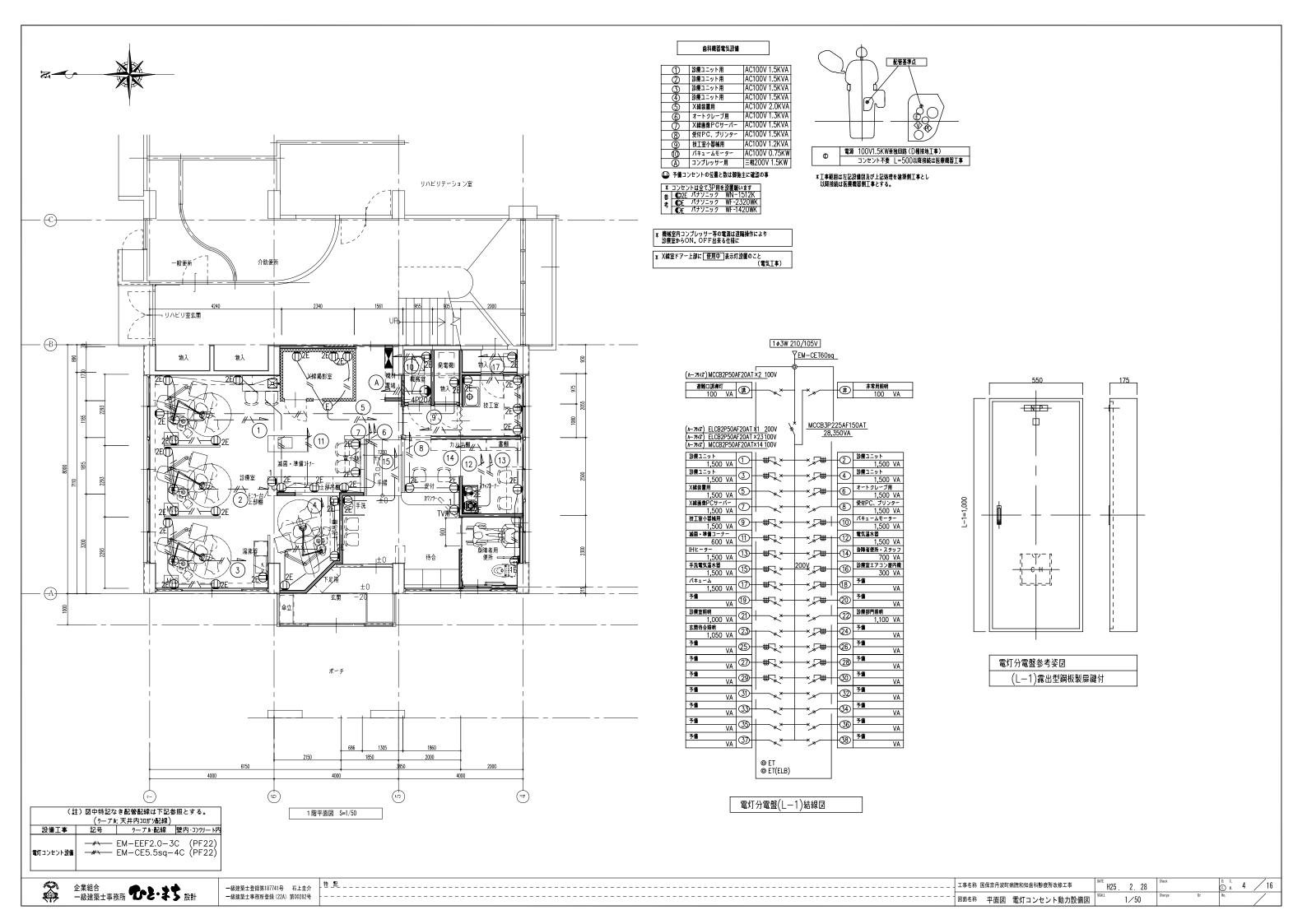
企業組合 一級建築士事務所 でと・ます 設計

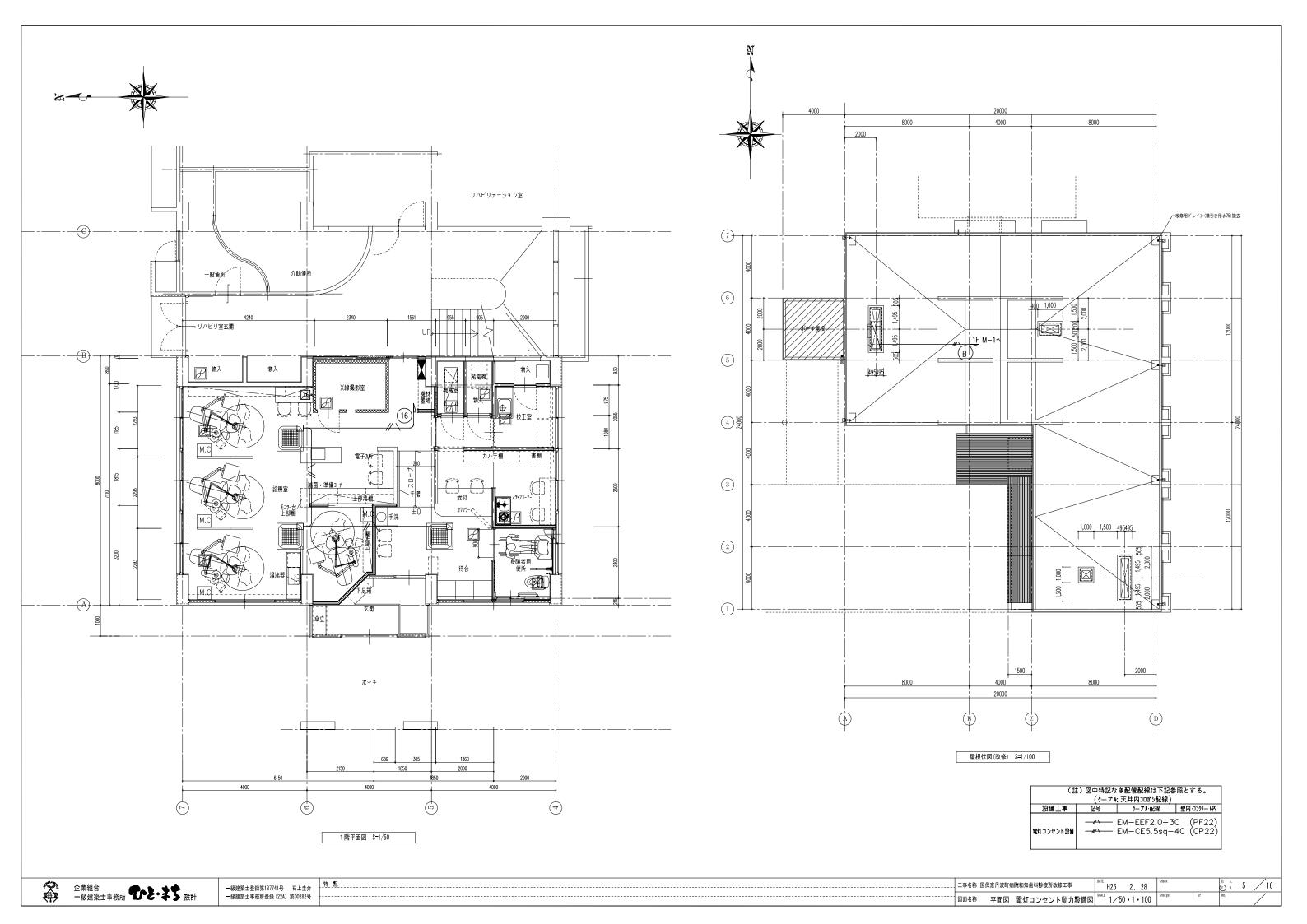
 一級建築士登録第187741号
 石上圭介

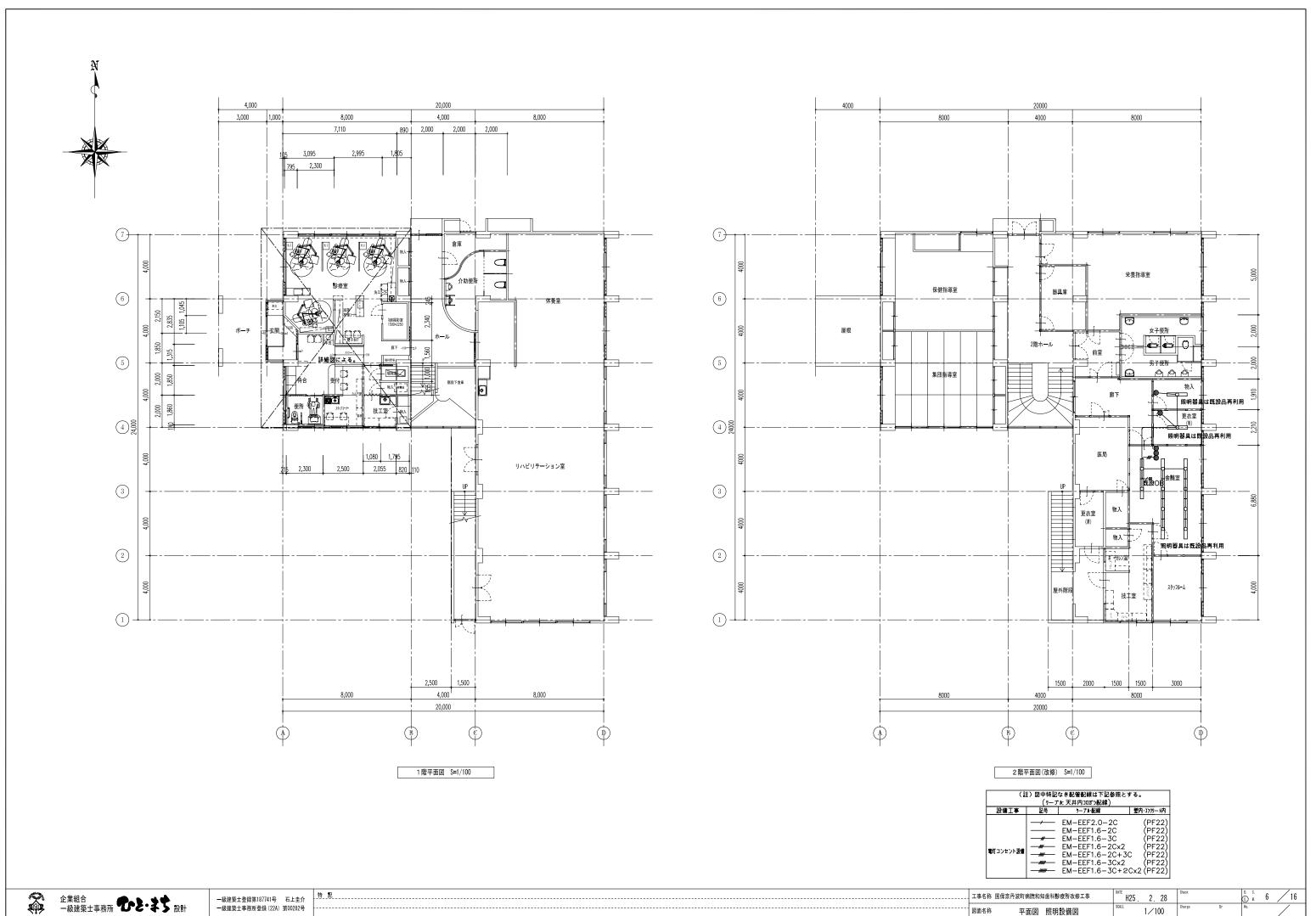
 一級建築士事務所登録(22A) 第00282号

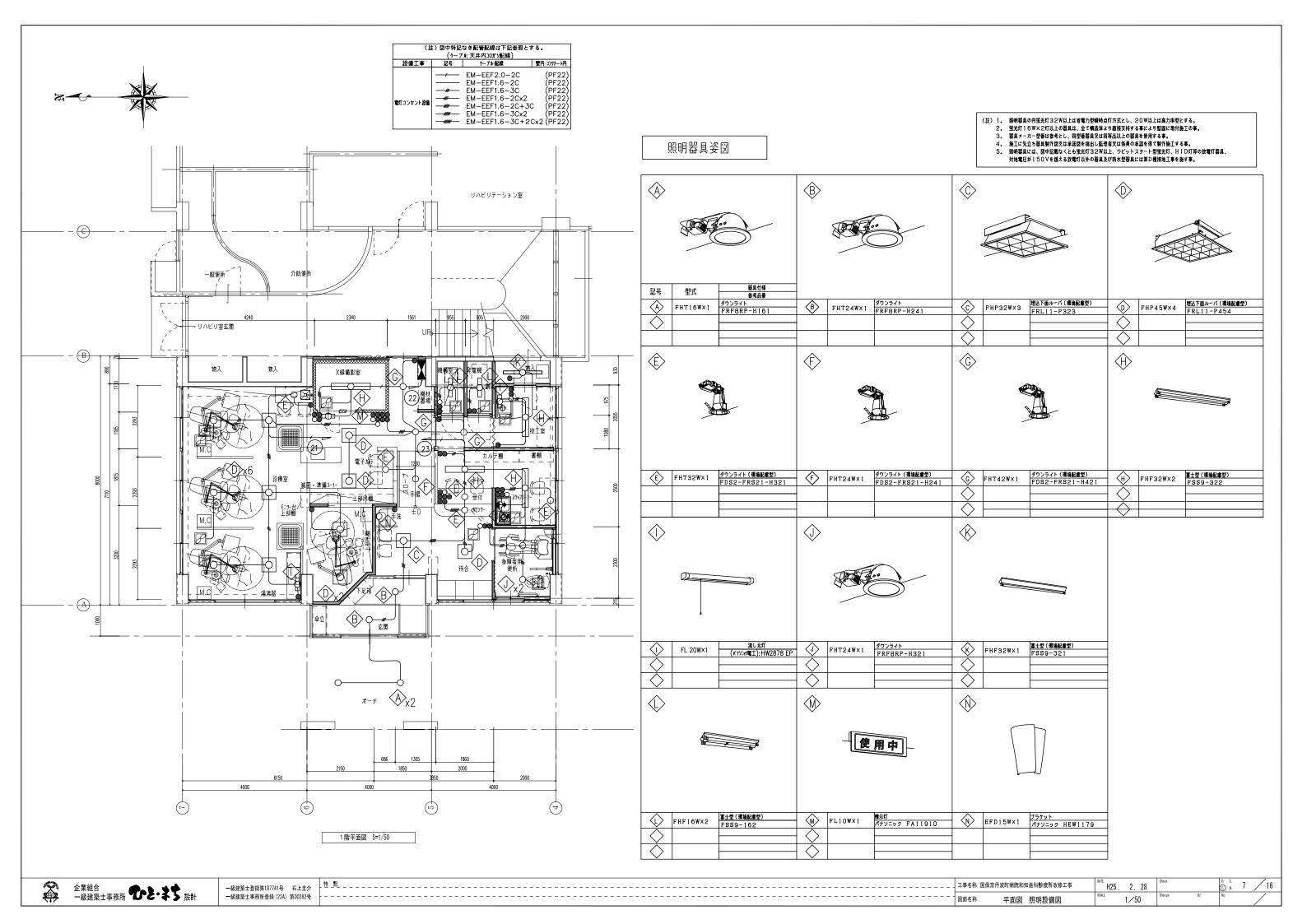
 工事名称
 国保京丹波町病院和知歯科診療所改修工事
 Mart H25 2 28
 Oheck

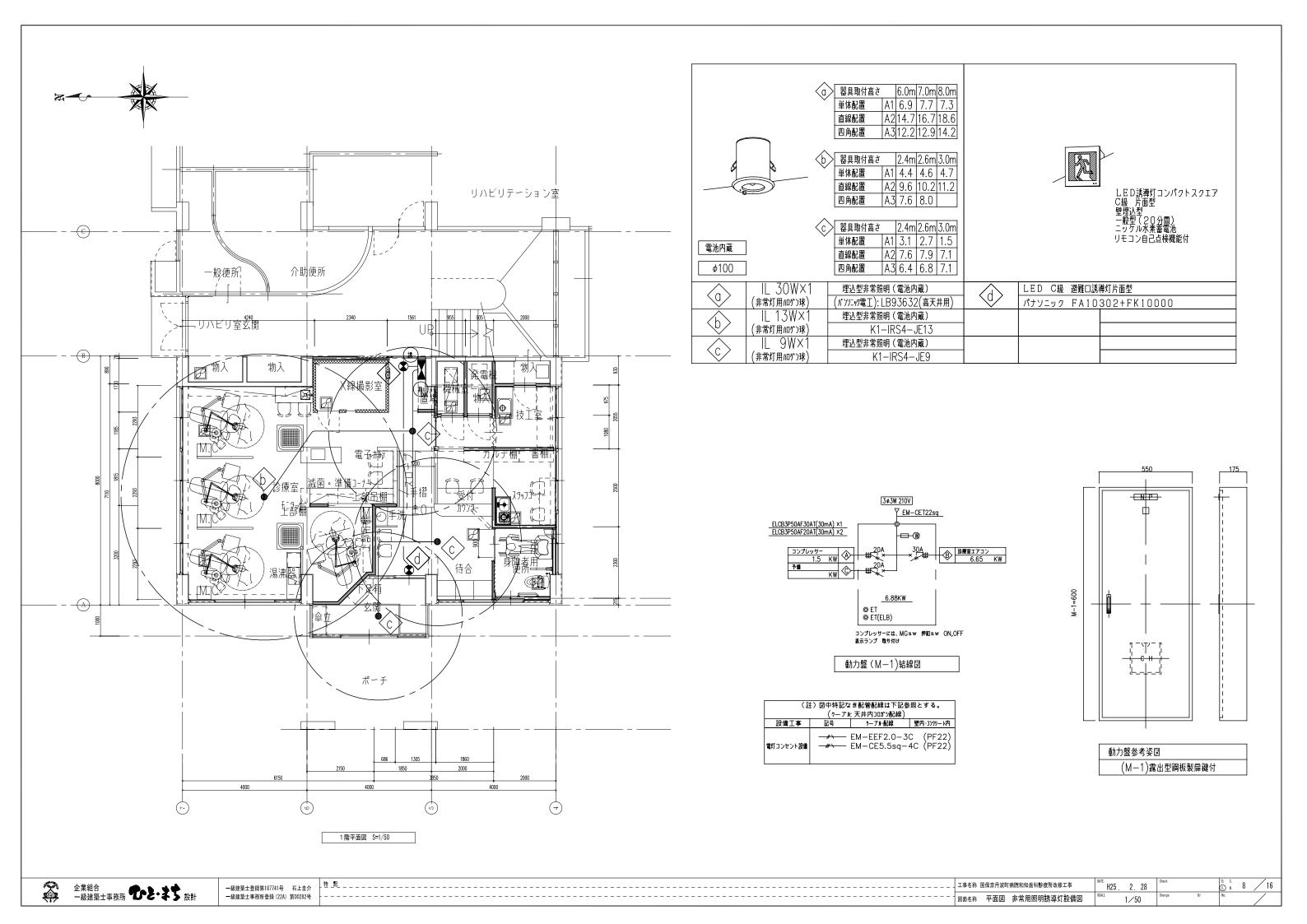
 図面名称
 平面図
 幹線コンセント設備図
 SSAL 1/100
 Turgs
 Pr

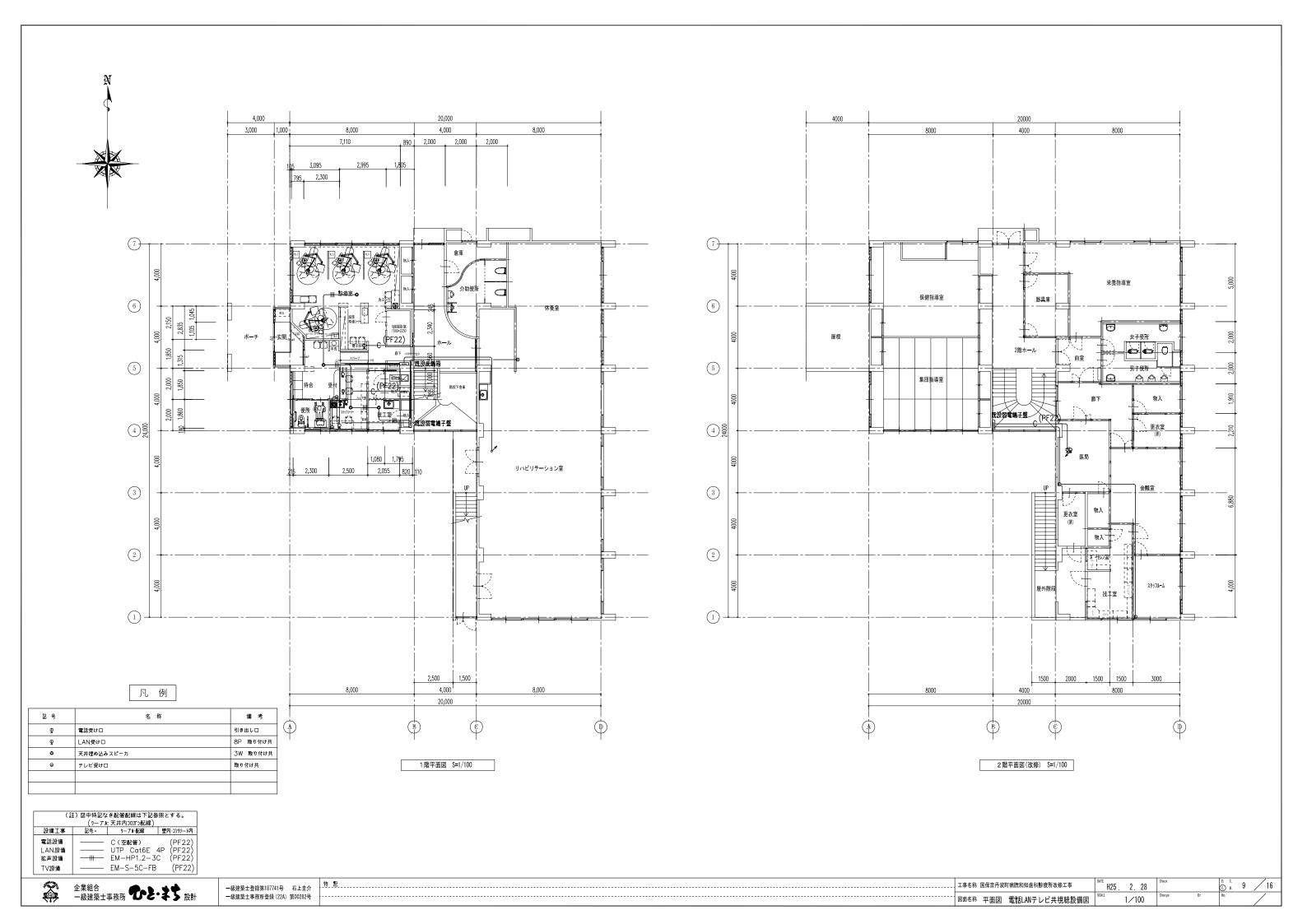


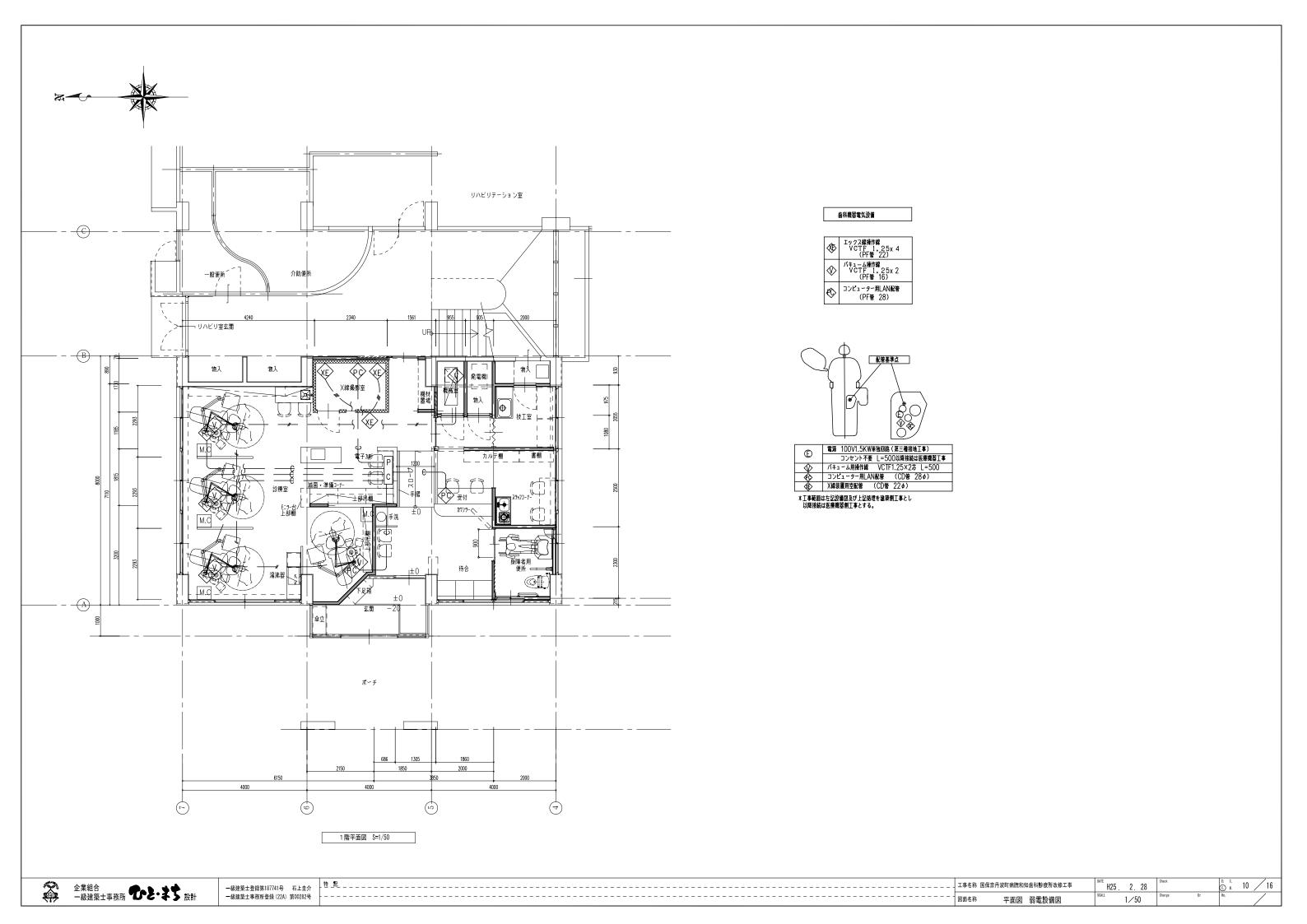


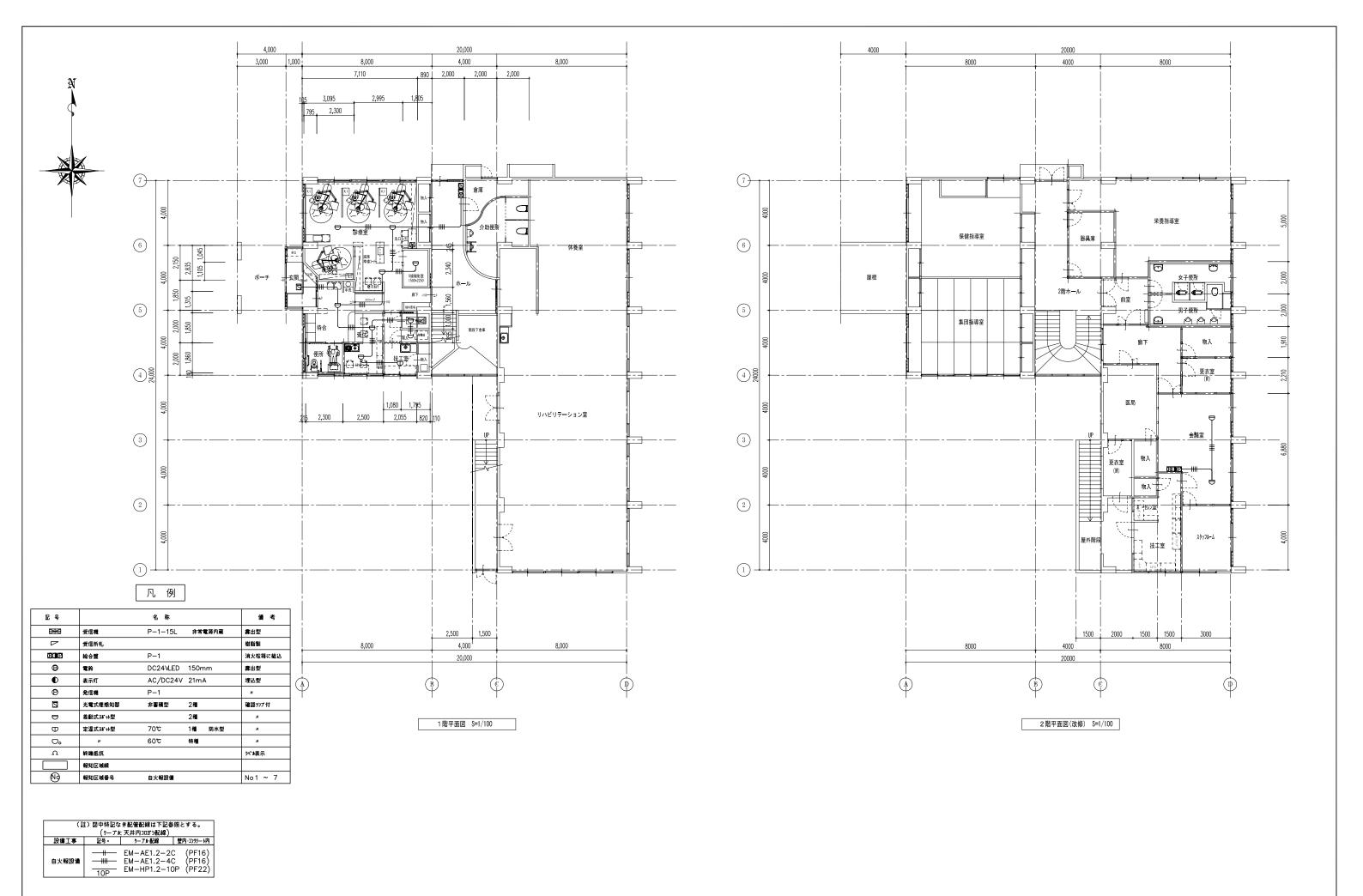




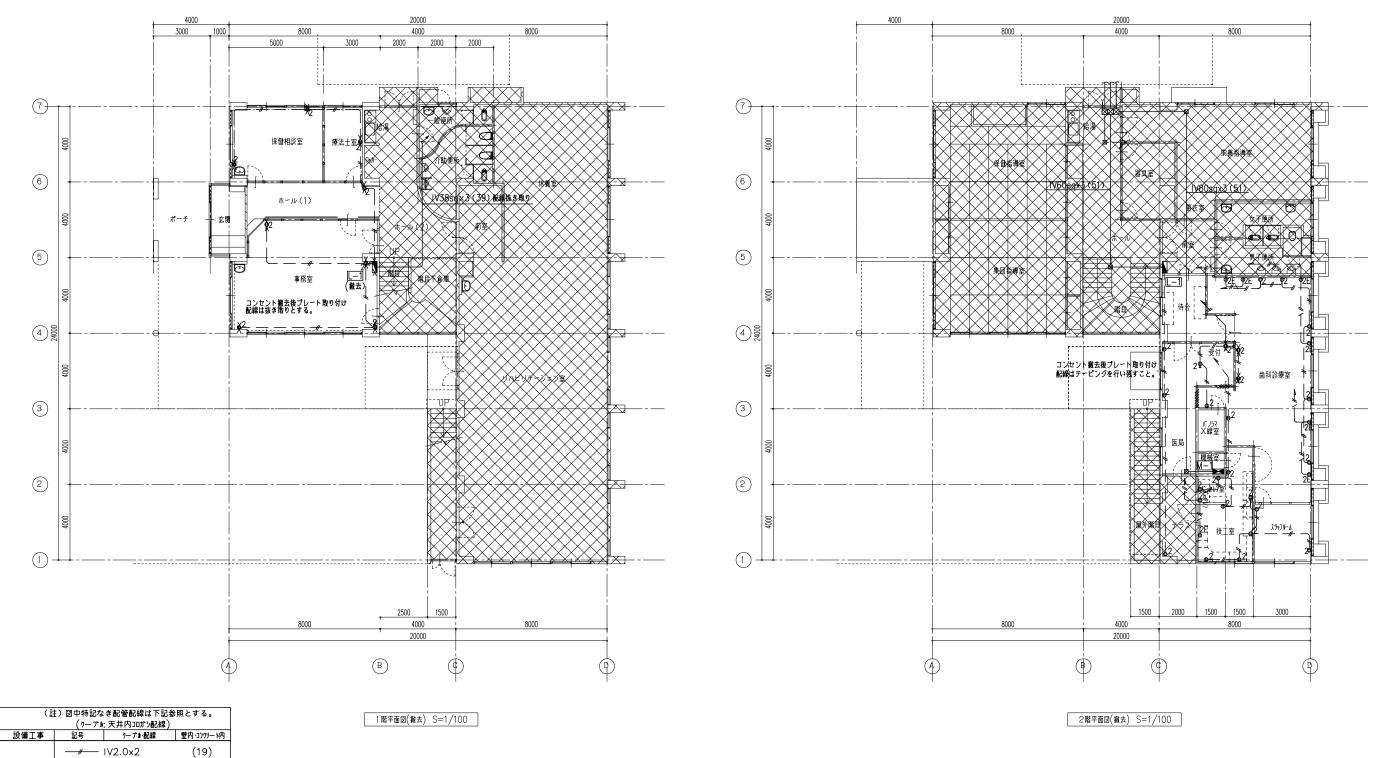








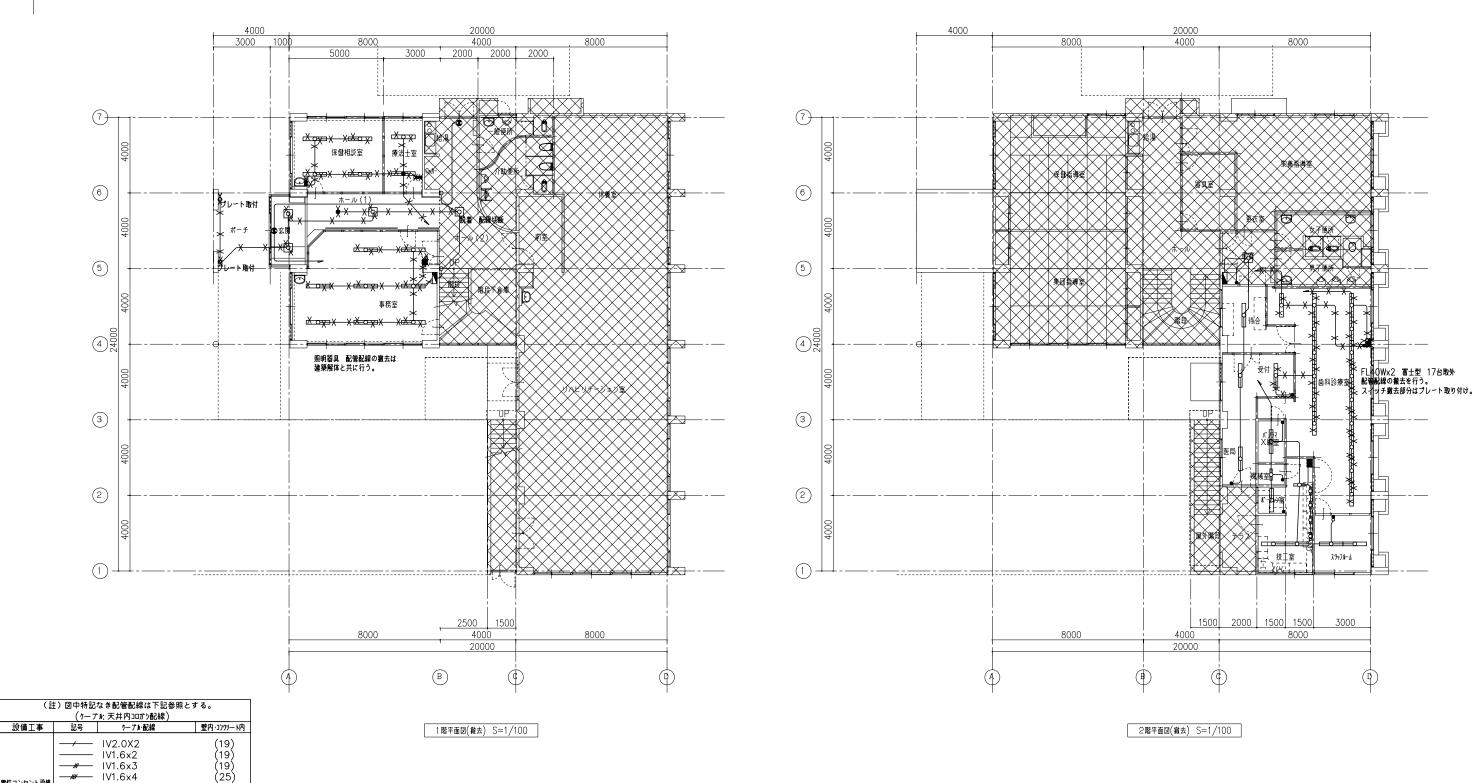




— 既設部分を示す。

12 / 16 工事名称 国保京丹波町病院和知歯科診療所改修工事 企業組合 一級建築士事務所 でと・まち 設計 一級建築士登録第187741号 石上圭介 一級建築士事務所登録(22A) 第00282号 図面名称 電灯動力幹線コンセント設備図 (撤去)





電灯コンセント設備

企業組合 一級建築士事務所 **でと・ます** 設計

既設部分を示す。

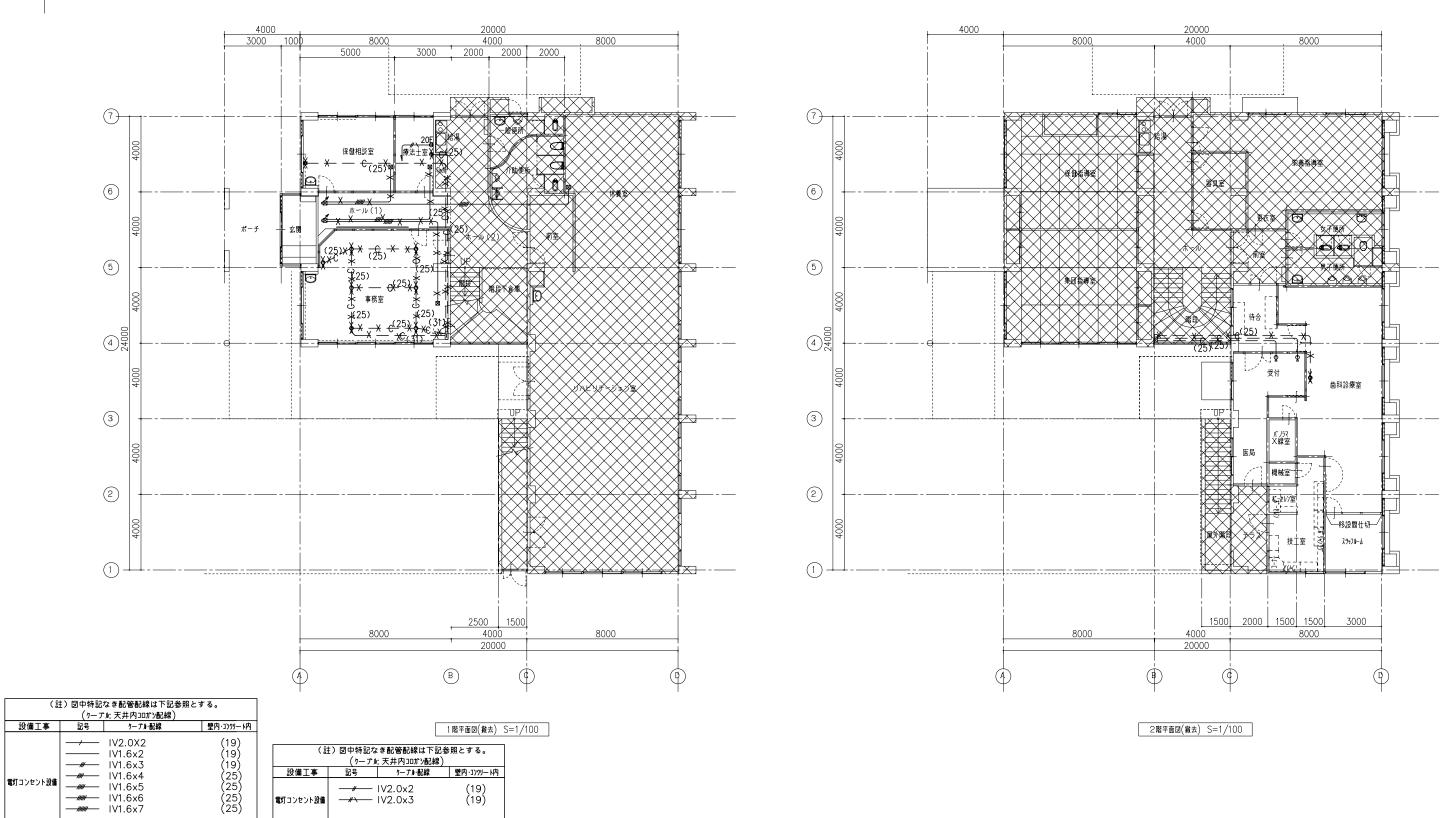
> 一級建築士登録第187741号 石上圭介 一級建築士事務所登録(22A) 第00282号

工事名称 国保京丹波町病院和知歯科診療所改修工事 照明設備図 (撤去)

13 / 16

H25 . 2 . 28





設備工事

企業組合 一級建築士事務所 **でと・ます** 設計

既設部分を示す。 ★ 撤去部分を示す。

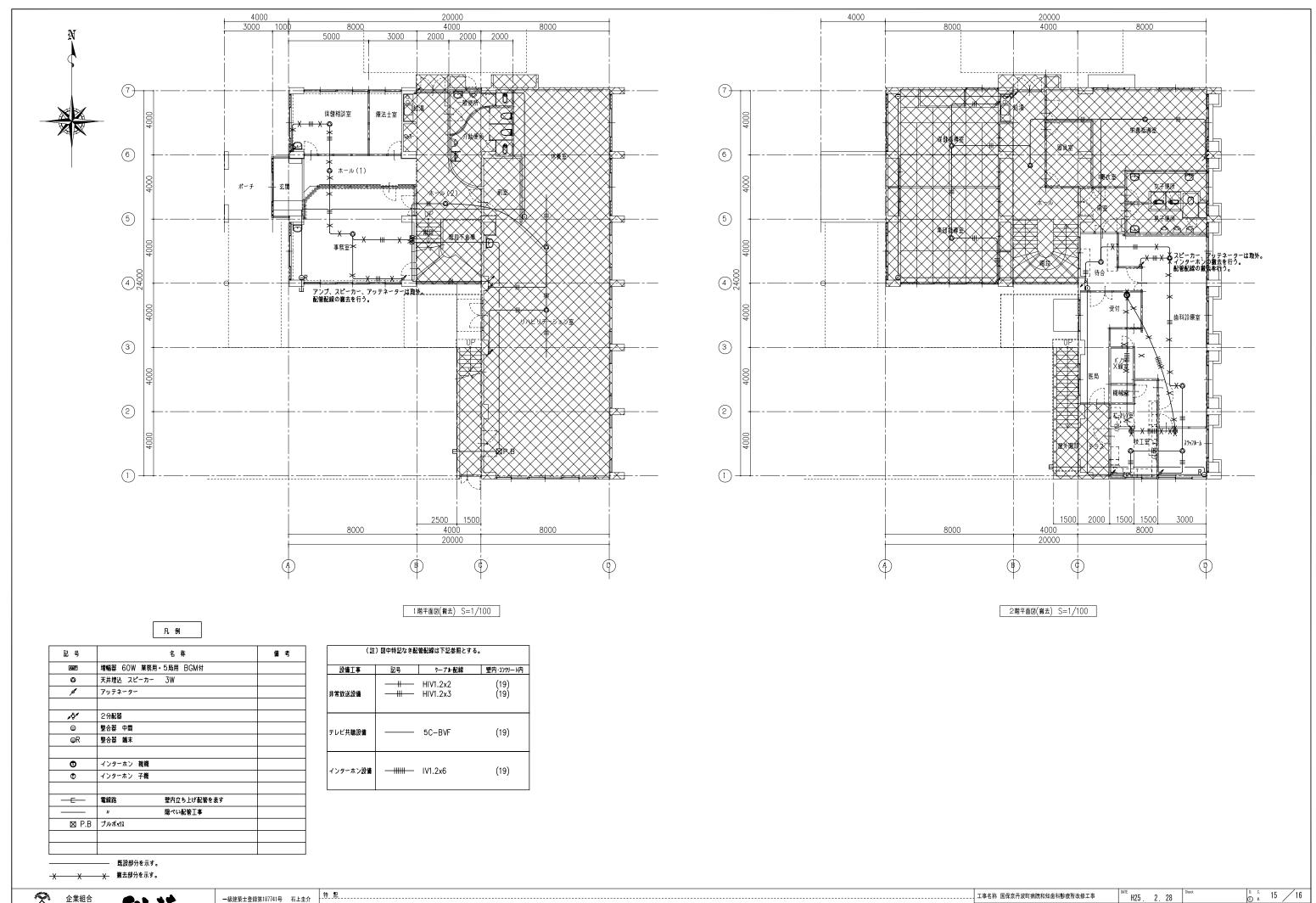
> 一級建築士登録第187741号 石上圭介 一級建築士事務所登録(22A) 第00282号

--#-- IV2.0x2

電灯コンセント設備 /// IV2.0×3

(19) (19)

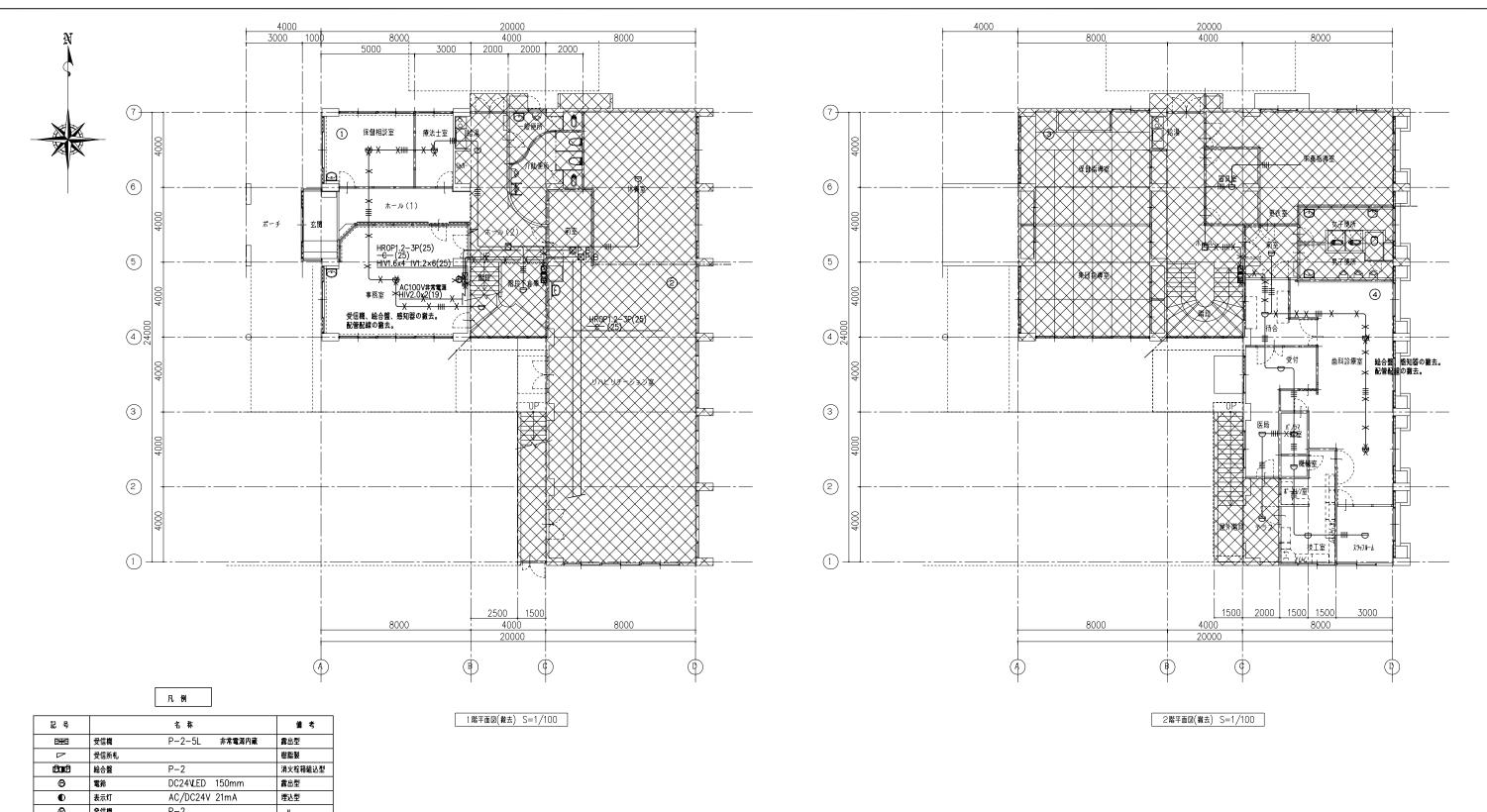
D. C. 14 / 16 工事名称 国保京丹波町病院和知歯科診療所改修工事 動力電話設備図(撤去)



企業組合 一級建築士事務所 **そっと・まち** 設計

一級建築士登録第187741号 石上圭介 一級建築士事務所登録(22A) 第00282号

工事名称 国保京丹波町病院和知歯科診療所改修工事 H25 . 2 . 28 図面名称 拡声テレビ共視聴インターホン設備図 (撤去)



'				"" -
≥ €	受信機	P-2-5L	非常電源内蔵	露出型
	受信所札			樹脂製
(BONG)	総合盤	P-2		消火栓箱組込型
В	電鈴	DC24VLED	150mm	露出型
•	表示灯	AC/DC24	V 21mA	埋込型
Ð	発信機	P-2		JJ
[2]	光電式煙感知器	非蓄積型	2種	確認ランプ付
₽	差動式スポット型		2種	,,
Φ	定温式スポット型	70℃	1種 防水型	,,
□.	JJ	60℃	特種	n
Ω	終端抵抗			ラベル表示
	報知区域線			
₩	報知区域番号	自火報設備		No1 ~ 4
	電線路	壁内立ち上げ	配管を表す	
	JJ	隠ぺい配管工	事	
⊠ P.B	プルボックス			

(註)図中特記なき配	管配線は下記参照とする。	
設備工事	記号	ケーナル配線	壁内・コンツリート内
自火報設備		IV1.2x2 IV1.2x4	(19) (19)

既設部分を示す。

企業組合 一級建築士事務所 でと・まち 設計

一級建築士登録第187741号 石上圭介 一級建築士事務所登録(22A) 第00282号

© 16 16 工事名称 国保京丹波町病院和知歯科診療所改修工事 H25 . 2 . 28 自動火災報知設備図(撤去) 1/100

機械設備工事特記仕様書

1 工事場所 2 建物概要	京都府船井郡和	知町学本庄	小字今福						
建物名	構	造	階	数	延床面積(m²)	消防法令别	表第一	備	考
診療所	R	С	地上 2	2階	743.6	(6)	項イ		
3 工事科目					●印をつい	たものを適	用し、各一:	式とする。	
工事科目	建物名称	1	改修						
空気調和設備			● 各-	-式	0			0	

工事科目		●印をついた	- ものを適用し、各一式とする。
建物名 称 工事科目	改修		
空気調和設備	● 各一式	0	0
換気設備	● 各一式	0	0
排煙設備	0	0	0
自動制御設備	0	0	0
衛生器具設備	各一式	0	0
給水設備	● 各一式	0	0
排水設備	各一式	0	0
給湯設備	● 各一式	0	0
消火設備	● 各一式	0	0
ガス設備	● 各一式	0	0
厨房機器設備	0	0	0
浄化槽設備	0	0	0
医療ガス設備	● 各一式	0	0
	0	0	0
撤去工事	● 各一式	0	0

工事制) 平成二十二年版 (以下 (標準刷) という。) 及び (公共建業改修工事標準任務書、機能処備工事報) キューニーを見 による。

2) 工事経費に電影機工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。

2) 刊志事項 現日及び特定事項は、●印をついたものを本工事に適用する。ただし、●印のない場合は、※印を適用する。

車 現 日 起 選 項

●設備域付等 本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するものまたは、これらと呼 特 記 事 項

本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するものまたは、これらと同等のものとす 6.
ただし、これらと同等のものとする場合は、監管機長の承諾を受ける。
また、(グ) 印は「原港南庁グリーン構造方針・」(以下、「グリーン構造」という。)
内を提致高品目をよった。
◆原都市一上ページ参照 ○1は」//ws pref kyoto. jp/23 fach/kankyo ktali)

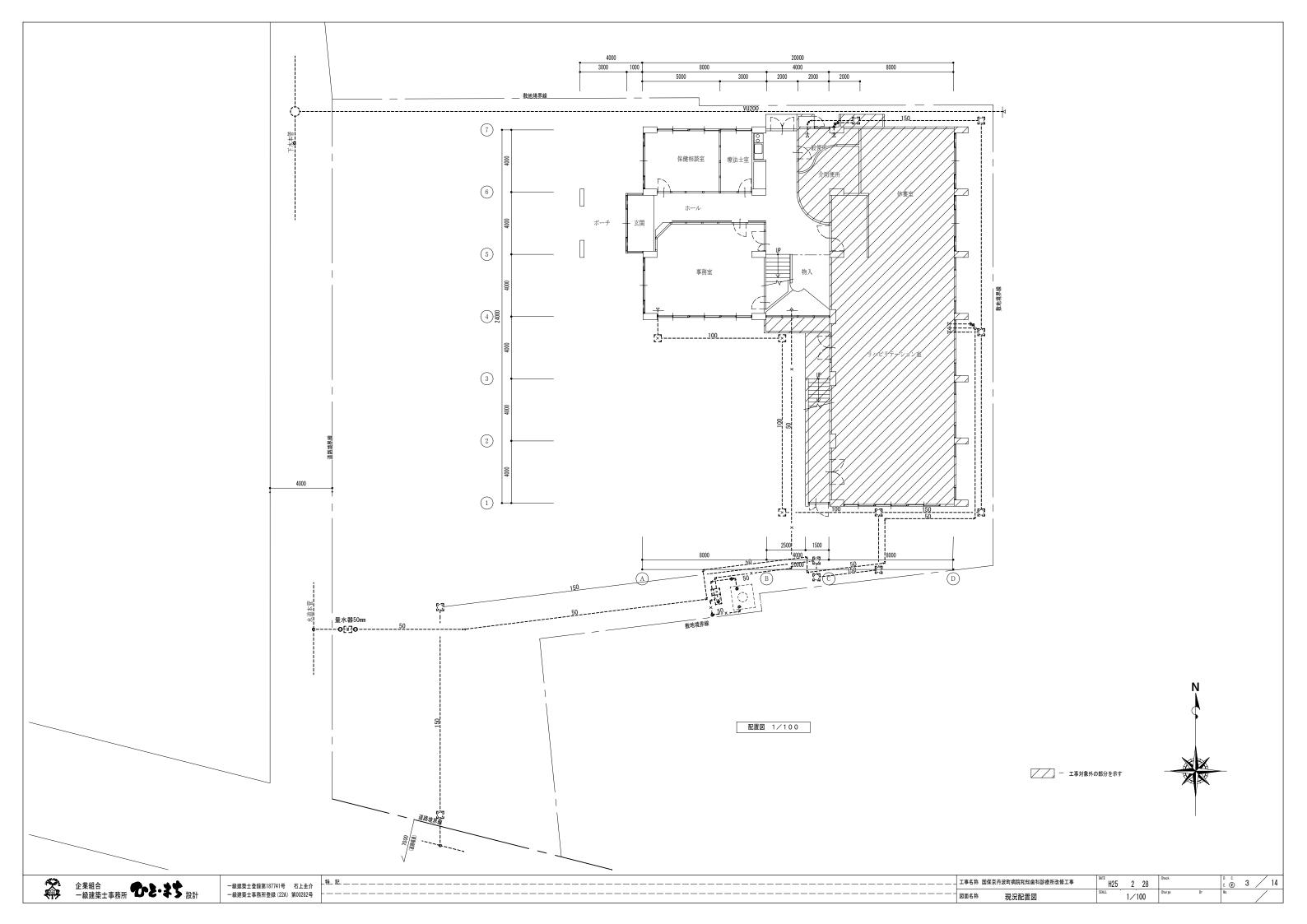
本版初の表形に思いては、原則として版上交通者大臣官庁が直接修正接接機構を確定監 ●機材の承諾 吸ががからいませた。 (中代 19年後) 上さらのとす。 使用する場が、(対) 公共開発協会が行う、関係など、では、19年後 提供する場が、(対) 公共開発協会が行う、関係な材・設備機材等高質性設計事事業 機構が特別を指すで減2年間)」とる場合は、所需の多3ともつて、標準仕格響が、 編第1第3年間1.4.2 (c) の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を告請 することができる。 ●機材の品質 ・性能証明 ●グリーン調達適合品 の確認 ●現場代理人 ○電気保安技術者 ○技能士 (一級) k工事に必要な工事用電力・水などの費用は、引き渡し時まですべて請負者の負担とする。 ●工事用電力・水その 官公署等への手続きは速やかに行い、それに要する費用は、すべて請負者の負担とする。 構用につくることが ※できる ○できない 別別数の服备者・請負者が定置したものは、無限で使用できる。 ※整置しない ○処置する ○公本工事 ○別途) 下形の図書を監督職員事務所に備え付ける。 ●官公署への手続き ●工事用仮設物 ●足場・さん橋類 ●監督職員事務所 ○監督職員事務所 に備え付ける図書 ●建設副産物の処理 及び建設発生土の処理 ●再生業選利用促進 計画書等の作成・提出 提記機能性において、発生量の多少に係わらず、再生資源利用 促進計画書 (兼設副係物対数反策地方連格協議会) について、施 工計画器に含むて提出する また、実施については再く提高利用促進施業として提出する。
 1)「建設発生土処理計画者」及び「施設副後等等必要請する」を包管機能は対する。 関係法令等に従い、適正に廃棄物等を処理し、「建設発生土処理報告書」及び「建設副産物処理報告書」及び「建設副産物処理報告書」により監督職員に報告する。 ※非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針」に従いあらかじめ 処理計画書を作成し、適切に解体処分等を行うこと。 処理方法 楊工事契約関係書類提出書類書式集*一覧表により提出。 ●丁車閉伝書籍 京都府木-IAページ 参照 (http://www.pref.kyoto.jp/eizen/index.html) 報 ※2部 〇3部 毎月末に〆め、翌月の5日までに提出する。 ●履行報告) 建設大臣官房官庁営経部監修「工事写真の繰り方(改訂2版) 一建築投機編一」による。) 工事完成時、整理の上、1部提出する。) デジタルカメラで援撃可とする。 内 容 ●工事写真 ●完成図書 大きさ 部 数 A 4版 1 部 2 部 A 4版 2 部 内 容
金文字製本
● 育貼り製本 (A 2 版) ○ A 4 ファイル止め
● 育貼り製本 (A 2 版) ○ C A 4 ファイル止め
場際数寸図 ○ C A 4 ファイル止め
現寄継ぎ図 ファイル止め
現守指導案内書 (機器取扱書を含む) | 1本T14等条内容 (機器収収器を含む) 機器性能試験成積書・保証書・施工の試験成積書 | ●諸官庁提出書類 | | 本 | ●原図 | 完成図・施工図 ●完成写真 アルバム機り 電子納品については、現場股明書による。 当該建物において取得する、施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に委 ●著作権等 ●付属品及び予備品 ●約会額終 提出) ●耐震施工 上層階、屋上及び塔屋 中間階 1階及び地下階 1 () 内の敷値は、防震支持の機器の場合に適用する。 2 設計用料高電震技は、設計用料平電度の1/2とする。 3 上層階の支着は、6階建以下の急往は最上限、7~9階度の場合は上階2階。 4 重要機器 (水槽質)は、下記に示すものとする。(水槽類にはオイルタンク等を含む。) 【 標準仕様書第2編2.2.1(1)~(12)によるほか、下記による。 1)水道直結節及び関画特記部の耐圧はJIS又はJV10K、その他はJIS又はJV5K とする。 ●一般用弁 こ・・。 2) 給水・絡湯用の青銅製弁は、給水用青銅弁を使用する。 機器廻りに取付けるフレキシブルジョイントは、銅板に対してはベローズ形、FRPに対し 機器廻りに取付けるフレキシ では合成ゴム製とする。 鋼管用伸縮管継手は下記による。 ※ベローズ形 Oスリ・

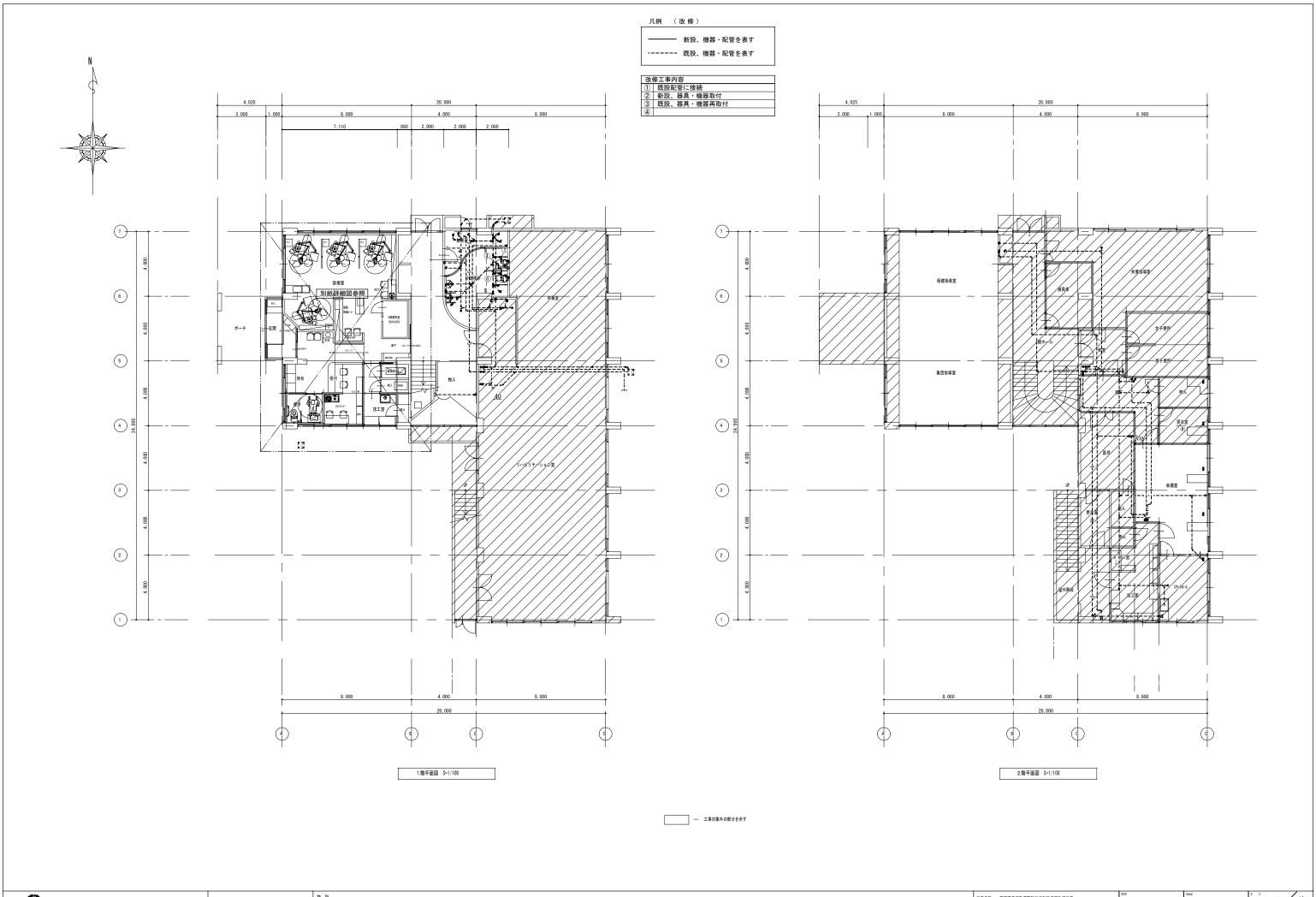
章	項 目 ○溶接接合	特 記 事 項
#	○溶技技苗	溶接部の非破壊検査は、 ※適用しない の適用する(〇放射線透過検査 〇浸透深傷検査又は磁粉深傷検査)
ж	●地中埋設標及び	1)給 水 管 地中埋設標(※要 〇不要) 埋設表示用テーブ(※要 〇不要)
	埋設表示用テーブ	2) 消 火 管 地中埋設橋(※要 〇不要) 埋設表示用テーブ(※要 〇不要) 3) ガ ス 管 地中埋設橋(※要 〇不要) 埋設表示用テーブ(※要 〇不要)
		4)油 管 地中埋設橋(※要 O不要) 埋設表示用テーブ(※要 O不要) 5)ブライン管 地中埋設橋(※要 O不要) 埋設表示用テーブ(※要 O不要)
	○防食処理	用途表示のあるテーブ(幅は150mm以上)で、2倍長以上重ね合わせで使用する。 土中埋設の排水用塩ビライニング鋼管は、防食処置を行う。
	●保温	1) 保温材の使用は、下記による。 給水管・排水管 ※ポリスチレンフォーム保温材 〇
		総水管・排水管 ※ボリスチレンフォーム保温材 〇 排煙ダクト・煙道、排気筒 ※ロックウール保温材 〇 その他 ※グラスケール保温材 〇
		2) 膨張管及び膨張水槽からの補給水管の保温は、冷温水管に準ずる。
		3) 保温を施す膨張水槽等の蓋の保温 ※必要 〇不要 4) 空気抜管の保温厚は20mmとし、仕様は当該配管の項に準ずる。また、保温を行う範囲
		は空気抜弁までとする。 5) 露出配管の保温外装種別は、下記による。
通		・屋内 ※合成樹脂カバー ○ ・屋外 ※ステンレス鋼板 ○
		6) 弁、ストレーナ等の金属製カバー外装種別は、下記による。 ・屋内 ※カラー亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板 ○
		・屋外 ○カラー亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板 ○ 7) 車庫内のダクト及び配管の保温は、機械室による。
		8) 合成樹脂製支持受 ※硬質ウレタンフォームに準ずるもの 〇ビーズ法ポリスチレンフォームに準ずるもの
	●塗装○エボキシ樹脂コーティ	機械室・電気室内の塗装は ※行う ○行わない エポキシ樹脂コーティング及びライニングの乾燥方法は下記による。
	ング及びライニング ●ボックス	※加熱乾燥 〇常温乾燥 PF管で配管する場合は、樹脂製ポックスを使用する。
	●容量等の表示	機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。ただし、電動機の出力、燃料消費量及び 圧力損失は、表示された数値以下とする。
	Oはつり	1) 既存のコンクリート床・壁等の配管資通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを 使用する。
	ONE PLANT	2) 復旧はモルタル補修までとする。
事	〇防煙ダンパー及び 防火防煙ダンパー	〇手動復帰式
	〇消音内貼	ダクト及びチャンパー、清音エルボの内貼り (箇所図示) は下記による。 ・消音内貼り節分の外部保温は ※不要 〇必要
	1	・チャンバーの寸法は、外形寸法を示す。 (ただし、ダクト及び消音エルポは、内形寸法を示す。)
	〇ドレン抜き	・ 点検口は内貼り仕様又は断熱戸とする。 外壁に面するガラリに直接取付けるチャンパー類に必要に応じ設ける。
	○取付枠●機器の基礎	防火区画部に取付ける吹出口、吸込口等で取付枠を必要とするものは鋼枠を使用する。 アンカーボルト及びナットは、下配による。
	1	・屋外、多湿室等 (※溶融亜鉛メッキ ●SUS) ・その他 (※一般品 ○)
	〇防火区画	●機器側の材質がSUS製の場合は、SUS製とする。 ○平画階 ○図示 ○
	〇掲示板 〇天井仕上区分	機械室に操作順序、注意事項、連絡先及び系統図などを画いた掲示板を設ける。 () 書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
	〇給油設備	地下オイルタンク O設ける O設けない 遠隔油量指示計 O設ける O設けない
項	1	オイルサービスタンク 油面計 ※ゲージ式 〇ガラス管式 油面制御装置の機能は下配による。
	1	○給油ポンプの起動、停止制御用○返油ポンプの起動、停止制御用
		○滿油警報 ○連隔警報 (○減油 ○滿減油)
		油管(露出、トラフ内) ※配管用炭素銅鋼管(黒) 〇 油管(地中) ※ポリエチレン被覆鋼管 〇
	○建物導入部配管 (排気及び通気を除く)	○標準図 施工 4 (a) (フレキンブルジョイントを使用) ○標準図 施工 5 (b) (ボールジョイントを使用)
	(併気及び通気を除く)	○標準図 施工5(c) (スリーウッシュンを使用) 歴外部分 (溶融亜鉛めっき(※2種35 ○2種50)
	●主方式	
		○ 立定気が式 (〇中央 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	●主要熱源機器	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	シュスの存取値	○水高数ユニット ○海水完生機 ○コーシェイレーション装置 ○水高数ユニット ○冷凍機 () ●ルームエアコン
	設計時の温湿度条件	慶 (
		# 所
gh	1	李 期 0.3℃ 54.6% 19.0℃ 40.0% ℃ 96 夏 期 35.8℃ 49.5% 28.0℃ 50.0% ℃ 96
空	〇長方形ダクトの工法	数
	○ダクトの分岐方法	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	●配管材料 (図面特記部分は除く)	O割込み工法 O匿刊行工法 冷温水管 ※配管用炭素鋼管(白) 冷却水管 ※配管用炭素鋼管(白)
気	(阿W付配即ガは除く)	〇塩ピライニング鋼管 (SGP-VA、SGP-FVA)
-	1	○ 空調用排水管 ※配管用炭素鋼管 (白) (〇ねじ接合 OMDジョイントによる接合)
	1	○水配管用亜鉛めっき鋼管 ●硬質ボリ塩化ビニル管 (V P)
	1	蒸気配管 給気管 ※配管用炭素鋼管(黒) 〇 週 管 ※圧力配管用炭素鋼管(黒) ○
調	1	補給水管
	1	エア抜き管 ※配管用炭素鋼管 (白) O 冷媒管 ●断熱材被覆鋼管
	〇温度計	●パッケージ形空気調和機の2次側電気配管配線の仕様は製造者の標準仕様とする。※工業用バイメタル式温度計
	〇定風量ユニット	〇ガラス製棒状温度計 〇ガラス製二重管温度計 〇メカニカルタイプ
和	変風量ユニット 〇ファンコイルユニット	○風速センサータイプ (○ブロペラ形センサー ○熱線センサー) 風量分配ダクトは ○亜鉛鉄板製 ○自己消火性のポリスチレンフォームなど
	hセット形ファンコイルユニット 〇パーナー制御方式	○オン・オフ制御 ○ハイ・ロー制御 ○比例制御
	○電動機盤 ○排熱投入形再生器	〇進相コンデンサー (〇要 ※不要) 直だき吸収冷温水機に(〇要する。 ※不要である。)
19	○高温再生器の構造 ○コージ エネルーション装置	※図面による。 発電方式
e.R.	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
		熟回収装置 ○温水熱交換機 ○排ガスポイラー ○排ガス熱交換機 ○熱回収用ポンプ ○その他
	○銅板製煙道	○勢回収用ポンプ ○その他 その他装置等 ○指揮代集制即装置 ○冷却塔(放熟用) ○ 厚さ ※3.2 mm Ø4.5 mm
	○顕板製煙道○ばい煙濃度計	
備		○熱回収用ポンプ ○その他 その他装置等 ○外報付属判例装置 ○外報信 (放熱用) ○ 厚き ※3、2 mm ○ 4.5 mm ○数けない ○数ける(電源はポイラー制御盤より取出し、配管配線共本工事に含む) ※ファン村 ○ファンなし ○間定形 個
備	○ばい煙濃度計○瞬間流量計●保温	○ 然前度用ポンプ ○ その他 その他裁章 ○ の機能は無対策量 ○ 介ա等 (放射用) ○ 漢を ※3 2 mm ○ 4 5 mm ○ 日曜 1 年 ○ 日曜 1
備	○ばい煙濃度計○瞬間流量計	○熱胞皮用ポンプ ○4-0他 その他装置等 ○ 砂糖剤(減削砂装置 ○ 冷却塔 (放熱用) ○
備	○ばい煙濃度計○瞬間流量計●保温	○ の熱態度用ポンプ ○ 2 ← 2 へを他
備	○ばい煙濃度計○瞬間流量計●保温	○ の熱田東田ポンプ ○ 全へ他 ○ での機 ○ での機 ○ の機 ○ での機 ○ の場前を開始を置 ○ の場前を開始を ○ の場前を開始を ○ の場前を ○ の場前を ○ の場前を ○ の場前を ○ のます。 ○ のまず。 ○ のまず。 ○ のまず。 ○ のきまず。 ○ のきまず、 ○ のきまず。 ○ のきまず、 ○ のきまず。 ○ のきまず、 ○ のきますが、 ○ のきまず、 ○ のきまず、 ○ のきまず、 ○ のきまず、 ○ のきまず、 ○ のきまず、 ○ のき
備	○ばい煙濃度計○瞬間流量計●保温	○ の熱態度用ポンプ ○ C + O 他 ○ での機工機可能を関係 ○ 介部等 (数数用) ○ 原定 ※3.2 mm ○ 4.5 mm ○ (数数用) ○ の設ける (電産はポイラー制御盤より取出し、配管配線共本工事に含む) ※ファン村 ○ ファンは ● (電産はポイラー制御盤より取出し、配管配線共本工事に含む) ※ファン村 ○ ファンは ● (本体 個) ○ 計算等の理形
備	○はい煙濃度計 ○時間流量計 ●煙温 (図画神記部分は除く)	○熱感型用化ンプ ○その他
備	○ばい煙濃度計○瞬間流量計●保温	○ の熱密型用ポンプ ○ C + O 他 ・ C や 機 で
備	○ばい煙濃度計 ○瞬間流量計 ●便温 (図画神記部分は除く) ●ダクトの工法	○
換	○ばい煙濃度計 ○瞬間流量計 ●便温 (図画特記部分は除く) ●ダクトの工法	○ の熱態度用ポンプ ○ C + O 他
換気	○ばい煙濃度計 ○瞬間流量計 ●便温 (図画神記部分は除く) ●ダクトの工法	○ の無限度用ポンプ ○ C + O 他 ○ 中の性 と で で と で で で で で で で で で で で で で で で
換	○ばい煙濃度計 ○時間流量計 ●便温 (図画特記部分は除く) ●ダクトの工法	○ の熱問度用ポンプ ○ ₹-0他 他
換気	○ばい煙濃度計 ○時間流量計 ●便温 (図画特記部分は除く) ●ダクトの工法	○ 公島田原用化ンプ ○ 2-0他
換気設	○ばい煙濃度計 ○時間流量計 ●便温 (図画特記部分は除く) ●ダクトの工法	○ 公務回産用ポンプ ○ 2-00億

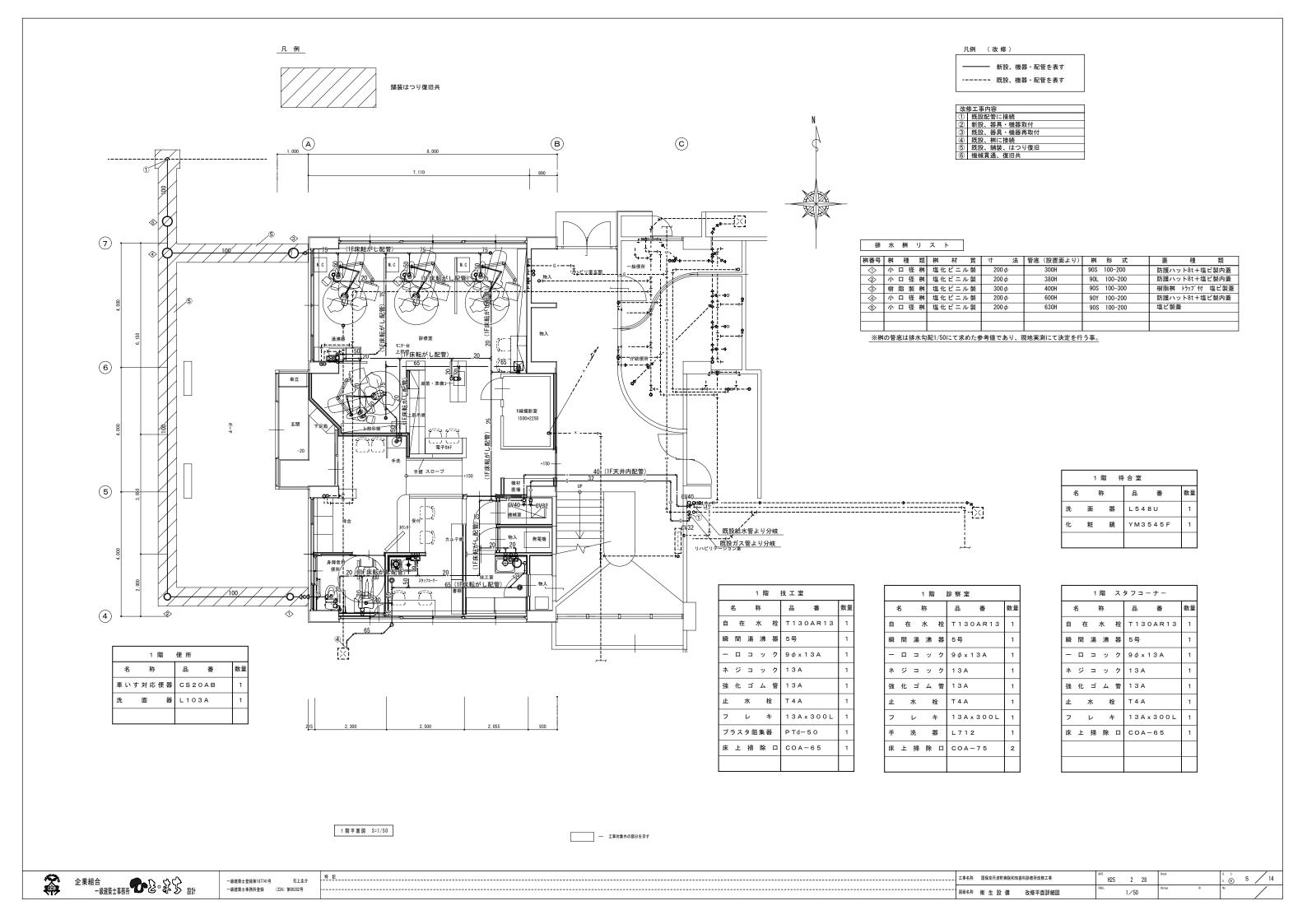
章	項目 O排気フード	1) 推気7-1 の補強	特 支持金額	記 事 項 物・接合剤等は、亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、
	0	材質は下記による		
換		※ステンレス! 2)排気7-ド廻りにI		8共) ○亜鉛鉄板 1-板は、上記7−1・と同材質とする。
気		※本工事	〇別通	金工事
設	●保 温	 3) グリスフィルタ・ ・多湿箇所のダクト 		※不要 ○必要 ※不要 ○必要
備		・外気取り入れダク	トの保温	※不要 ●必要
		・外気取り入れチャー・全熱交換器の外気		
	〇排煙対象部分	〇廊下 〇事		〇図示 〇最大面積 m²
排	〇ダクトの種別	〇高圧 1 ダクト ※アングルフランジ	〇高日	E2971
煙	○ダクトの工法 ○ダクトの材料	※ 正鉛鉄板製	〇普通	重 網板製
10	〇排煙口	1)形 状 2)排煙口の開放ー	Oスリッ O手助	2.h-フェース形 〇パネル形 〇ダンパー形
備	_	2) 排煙口の開放ー		(○機械式 ○電気式) ○煙感知器連動 复帰式(○手動式 ○電気式) ○遠方復帰式
	· ○復選	l		
_	70味温	床下及び暗渠内の保 ※図面による。	i 2	《不要 〇必要 (図示)
設動				
備御				
衛	○小便器用節水装置●自動水栓	電気供給方式は	* A C	
生器	●目期水柱 〇水石けん入れ	電気供給方式は 〇衛生陶器取付形	※AC	
具設備	●身障者用器具	1) 大便器洗浄弁は	※非技	接触式センサーFV Oくつべら式押ボタン
備	〇大便器耐火カバー	2)洗面器の水栓は ※設ける(ビット内)	日期水程と は除く)	こする。 〇設けない
	●給水方式			ノク及び高置タンク ○受水タンク及び加圧ポンプ
	●配管材料	○直結ブースターボ一般配管		レス鋼管 (SUS304)
	(図面特記部分は除く)		(呼び谷	260Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合)
				レ管(HIVP) 分体ライニング鋼管(SGP-PA、SGP-FPA)
			〇塩ビラ	ライニング鋼管(SGP-VA、SGP-FVA)
給		地中配管 [屋内]		ンレス製連結管[電気温水器(建築工事)廻り] ンレス観管(SUS316)
		1012010	(呼び径	至60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合)
				用ポリエチレン 2 層管(5 0 φ以下)(※ 2 種 〇 1 種) レ管(H I V P)
*	1		Oボリギ	分体ライニング鋼管(SGP-PD、SGP-FPD)
	İ	1	O塩ビラ O	ライニング鋼管(SGP-VD、SGP-FVD)
	1	地中配管 [屋外]	Oステン	レス鋼管 (SUS316)
	1		(呼び径	※60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合)
設	1			用ポリエチレン2層管 (50φ以下) (※2種 Ο1種) レ管 (HIVP)
			Oボリギ	分体ライニング鋼管(SGP-PD、SGP-FPD)
			OWE	ライニング鋼管(SGP-VD、SGP-FVD)
備	○水栓柱	〇合成樹脂製	()
		○ステンレス製○人造石とぎ出し製	(60×	< 6 0 × 1 2 0 0 H)
		〇アルミニウム合金!)
	●管の埋設深さ	特記なき場合、水栓 1) 一般敷地	<u>k付け高さ</u> ※30	<u>は約600とする。</u> 00mm O
		2) 構内車両通路	 % 6 0	0 0 mm O
	○加入金・負担金	3) 寒冷地では凍結 〇不要 〇必要(₩度以上と ※別途	とする。 ○本工事)
	〇本管引込工事	※本工事 O別途:	三手	
	●排水方式	汚水・雑排水 [屋内 汚水・雑排水 [屋外		《分流式 〇合流式 ○分流式 ※合流式
		ポンプ排水	C	O有り(〇雑排水 〇汚水 ○浄化槽2次側) ●なし
	●放流式	汚水 雑排水		●直放流下水管 ○し尿浄化槽 ○ ●直放流下水管 ○し尿浄化槽 ○別途桝・側溝
	●配管材料	屋内雑排水管	C	D排水用塩ビライニング鋼管
排	(図面特記部分は除く)			D鋼管(SGPW)(Oねじ接合 OMDジョイントによる接合) Dビニル管(VP)
199			c	ラレール (V F F) 別水 / 二層管 ○
		屋内汚水排水管	9	○メカニカル形排水用鋳鉄管 (※1種管 ○2種管)
			•	●ビニル管(VP)
		通信等		ルベルベーニン・
水		通気管		ががいれることによっています。 ビニル管 (VP) シリサイクル発活三層硬質塩化ビニル管 (RF-VP) 興管 (SGPW) (Oねじ接合 OMDジョイントによる接合)
ж		通気管		DEVINATION DEVINATION DEVINATION DEVINATION DE DE
水				グラバルは、(VP)
		通気管 地中配管 [屋内]		Windows
水設				と
		地中配管[屋内]		
		地中配管 [屋内] 地中配管 [屋外]		ドビール等(VP) O D リサイクル発売三勝程度域化ビニル管(RF-VP) D リサイクル発売三勝程度域化ビニル管(RF-VP) D リサイクル発売三勝程度域化ビニル管(RF-VP) D サイクルニ腺経度(NP) サイクルニ腺経質域化ビニル管(RE-VU) D サイクル上原接質域化ビニル管(RF-VP) D ビニル管(VP) D リサイクル接貨域化ビニル管(RF-VP) D リサイクル接貨域化ビニル管(RE-VU) D リサイクル接貨域化ビニル管(RE-VU) D サイクル接貨域化ビニル管(RE-VU)
設		地中配管[屋内] 地中配管[屋外]	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	NE ― NE (VP) O D
設		地中配管 [屋内] 地中配管 [屋内] 地中配管 [屋外] 瞬音類のポンプアッ (地中配管はSGP する。	CCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCC	NE―D# (VP) OD A NE―D# (VP) OD A NE―D# (VP) OD A NE―D# (VP) OD A NE―D# (VE)
設	● 五水紅旗網手 ● 極性線 (排水・海布)	地中配管 [差内] 地中配管 [差内] 地中配管 [差外] 場管標のポンプアッ (地中配管は S G P する。 ※必要 (優示箇所に)	C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	NE―D# (VP) OD A NE―D# (VP) OD A NE―D# (VP) OD A NE―D# (VP) OD A NE―D# (VE)
設	●煙試験 (排水・通気) ○負担金	地中配管 [壁内] 地中配管 [壁外] 郷管類のポンプアッ(地中配管はSGP する。 ※必要 (図示管所に) ※不要 〇必	C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	NE―D# (VP) OD A NE―D# (VP) OD A NE―D# (VP) OD A NE―D# (VP) OD A NE―D# (VE)
設	●煙試験(排水・通気) ○負担金 ●本管接続工事	地中配管 [選内] 地中配管 [選外] 顕音器のポンプアッ (地中配管はS G P する。 ※必要 (最本箇所に) ※不要 〇必 ※不要 〇の	CCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCC	
設	●煙試験 (排水・通気) ○負担金	地中配管 [整内] 地中配管 [整内] 地中配管 [整外] 一般管照のボンブアッ (地中配管はSGP する。 ※小事 「企 ※不事 「企 ※不事 「企 ※不事 「企 ※不事 「企 ※本工事 「の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	CCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCC	
設備	●煙試験(排水・通気) ○負担金 ●本管接続工事 ●給湯方式	地中配管 [壁内] 地中配管 [壁外] 脚管類のボンブアッ (地中配管は5GP する。 ※名要 (優示箇所に) ※不要 ○必 ※本工事 ○別 の中央式 ●別 公領管 (壁又は床壁)	CCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCC	ドビール等 (VP) O 加米工簡単 O D) リナイクル角地三層環境低化ビル等 (RF-VP) O D) リナイクル角地三層環境低化ビル等 (RF-VP) O Bビール等 (SGPW) (Oはじ接合 OMDジョイントによる接合) Bビール等 (VP) D D) サイクルル型域域化ビルル管 (REP-VU) O D) ビール等 (VU) O D配置は、域ビライニング影管 (SGP-VA, SGP-FVA) SGP-FVD) とし、継手はフランジズはハウジング影響干と ●不要 ●不要 ● 不要
設備	●煙試験(排水・通気) ○負担金 ●本管接続工事 ●給湯方式	地中配管 [壁内] 地中配管 [壁外] 地中配管 [壁外] 瞬管類のボンブアッ (地中配管は5 G P する。 ※不要 ○必 ※本工事 ○別 の中央式 ●別 のステンレス球管 (型又は球管) の別 が関係 (壁叉は球管) の開発性性と呼ばれる	CCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCC	ドビール等 (VP) の
	●煙試験(排水・通気) ○負担金 ●本管接続工事 ●給湯方式	地中配管 [整内] 地中配管 [整内] 地中配管 [整外] 一般中配管は S G P する。 ※必要 (國帝哲師に) ※不要 (②※ ※不要 (②※ ※不要 (②※ ※不要 (②)※ ※ ※ ※ ※ 本工事 (○) ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	○ C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	ルニル等(VP) 加大二階を ○ カナールを油三層硬質塩化ビニル管(RF-VP) ルサイクル発油三層硬質塩化ビニル管(RF-VP) ルサイクル発油三層硬質塩化ビニル管(RF-VP) ルサイカルを担当を (REP-VD) リサイクル機関塩化ビニル管 (REP-VU) リサイクル機関塩化ビニル管 (RF-VV) リサイクルル機関塩化ビニル管 (RF-VV) リサイクルル機関塩化ビニル管 (RF-VV) シリサイクルル機関塩化ビニル管 (RF-VV) とに上管 (VP) シリナイクルルニ機模質塩化ビニル管 (RF-VV) シリナイクルニ機模質塩化ビニル管 (RF-VV) シリナイクルニ機模質塩化ビニル管 (RF-VV) シビニル管 (VV) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	●螺試験(排水・通気) ○負担金 ●本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料	地中配管 [題内] 地中配管 [題内] 地中配管 [題外] 一般管照のボンブアッ (地中配管は S G P する。 ※小手裏 「企会 ※不要 「企会 ※不要 「企会 ※不要 「企会 ※不要 「企会 ※不要 「のの ※本工事 「のの ※本工事 「のよう」 の時点性を観音機 ガスルル海解等	○ C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	第二小章(VP)
	●煙試験(排水・通気) 〇負担金 ●本管接続工事 ●給湯方式 ●配管材料	地中配管 [壁内] 地中配管 [壁内] 地中配管 [壁外] 原管類のボンブアッ (地中配管は5 G P する。 ※不要 ○②・ ※本王事 ○動・ ※不要 ○②・ ※本王事 ○動・ ○の末シレス製薬を ○の末シレス製薬を ○の末シレス製薬を ○の末ンレス製薬を ○のボールス濃漆を ○のボールスポールスポールスポールスポールスポールスポールスポールスポールスポールスポ	□ C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	ドビール等 (VP) の
	●煙試験(排水・通気) ○負担金 ●本管接続工事 ●結湯方式 ●配管材料 ○保温 ● 用火設備の種類	地中配管 [壁内] 地中配管 [壁外] 地中配管 [壁外] 調管類のボンブアッ (地中配管は5 G P する。 ※必要 (優示箇所に) ※不要 ○必・ ※本工事 ○別・ ※本工 ○別・ ※本工事 ○別	CCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCC	ドビール等 (VP) の
	●螺試線(排水·基集) ○負担金 ●本管線技工事 ●給湯方式 ●配管材料 ○保温 ●消火設備の種類 ●表示灯	地中配管 [題内] 地中配管 [題内] 地中配管 [題内] 一地中配管は S G P する。 ※必要 (図声等所に) ※不要 ○必 ※不要 ○必 ※不要 ○の ※不正 ○の ※本工 ○の ※本工 ○の ※本工 ○の ※本工 ○の ※本工 ○の ※本工 ○の の ※本工 ○の ※本工 ○	□ C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	NE ― 19年(VP)
設 備 給湯設備 消	●煙試験(排水・通気) ○負担金 ●本管接続工事 ●結湯方式 ●配管材料 ○保温 ● 用火設備の種類	地中配管 [壁内] 地中配管 [壁外] 地中配管 [壁外] 調管類のボンブアッ (地中配管は5 G P する。 ※必要 (優示箇所に) ※不要 ○必・ ※本工事 ○別・ ※本工 ○別・ ※本工事 ○別	で C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	ドビール等 (VP) の
· 設 備 給湯設備 消火	●螺紋様 (排水・通気) 〇負担金 ●本管線上車 ●輸送力車 ●配管材料 ○保温 ●消火設備の種類 ●表示灯 ●配管材料	地中配管 [壁内] 地中配管 [壁内] 地中配管 [壁外] 原管類のボンブアッ (地中配管は5 G P する。 ※本王 ○②・ ※本王 ○②・ ※本王 ○②・ ※本王 ○○・ ※本王 ○○・ ※本王 ○○・ ※本王 ○○・ ※本王 ○○・ ※本王 ○○・ ※本王 ○○・ ※本王 ○○・ ※本王 ○○・ ※本王 ○○・ ※本王 ○○・ ※本王 ○○・ ※本王 ○○・ ※本王 ○○・ ※本王 ○○・ ※本王 ○○・ ※本王 ○○・ ※本王 ○○・ ※本王 ○○・ ※本王 ○○・ ※本王 ○○・ ※本王 ○○・ ※本王 ○○・ ※本王 ○○・ ※本王 ○○・ ※本王 ○○・	□ C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	ドビール等 (VP) カルエ目等 の
設 備 給湯設備 消	●螺紋様 (排水・通気) 〇負担金 ●本管線上車 ●輸送力車 ●配管材料 ○保温 ●消火設備の種類 ●表示灯 ●配管材料	地中配管 [屋内] 地中配管 [屋内] 地中配管 [屋内] 原管類のボンブアッ (地中配管はSGP する。 ※不要 〇必。 ※本王事 ○別。 ※不要 ○必。 ※本王事 ○別。 ※所管 ②とは東管 ○のステンレス製薬(動) ○の第型付きの解型付きの解型付きの解型付きの解型付きの解型付きの解型付きの解型付きの解		NE 二ル等 (VP)
· 設 備 給湯設備 消火	●螺試線(排水・通気) 〇負担金 ●本管線技工事 ●給湯方式 ●配管材料 ○保温 ●用火穀債の種類 ●表示灯 ●配管材料 ●表示が ●配管材料 (図画特記部分は除く)	地中配管 [題内] 地中配管 [題内] 地中配管 [題外] 一般管理のボンブアッ (地中配管は S G P する。 ※必要 (図声物所に) ※本工事 〇必・ ※不要 ○必・ ※不要 ○必・ ※本工事 ○の動性性にライー ○収温付き被覆速度 クステンレン 解管 (型とリンよ)解答 のステンレン 対解性 のステンレン 対解性 のステンル 2 無理 の表 の 2 無理 の 3 無理 の 4 無理 の 4 無理 の 4 無理 の 5 また の 5	CCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCC	
. 設 備 給湯設備 消火設	●螺試線(排水・通気) 〇負担金 ●本管線技工事 ●給湯方式 ●配管材料 ○保温 ●用火穀債の種類 ●表示灯 ●配管材料 ●表示が ●配管材料 (図画特記部分は除く)	地中配管 [屋内] 地中配管 [屋内] 地中配管 [屋内] 脚管標のボンブアッ (地中配管は S G P する。 ※必要 (図声物所に) ※本工事 〇必・ ※不要 ○必・ ※不要 ○必・ ※不要 ○必・ ※不要 ○必・ ※不要 ○の動性性とライー ○収温付き被覆速度・ クステンレン解管・ のステンレン解管・ のステンレン対解性・ のステンレン対解性・ のステンレン対解性・ の発出付き被覆速度・ のステンレン対解性・ の表述と のステンレン対解性・ 両人用水栓 つる熱が生める ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	CCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCC	
. 設 備 給湯設備 消火設	●螺試線(排水・通気) 〇負担金 ●本管線技工事 ●給湯方式 ●配管材料 ○保温 ●用火穀債の種類 ●表示灯 ●配管材料 ●表示が ●配管材料 (図画特記部分は除く)	地中配管 [屋内] 地中配管 [屋内] 地中配管 [屋内] 勝管類のボンブアッ(地中配管は5 G P する。 ※本要 ○必。※本本事 ○別。※本要 ○のステンレス製工業 ○ 同の収益(セラの事態は1 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	CCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCC	NE 二ル等 (VP)
. 設 備 給湯設備 消火設	●螺試線(排水・通気) 〇負担金 ●本管線技工事 ●給湯方式 ●配管材料 ○保温 ●用火穀債の種類 ●表示灯 ●配管材料 ●表示が ●配管材料 (図画特記部分は除く)	地中配管 [壁内] 地中配管 [壁内] 地中配管 [壁内] 原管類のボンブアッ (地中配管は5 G P する。 ※を要 (原来 箇所に) ※不要 〇シ (原来 0 の	□ CC C C C C C C C C C C C C C C C C C	NE - 1 NE (VP) NE - 1 NE (VP) D) リナイクル売和三層環境性化ビル管 (RF-VP) D) リナイクル売和三層環境性化ビル管 (RF-VP) NE (SG PP) (Ob (NE OM Dジョイントによる接合) NE - 1 NE (VP) D) サイクル通知性化ビル原 (REP-VU) D) サイクル運動性ビール管 (REP-VU) D) サイクル運動性化ビル度 (REP-VU) D) サイクル運動性化ビル度 (REP-VU) D) サイクル運動機関性化ビル管 (RF-VP) NE (VP) D) リナイクル運動機関性ビル度 (REP-VU) NE (NE (NE OM) NE (NE (NE OM) NE (NE (NE OM) D) とこル管 (VU) D) とこル管 (VU) D) とこれ度 (NE OM) NE (NE NE OM) NE (NE O
. 設 備 給湯設備 消火設	●螺試線 (排水・通気) ○負担金 ●本管線技工事 ●総第方式 ・ ●配管材料 ○保温 ・ 消火設備の種類 ・ 通気示灯 ・ ●配管材料 ・ ●根温	地中配管 [壁内] 地中配管 [壁内] 地中配管 [壁内] 原管類のボンブアッ (地中配管は5 G P する。 ※を要 (原来 箇所に) ※不要 〇シ (原来 0 の	□ C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	NE - 1 NE (VP) NE - 1 NE (VP) D) リナイクル売和三層環境性化ビル管 (RF-VP) D) リナイクル売和三層環境性化ビル管 (RF-VP) NE (SG PP) (Ob (NE OM Dジョイントによる接合) NE - 1 NE (VP) D) サイクル通知性化ビル原 (REP-VU) D) サイクル運動性ビール管 (REP-VU) D) サイクル運動性化ビル度 (REP-VU) D) サイクル運動性化ビル度 (REP-VU) D) サイクル運動機関性化ビル管 (RF-VP) NE (VP) D) リナイクル運動機関性ビル度 (REP-VU) NE (NE (NE OM) NE (NE (NE OM) NE (NE (NE OM) D) とこル管 (VU) D) とこル管 (VU) D) とこれ度 (NE OM) NE (NE NE OM) NE (NE O
. 設 備 給湯設備 消火設	●螺試線 (排水・通気) ○負担金 ●本管線技工事 ●総第方式 ・ ●配管材料 ○保温 ・ 消火設備の種類 ・ 通気示灯 ・ ●配管材料 ・ ●根温	地中配管 [題内] 地中配管 [題内] 地中配管 [題内] 一地中配管 [題外] 一地中配管 [題外] 一切の形式 一の必要 一の必要 一の必要 一の必要 一のでは、一のでは、一のでは、一のでは、一のでは、一のでは、一のでは、一のでは、	GCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCC	
. 設 備 給湯設備 消火設	●螺試隊 (排水・運気) ○負担金 ●本管規三事 ●総選力式 ●配管材料 ○保温 ●消火設備の種類 ●表示灯 ●配管材料 (関面特記部分は除く) ●保温 ●ガスの種類	地中配管 [壁内] 地中配管 [壁内] 細管類のポンプアッ (地中配管は5GP する。 (場中配管は5GP する。) ※不要 (図示答所に) (場下紙 できまから) ※不要 (図示答所に) (のよう) (GCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCC	NE - 1 N
. 設 備 給湯設備 消 火 設 備 ガ	●螺紋様 (排水・通気) ○負担金 ●本管検送工事 ●総選方式 ●配管材料 ○保温 ●清火設備の種類 ●表示灯 ●配管材料 (関面特記部分は除く) ●保温 ●ガスの種類 のガスメーター ●配管材料	地中配管 [題内] 地中配管 [題内] 地中配管 [題内] 一地中配管 [題外] 一地中配管 [題外] 一切の形式 一の必要 一の必要 一の必要 一の必要 一のでは、一のでは、一のでは、一のでは、一のでは、一のでは、一のでは、一のでは、	で	NE 二ル等 (VP)
設 傷 松湯設備 消火設備	●螺試隊(排水・通気) ○負担金 ●本管接紅事 ●総選方式 ●配管材料 ○保温 ●消火設備の種類 ・ (図画枠記部分は除く) ・ (図画枠記部分は除く) ・ (図画枠記部分はなく)	地中配管 [題内] 地中配管 [題内] 地中配管 [題内] 一地中配管 [題内] 一地中配管 [題所] 一部のボンブアッ (地中配管は S G P する。 ※必要 (國所書所に) ※公理 (の必) ※不要 (の必) ※不要 (の必) ※不要 (の必) ※不要 (の必) ※不定 (の形) ※本工車 (のの形) ・ の成出(を) の一中点 ・ の表に、 の一中点 ・ の表に、 の一中点 ・ の表に、 の一中点 ・ の表に、 の表に、 の表に、 の表に、 の表に、 の表に、 の表に、 の表に、	で C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	NE 二ル年 (VP) D) リナイクルル第三届産資産化ビニル管 (RF-VP) D) リナイクルル第三届産資産化ビニル管 (RF-VP) D) リナイクルル第三届産資産化ビニル管 (RF-VP) D) リナイクルとの (ODに设合 OMDジョイントによる接合) D) ビニル管 (VP) D) サイクルル型用を質量化ビニル管 (REP-VU) D) サイクルル型用をで(VP) E) (REP-VU) D) (REP-VU) D) (REP-VU) E) (REP-VU) D) (REP-VU) E) (REP-VU) D) (REP-VU) E)
設 備 給湯設備 消火設備 ガス	●螺紋様 (排水・通気) ○負担金 ●本管検送工事 ●総選方式 ●配管材料 ○保温 ●清火設備の種類 ●表示灯 ●配管材料 (関面特記部分は除く) ●保温 ●ガスの種類 のガスメーター ●配管材料	地中配管 [題内] 地中配管 [題内] 地中配管 [題外] 一般中配管はSGP する。 ※必要 (國宗語所注) ・		NE 二ル等 (VP)
. 設 備 給湯設備 消 火 設 備 ガ	●螺紋様 (排水・通気) ○負担金 ●本管検送工事 ●総選方式 ●配管材料 ○保温 ●清火設備の種類 ●表示灯 ●配管材料 (関面特記部分は除く) ●保温 ●ガスの種類 のガスメーター ●配管材料	地中配管 [壁内] 地中配管 [壁内] 細管類別ポンプアッ (地中配管は5GP すか) ※心要 (原次下断に) ※不要 ○必 ※不要 ○必 ※不要 ○の ○ ※ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		ドビール等 (VP) カルニ語等 (OP) カルニ語等 (OP) カルニ語等 (OP) カルニ語等 (OP) カルニ語を (OP) カリナイクル模型域化ビニルを (REP-VU) カリナイクル機型域化ビニルを (REP-VU) ドビニルを (VP) カリナイクル模型域化ビニルを (REP-VU) ドビニルを (VP) カリナイクルでは はとライニング照を (SGP-VA, SGP-FVA) SGP-FVD) とし、総手はフランジ又はハウジング粉組手と ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
・ 設 備 給湯設備 消火設備 ガス設	●螺紋様 (排水・通気) ○負担金 ●本管検送工事 ●総選方式 ●配管材料 ○保温 ●清火設備の種類 ●表示灯 ●配管材料 (関面特記部分は除く) ●保温 ●ガスの種類 のガスメーター ●配管材料	地中配管 [壁内] 地中配管 [壁内] 細管類のボンブアッ (地中配管は S G P する。 (地中配管は S G P する。) ※必要 (図次下断に) (シール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	□ C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	ドビール等 (VP)
設 備 給湯設備 消火設備 ガス	●螺試験(排水・通気) ○負担金 ●本管接触工事 ●総治力式 ・ ●配管材料 ・ ○保温 ・ 「清水設備の種類 ・ ●表示で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	地中配管 [題内] 地中配管 [題内] 地中配管 [題外]	□ C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	ドビール等 (VP) カルニ語等 (OP) カルニ語等 (OP) カルニ語等 (OP) カルニ語等 (OP) カルニ語を (OP) カリナイクル模型域化ビニルを (REP-VU) カリナイクル機型域化ビニルを (REP-VU) ドビニルを (VP) カリナイクル模型域化ビニルを (REP-VU) ドビニルを (VP) カリナイクルでは はとライニング照を (SGP-VA, SGP-FVA) SGP-FVD) とし、総手はフランジ又はハウジング粉組手と ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
・ 設 備 給湯設備 消火設備 ガス設	●螺試験 (排水・通気) ○負担金 ●本管線上車 ●給湯力式 ●配管材料 ○保温 ●清火散偏の種類 ●表示灯 ●保温 ●表示灯 ●保温 ●ガスの種類 ○ガスメーター ●配管材料 (関面特記部分は除く) ○地中理影響の接合法 ○ビット内施工法	地中配管 [壁内] 地中配管 [壁内] 細管類のボンブアッ (地中配管は SG P すっぱい は P を P を P を P を P を P を P を P を P を P		NE - 1 N
・ 設 備 給湯設備 消火設備 ガス設	●螺試験(排水・通気) ○負担金 ●本管接触工事 ●総治力式 ・ ●配管材料 ・ ○保温 ・ 「清水設備の種類 ・ ●表示で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	地中配管 [題内] 地中配管 [題内] 地中配管 [題内] 一地中配管 [題外] 一般心臓性 [20] 一般心臓性 [20] 一般心性 [20] 一般心脏性 [20]		ドビール等 (VP)
・ 設 備 給湯設備 消火設 備 ガス 設 備	●螺紋様 (排水・通気) ○負担金 ●本管接送工事 ●配管材料 ○収置 ●用火設備の種類 ●表示灯 ●配管材料 ○配管材料 (図面料記部分は除く) ●収置 ○ガスメーター ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○地中理設管の接合法 ○ビット内施工法 ○負担金	地中配管 [題内] 地中配管 [題内] 地中配管 [題内] 一地中配管 [題内] 一地中配管 [20] 一地中配管 [20] 一地中配管 [20] 一地元管 [20] 一地元管 [20] 一地元 [20] 「20] 「20] 「20] 「20] 「20] 「20] 「20] 「	で	NE - 1 N
・ 設 備 給湯設備 消火設 備 ガス 設 備	●螺紋様 (排水・通気) ○負担金 ●本管接送工事 ●配管材料 ○収置 ●用火設備の種類 ●表示灯 ●配管材料 ○配管材料 (図面料記部分は除く) ●収置 ○ガスメーター ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○地中理設管の接合法 ○ビット内施工法 ○負担金	地中配管 [題内] 地中配管 [題内] 地中配管 [題内] 一地中配管 [題外] 一般心臓性 [20] 一般心臓性 [20] 一般心性 [20] 一般心脏性 [20]	で	NE - 1 N
・ 設 備 給湯設備 消火設備 ガス設	●螺紋様 (排水・通気) ○負担金 ●本管接送工事 ●配管材料 ○収置 ●用火設備の種類 ●表示灯 ●配管材料 ○配管材料 (図面料記部分は除く) ●収置 ○ガスメーター ●配管材料 (図面特記部分は除く) ○地中理設管の接合法 ○ビット内施工法 ○負担金	地中配管 [題内] 地中配管 [題内] 地中配管 [題内] 一地中配管 [題内] 一地中配管 [20] 一地中配管 [20] 一地中配管 [20] 一地元管 [20] 一地元管 [20] 一地元 [20] 「20] 「20] 「20] 「20] 「20] 「20] 「20] 「	で	NE - 1 N
. 設備 給湯設備 消火設備 ガス設備 INRWS	●螺試験 (排水・通気) ○負担金 ●本管線工事 ●総治力式 ●配管材料 ○保温 ●消火設備の種類 ●表示灯 ●配管材料 (図面特記部分は除く) ●保温 ●ガスの種類 ・ガスの種類 ・ガスメーター ・配管材料 (図面特記部分は除く) ・保温 ・ガスの種類 ・グラスメーター ・配管材料 ・(図面特記部分は除く) ・受担者 ・(図面特記部分は除く) ・受担者 ・(図面特記部分は除く) ・受担者 ・(図面特記部分は除く)	地中配管 [壁内] 地中配管 [壁内] 勝管類のボンブアッ (地中配管は S G P す		ドビール等 (VP) 加水工簡単
・ 設 備 給湯設備 消火設 備 ガス 設 備	●螺紋様 (排水・通気) ○負担金 ●本管接接工事 ●配管材料 ・ ●配管材料 ・ ●配管材料 ・ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	地中配管 [壁内] 地中配管 [壁内] 地中配管 [壁内] 脚管程のボンブアッ (均中配管は S G P する。 ※公乗 (図示像所) ※不要 (の必 ※不要)の必 ※不下車 (の の の の の の の の の の の の の の の の の の の		ドビール等 (VP) 加水工簡単

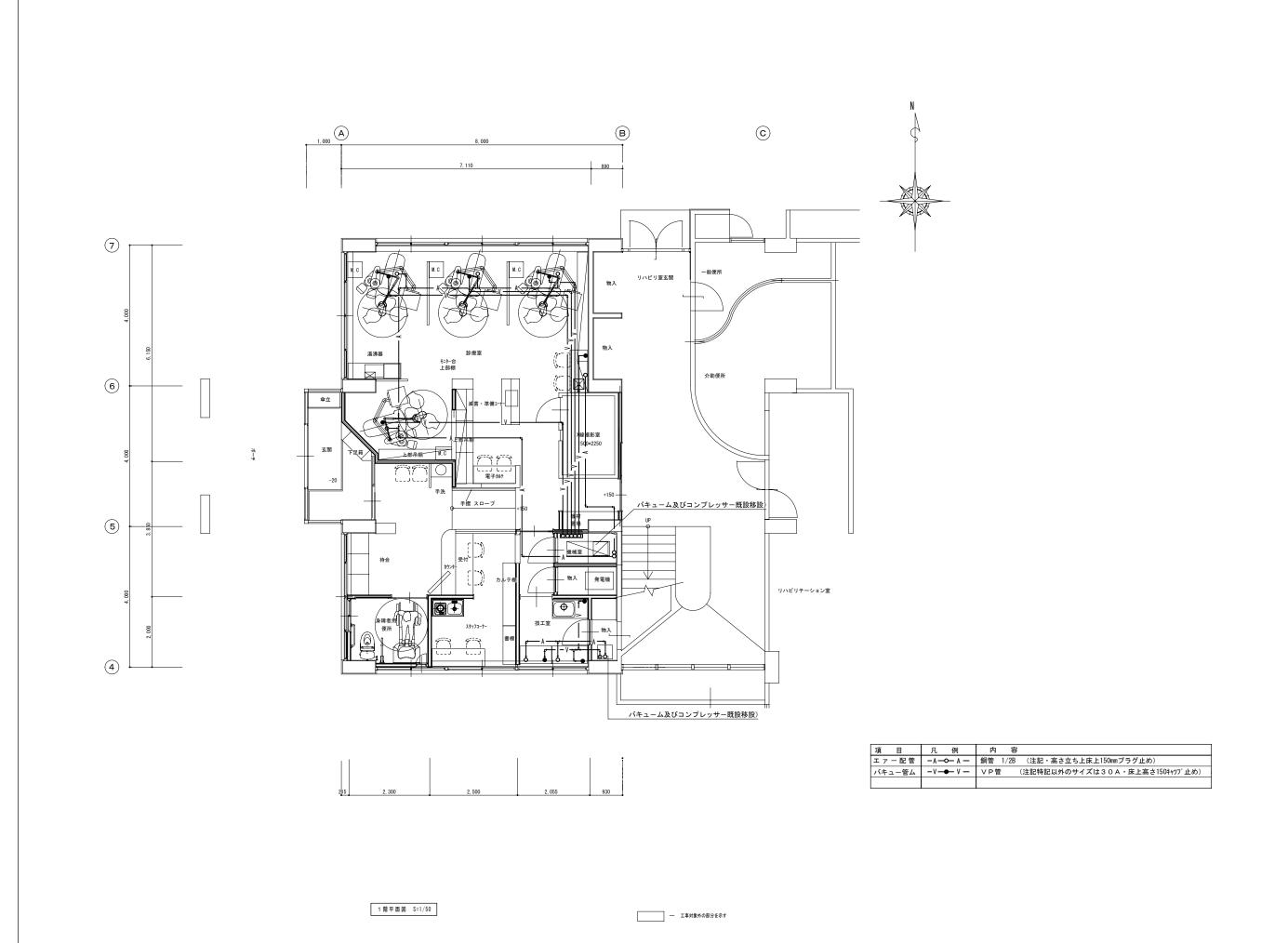
章	項	B		特	起	*	項	
設備			※図面による。					

工事区分表 下記の項	1日は○削部:	ガを区別して施二	Lする。 	但し図面その他に特記を	のもかはてれに使り。						設	備用の開口補強数量	ベ
o: 工 事 項 目		重 機 E V	別途	備考	No: 工 事 項 目	建電築気		別道		1. 設化	#用躯体貫通補強筋及び開口補	強筋	
1 躯体貫通スリープ入・箱入					48 消火ポンプユニット・二次側配管配線・調整					1)	梁貫通補強筋 (貫通孔 D/3以下、	梁巾- 400 以下の場合、Dは梁せい)	
2 躯体黄通孔・箱入れ部の施工後の孔埋め					49 厨房器具						貫 通 内 径 (φ)	数 量	備考
設備用躯体貫通の補強筋及び開口部補強筋	0				5 O 同上接統配管・電源接続工事					1 -	$100 < H \le 200$ $200 < H \le 300$		
地下消火水槽、蓄熱槽などの躯体内外防水仕上、 マンホール、タラップ並びに連通管					(51) 実験台、調理台	0				1	300 < H ≤ 400		
点検口の製作取付(床、壁、天井)	0				52 同上接続配管・電源接続工事	0	0			1			
防出口、吸込口、照明器具及びスピーカー等の埋込器具取付のための墨出し	, (53 設置機器取付用ALC版等の孔明け及び補強					† L			
吹出口、吸込口、照明器具及びスピーカー等の埋込器具取付のための 孔開・補強					5 4 消火器					*	貫通内径 100 ¢ 未満の時は補強を必要と	しない。	(H:貫通内径 mm)
3) 建物外壁に取付く給・排気ガラリの製作取付		0			5 5 鉄骨構造階の出入口三方枠・敷居・押しボタン等の固定用鋼材の設置					2)	スラブ開口補強筋		
建具ガラリの製作取付					5 6 鉄骨構造階の出入口機器と壁面の耐火処理					1 -	開口面積(m²) A≤0.3	数 量	備考
0) 機械設備機器の基礎(空調機・ポンプ類)		0			57 鉄骨構造階における中間ビームの設置					1	$0.3 < A \le 1.0$		
1 電気設備機器の基礎 (キュービクル)					58 鉄骨構造階におけるレールプラケット・ポストアングル固定用ファスナの					1 [
2 機器用アンカーボルト					設置及び鯖止め塗装 59 昇降機の一次側配管配線					- L			
3) ダクト・給排水管等吊りボルト用インサート	++	0			60 昇降機の出入口・三方枠・カゴ内インターホン取付・制御盤・二次側配管	己線			1	*	スラブ筋を切断しない場合は補強を必要	としない。	(A:開口面積 m²)
4 照明器具・ライティングダクト等用吊ボルト用インサート					61 昇降機のインターホン用配線(シャフト外)					3)_	壁開口補強筋		
9 無明益共・ノイフィンクラクト寺州市ホルト州インツート 5 受水槽・高架水槽	++				6 2 昇降機のインターホン用配際 (シャフト内) 6 2 昇降機のインターホン用配管配線 (シャフト内)				+	+ F	開口面積(㎡)	数 量	備考
										+ +	$A \le 0.3$ $0.3 < A \le 1.0$		
6 受水槽・高架水槽用基礎			-		6 3 昇降機のインターホン用配管 (シャフト外)						1. 16	4	消火栓ボックス
7		+			64 監視室等のインターホン取付調整				1		壁筋を切断しない場合は補強を必要とし	ない。	(A:開口面積 m²)
8 同上基礎及び躯体		+	_		65 昇降機の電話用配管				1	2. 黔(#用下地材開口補強		
9 サービスタンク用防油堤					66 昇降機ピット内点検用コンセント						壁開口補強 軽量鉄骨壁下地、木軸等		
) グリストラップ		0			67 昇降機機械室内換気扇・サーモスタットの取付					- [開口寸法	数 量	備考
1) 既製品流し・ガス台	0				68 昇降機内の立て柱					-			
2 便所 廻りの手すり	0				69 昇降機ピット内防水								
3 換気扇					70 フェンス設置工事(浸水対策看板)					[
日上取付枠	\perp				71 空調機の室外及び室内間制御用配管配線	0				4			
5 天井扇・ダクト・ガラリ・ベントキャップ	\rightarrow	0			72 空調機の1次側配管配線	0				2)	F 井開口補強		
6 フードの製作・取付					73 空調室内機用リモコンスイッチ及び取付調整		0				開口寸法	数 量	備考
7 防煙シャッターの一次側配管配線					74 空調室内機用リモコン配管配線		0				220×1, 235 150×1, 235	25 12	照明器具
8 防煙シャッターの二次側配管配線・調整					75 業務用ロスナイ(屋外型)リモコン配管配線					_	220×626	4	
9 同上煙感知器・制御盤	\perp				76 業務用ロスナイ(屋外型)リモコンスイッチ及び取付調整						φ 150	14	ス ヒ ゚ ― カ
0 同上連動装置					77 浴室乾燥機2次側配管配線(リモコンスイッチ共)					」	200□	10	王井戸
1 防火扉の一次側配管配線					7 8 床暖工事 (電気・温水共)					_ -	390□ 850×850	10 3	天井扇 空調機
3 2 防火扉の二次側配管配線・調整、開放装置					7 9 加圧給水ポンプ操作盤及び2次側配管配線・調整								· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
3 同上煙感知器・連動装置・制御盤					80 同上1次側配管配線及び警報回路用配管配線								
4 煙感知器連動のダンバーのレリーズ					8 1 給湯器用リモコンスイッチ及び取付調整								
5 同上用の感知器及び配管配線					8 2 給湯器用リモコンスイッチ配線配管								
6 同上用非常電源装置					8 3 情報用配線·機器取付工事	0] [
57 自動ドアの取付及び調整・検査スイッチ、駆動装置二次側配線					電話機用配管配線	0				7			
8 同上一次側配管配線					(85) 電話機取付及び調整			С)	7 -			
9 液面電極棒の取付及び調整					86 機械警備用配管					1			
0 合併処理槽の躯体・モルタル仕上・マンホール・チェッカープレート					後でである。 機械警備用配線及び機器取付調整)	1			
1 同上内部装置・機械配管及び二次側配管配線					88 電力、電話引込工事用負担金					1 H			
2 同上一次側配管配線					89 CATV引込工事用負担金			C	1	1			
3) 洗面カウンター					(9 0) 近隣テレビ電波障害対策工事			C		† [□450	(既設棟)×3・(増築棟)×8	天井点検口(電気)
4 洗面カウンター用洗面器		0			91				+	- L	□450	2	天井点検口(機械)
5) 洗面カウンター用化粧鏡		0			9 2				+	特記事項			
() 補助手摺り (トイレ用)					93					17 110 417		は設計上の必要数量であり施工上。	必要ヶ所と相違ある場合には
	+++				94					+	監督員の指示により数	量が増減するも工事金額内で処理。	ける。
17 消火ポンプユニット一次側配管配線					94		1 1			1			





 企業組合 一級建築士事務所
 工事名称 国限東月波町網院和知園科診療所改修工事 日本記憶集工事務所をできます。
 一級建集工事務所をできます。
 日本的 日本の表別では、「大田の日本の表別である。」
 日本の表別である。
 



工事名称 国保京丹波町病院和知歯科診療所改修工事

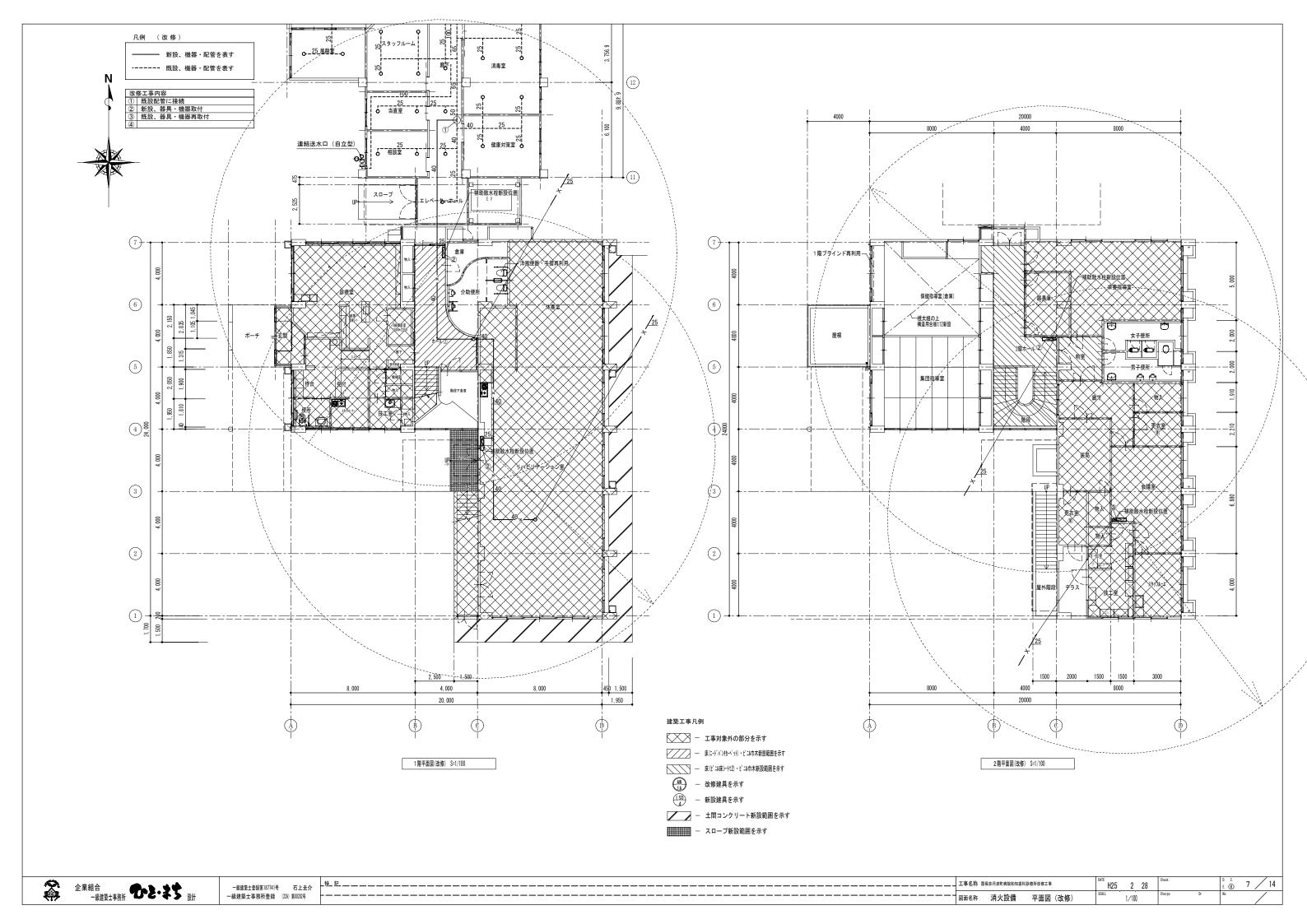
図面名称 エアー設備 改修平面詳細図

企業組合 一級建築士事務所 全心 公公公 設計

一級建築士登録第187741号

一級建築士事務所登録 (22A) 第00282号

石上圭介



機器リスト(空調)	

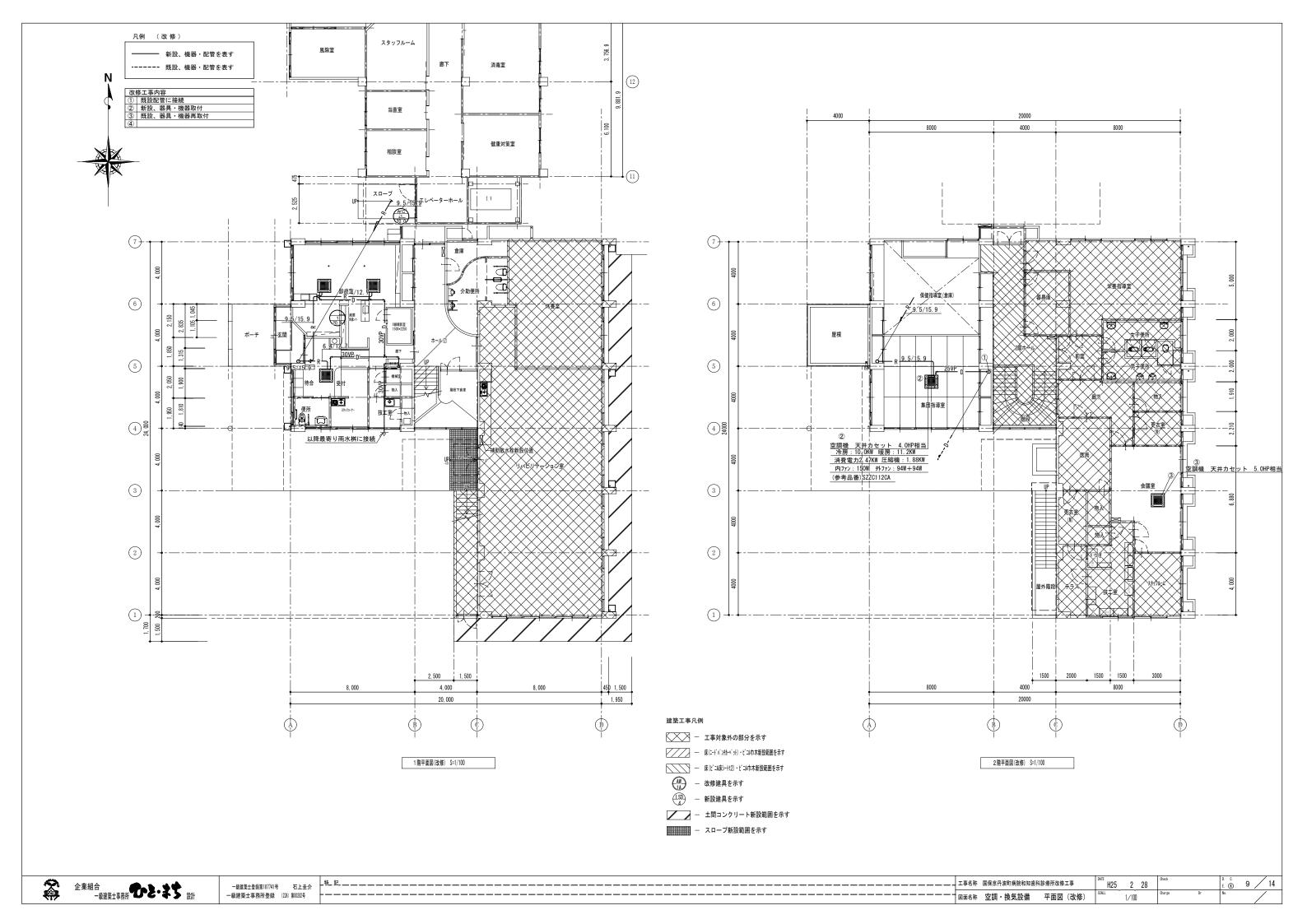
記号	機器名	仕 様		電気	容 量	数量	備考(設置場所)
A C - 1	空冷ヒートポンプ エァコン	型 式 ー 天井埋込カセット形 ラウンドフロータイプ	3 φ	200V	消費電力 6.65kw	1	1階 診察室
	(トリプル同時マルチ)	能 力 - 冷房能力: 20.0kW 暖房能力: 22.4kW			圧縮機 3.73KW		(参考品番) SZZC224CAM
	(8.0HP相当)	ガス			ファン 内 48W×3		基礎 下駄基礎共 (本工事)
		付属品 - 屋内外機間、動力、制御配管、配線、リモコン、ドレンアップキット			外200W+200		
		ワイヤードリモコン 化粧バネル 分岐管 (BRCIE3) (BYCP160BEF×2) (KHRP58N228T)					

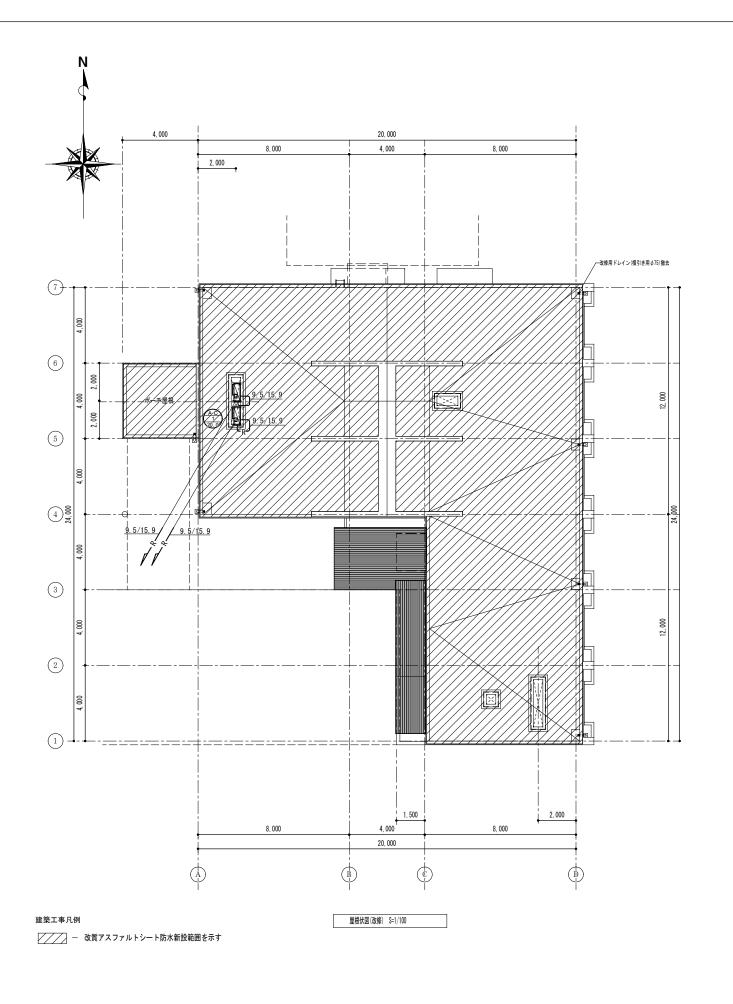
衛生器具・他明細	表						1		階			
			合 計	便	技	沙湯	. Z	待				
名 称	品 番	付 属 品			I I	宮 浦	タフコ	合				
-H W	пп ш	I J //P9 HH					1					
				所	室	室 室	ナ	室				
車いす対応便器	C S 2 0 A B	タンク(内部金具共) カナシュレットアア・コート 埋込AC100V リモコンセット SH30BA TCF4721V81PA リモコン便器洗浄エーット 棚付二運業巻器	1	1								
		リモコン便器洗浄ユニット 棚付二連紙巻器 HE10.T YH702										
可動手すり	T 1 1 2 HKS	取付金具共	1	1								
手 す り	T 1 1 2 C L 1 0	取付金具共	1	1								
洗 面 器	L 1 0 3 A	給水栓 止水栓 取付金具 給水管 排水金具 TLC11C2 TL594CA2U HR711 UGTNY97LR50V5X TL594BS1R	1	1								
		ILCITCZ IESS4CAZU MRTII UGINISTERSOVSK IESS4BSIK										+
はめ込み洗面器	L 5 4 8 U	立水栓 止水栓 壁排水金物 TLC11 TL340C5U T6PMI	1		+		1		+		\vdash	+
洗面カウンター	ML 6 0	TLC11 TL340C5U T6PMI L=600 取付金具他属品共	1		+	+	1		+	+	\vdash	+
<u> </u>	-	The state of the s	+ -		+		+				\vdash	+
手 洗 器	L712	自働水栓タイプ排水金具	1			1						+
, , ,	E 1 1 2	TEN40AX T7P24R	-			-						+
化 粧 鏡	YM3545F	耐食製 350×450 取付金物共	2	1	+		1					+
10 10 390	11000401	間及表 300~400 机自业均六		1	+		1			+		+
							-			+		_
泊油白ナセか	TIRRATINIR		-		1	1 1						+
泡沫自在水栓	1130AUN13		3		1	1 1				-		+
												+
止 水 栓	T 4 A		3		1	1 1						\perp
										_		\perp
												\perp
瞬 間 湯 沸 器	5 号		3		1	1 1						\perp
												\perp
ガスーロコック	9 φ x 1 3 A		3		1	1 1						\perp
ネジコック	1 3 A		3		_	1 1						
強化ゴム管	1 3 A		3		1	1 1						
フレキ継手	13Ax300L		3		1	1 1						
プラスタ阻集器	DTd-50							L				
			1		1							
未上掃除口	COA-65											
"	COA-80		2		1	1						
			1		\top	1					\sqcap	
					\top						\Box	\top
					\vdash						\vdash	+
					+	+	+			+		+

機器リスト(換気)

(注)★印は24時間換気機能付換気扇を表す。

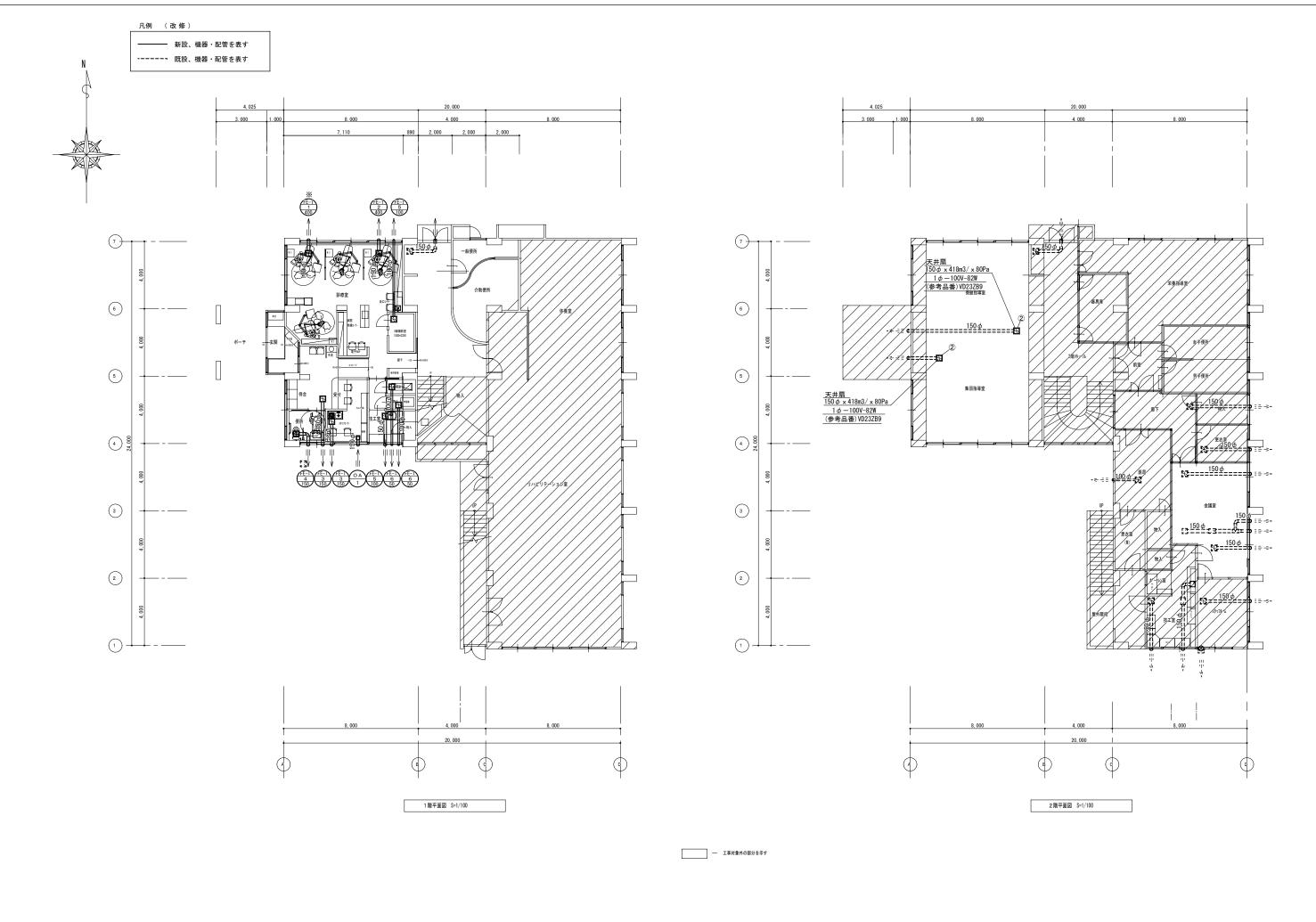
が、およう人	1 (1 X X)	」 (注)★印は24時間換気機能付換気扇を表す。				
記号	機器名	仕 様		電気容量	数量	備 考 (設置場所)
FE-1	天 井 扇	型 式 一 天井埋込形 24時間機能付	1φ	100V 40.5W	1	1階 診察室
		風 量 - 風量 400M3/H 羽根径-200φ ダクト径-150φ				(参考品番) VD-20ZVX2-0
		付属品 _ 24時間用コントロールスイッチ・SUS製丸形7-ド-防虫網付共 P-18FSQ5				
F E - 2	天 井 扇	型 式 一 天井埋込形 低騒音	1φ	100V 15.5W	1	1階 診察室
		風 量 - 風量 400M3/H 羽根径-200φ ダクト径-150φ				(参考品番) VD-20ZXP9-(
		付属品 _ SUS製丸形フード - 防虫網付共 P-18FSQ5				
F E - 3	天 井 扇	型 式 一 天井埋込形 低騒音	1φ	100V 28.5W	2	1階 待合
		風 量 - 風量 150M3/H 羽根径-180φ ダクト径-150φ				1階 スタッフコーナー
		付属品 _ SUS製丸形フード-防虫網付共 P-18FSQ5				(参考品番) VD-18ZX9-C
				1001/		10h /E = C
FE-4	天 井 扇	型 式 一 天井埋込形 低騒音	1 φ	100V 23W	1	1階 便所
		風量 - 風量 150M3/H 羽根径-150φ ダクト径-100φ SUS製丸形7-ド-防虫網付共				(参考品番) VD-15ZPT9-(
		付属品 _ SUS製丸形アト PD 生物リ共 P-13FSQ5				
F E - 5	天 井 扇	型 式 一 天井埋込形 低騒音	1 φ	100V 22.5W	2	1階 技工室
		風 量 - 風量 100M3/H 羽根径-150φ ダクト径-100φ				1階 X線撮影室
		付属品 _ SUS製丸形7-1*-防虫網付共 P-13FSQ5				(参考品番) VD-15ZXP9-(
FE-6	換気扇	型 式 一 天井埋込形 低騒音	1 φ	100V 15.5W	2	1階 機械室
	2 2 2	風量 - 風量 50M3/H 羽根径-130φダクト径-100φ				1階 発電機室
		付属品 _ SUS製丸形フード-防虫網付共				(参考品番) VD-15ZXP9-(
		P-13FS05				
O A - 1	給排気グリル	型 式 - 天井埋込形フイルター内蔵グリルサイレンサー			1	1階 スタッフ室
		風 量 — 300M3/H ダクト径-150φ				(参考品番)PZ-15GZP





 企業組合
 一級建築士事務所を終しつ。
 一級建業工事務所を録 (23) 第0032号

 一級建業工事務所を録 (23) 第0032号

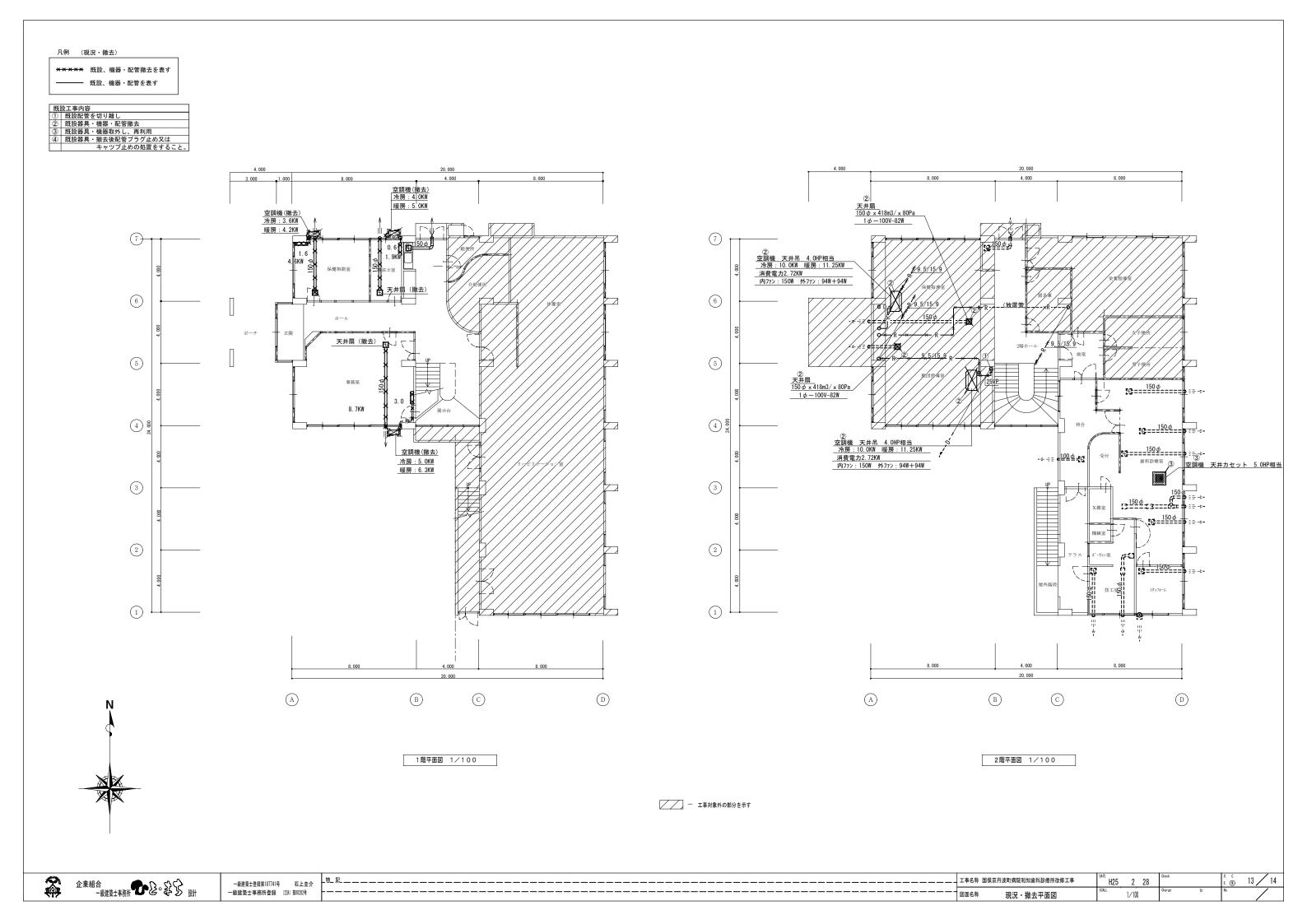


凡例 (現況・撤去) ××××× 既設、機器・配管撤去を表す ----- 既設、機器・配管を表す 4.000 ガスコック (撤去) ④ 湯沸器 (撤去) ④ 流し水栓 (撤去) ④
 4,000

 ガスコック (撤去) ④

 湯沸器 (撤去) ④

 流し水栓 (撤去) ④
 洗面器 (撤去) ④ 6 5 洗面器 (撤去)④ 4 8 3 2 ガスコック (撤去) ④ <u>湯沸器 (撤去)</u> 流し水栓 (撤去) ④ \bigcirc \bigcirc B (C) D D \bigcirc A B (C) 1階平面図 1/100 2階平面図 1/100 - 工事対象外の部分を示す 工事名称 国保京丹波町病院和知歯科診療所改修工事 12 / 14 ^E H25 2 28 企業組合 -級建築士事務所 **全**心 多 分 設計 - 級建築士登録第187741号 石上圭介 - 級建築士事務所登録 (22A) 第00202号 図面名称 現況・撤去平面図 1/100



凡例 (現況・撤去)

××××× 既設、機器・配管撤去を表す ----- 既設、機器・配管を表す

| 既設工事内容 ① 既設配管を切り離し ② 既設器具・機器・配管撤去 ③ 既設器具・機器取外し、再利用

